

取扱説明書

(保証書別添)

CASIO

カシオ電子レジスター

TK-2600/NK-2000



このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、本書をひととおりお読みください。

特に「安全上のご注意」をご熟読の上、正しくお使いください。

本書は、取り出しやすいところに大切に保管してください。

最新サポート情報 (Q&A など) は下記ホームページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/ecr/>

SIAA
ISO 22196
for KOHKIN

無機抗菌剤・練込
置数キー・キーキャップ

SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

レジスターを初めてお使いになる場合は、

設置の手順 (14 ページ) と

用語集 (131 ページ) をご覧ください。

ご使用前に

使い方

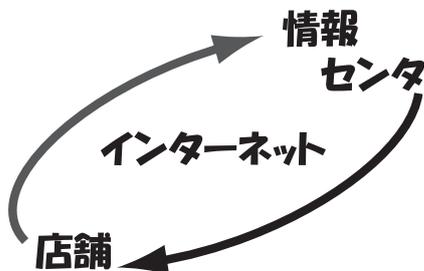
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

特長

- インターネットで情報センタに接続し売上分析を受けることができます。(別途契約が必要です)



- インターネットで情報センタに接続し、クレジットカード/iDのリアルタイム決済ができます。(KT-10 および契約が必要です)

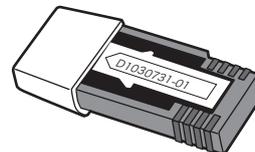


(KT-10: マルチ決済端末)

- 本機に設定されている税率は、2014年4月1日になると、自動で5%から8%に更新されます。

5% → **8%**
消費税率を自動更新

- 別売の電子店名スタンプを使うと、レシート上の店名ロゴスタンプや領収書上の社名ロゴ、住所をいちいち設定せずに印字できます。



(RAC-13: オレンジ色のスティック)

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切上げ、切捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5円丸め、10円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



「おサイフケータイ」「iD」および「iD」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標または商標です。

もくじ

ページ

○安全上のご注意	4	ご使用前に
○知りたいことは？	6	
○各部のなまえと働き	8	
○お使いになる前に	14	
○基本的なレジの操作	19	使い方
○操作をまちがえたとき	26	
○閉店後の操作	30	
○便利な使い方	32	便利な使い方
○売上を見るとき	52	
○電卓として使うとき	58	
○時刻や日付を設定する	60	設定の仕方
○単価や割引率を設定する	61	
○消費税を設定する	64	
○商品名やメッセージの設定	69	
○その他の設定	86	
○設定内容を確認するとき	111	
○故障かなと思ったら	117	こんなときは
○キー表面に商品名を記入する	121	
○ロールペーパーのセットと交換	122	
○ドロアーをレジと分けて置く	128	
○仕様	129	
○用語集	131	

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
- ⚠ 警告と ⚠ 注意の意味は以下のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が死亡または重傷を負うおそれがある</u> 内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある</u> 内容を示しています。

- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。 左の例は「手挟み注意」です。⚠ は「指ケガ注意」です。
	⊘ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。⊘ は「接触禁止」です。 なお、「絵に表わしにくい禁止」は ⊘ で表わします。
	● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。 左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。 なお、「絵に表わしにくい指示」は ● で表わします。

 警告	
電源コードや電源プラグについて <ul style="list-style-type: none"> ◆ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。 ◆ 電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を乗せたりしないでください。また、電源コードが本機の引き出し（ドロアー）の下を通るような配線はしないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。 ◆ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。 	内部に異物や水などを入れないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となることがあります。 ◆ 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
キャビネットは開けないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分がありますので、感電をしたり、ケガをするおそれがあります。 ◆ 本機を改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。 	電源・電圧について <ul style="list-style-type: none"> ◆ 表示された電源電圧（交流 100 V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。
本機を落としたり、破損したときは <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。 	異臭や煙などの異常状態には <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 注意

設置場所について



- ◆ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
- ◆ 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ◆ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください



- ◆ 本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
- ◆ 本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

移動する場合は



- ◆ 本機の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。電源コードを引っばると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは



- ◆ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ドロアー（引き出し）の注意



- ◆ ドロアー（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆ ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

電源プラグはいつもきれいに



- ◆ 電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。

電源コードの清掃は



- ◆ 電源コード（特にプラグ部分）の清掃には、洗剤を使用しないでください。

消耗品交換時の注意



- ◆ 記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。



- ◆ プリンタのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になります。

本体表示画面の取り扱いについて



- ◆ 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因になることがあります。
- ◆ 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因になることがあります。
- ・ 万一、口に入った場合はすぐにうがいをし、医師に相談してください。
- ・ 目に入ったたり皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

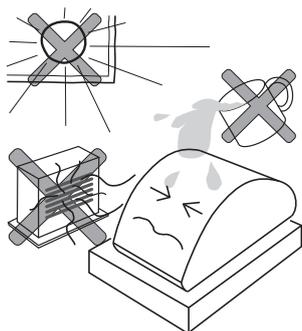
長期間ご使用にならないときは



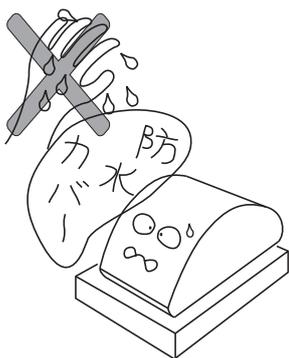
- ◆ 連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い（必ず守ってください）

- 温度が高くなる所や、ホコリの多い所、油煙や水がかかる所には置かないでください。



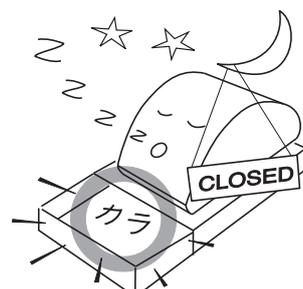
- ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



- シンナーやアルコール、ベンジンなどの揮発性の液体で拭かないでください。



- 1日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

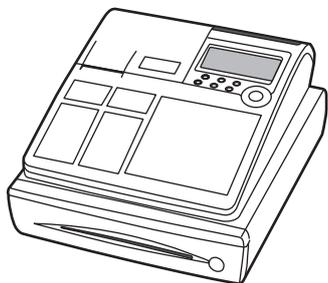
こんなときは

知りたいことは？

知りたい項目の参照ページをご覧ください。

●レジスターを設置する。

参照  14 ページ



●レジスターを情報センタに接続する。

参照  15 ページ



●基本的な操作とは？

参照  19 ページ

1. お買い上げを打つ
2. 合計を取る
3. 預かりを打つ

ドアが開いて、レシートが出る



●クレジット決済を行なう。

参照  46 ページ

・ABCクレジット
1234 5678 9012 3456

モードスイッチの位置

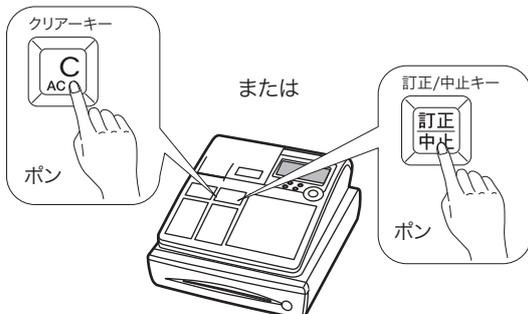
登録

クレジット
/ 決定



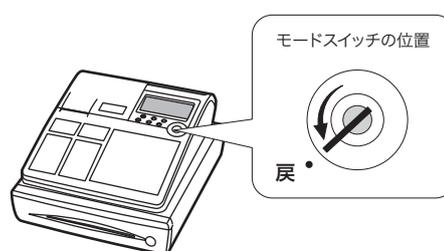
●キー操作をまちがえた。

参照  26 ページ



●返品があった。

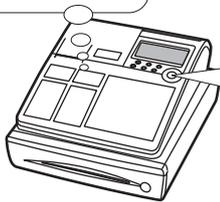
参照  28 ページ



●売上を確認する。

参照  52 ページ

・現時点での売上は？
・現時点での現金在高は？



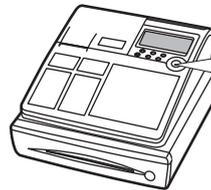
モードスイッチの位置
点検



●閉店後の操作は？

参照  30 ページ

モードスイッチの位置



●消費税を設定する。

参照  64 ページ

・内税？
・非課税？
・混在？



モードスイッチの位置



設定

●ロールペーパーがなくなった。

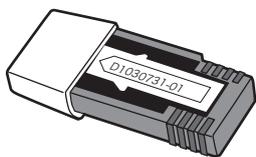
参照  124 ページ

ロールペーパー



●電子店名スタンプを受け
取った。

参照  126 ページ



●エラーが出た。

参照  117 ページ



●レシートの内容は？

参照  18 ページ

●値引きや割引きをする。

参照  42 ~ 43 ページ

●単価・割引き率・丸めの設定をする。

参照  61 ~ 62 ページ

●レシートにメッセージを印字する。

参照  80 ~ 83 ページ

●レシートに分類や商品名を印字する。

参照  69 ページ

ご使用前に

使い方

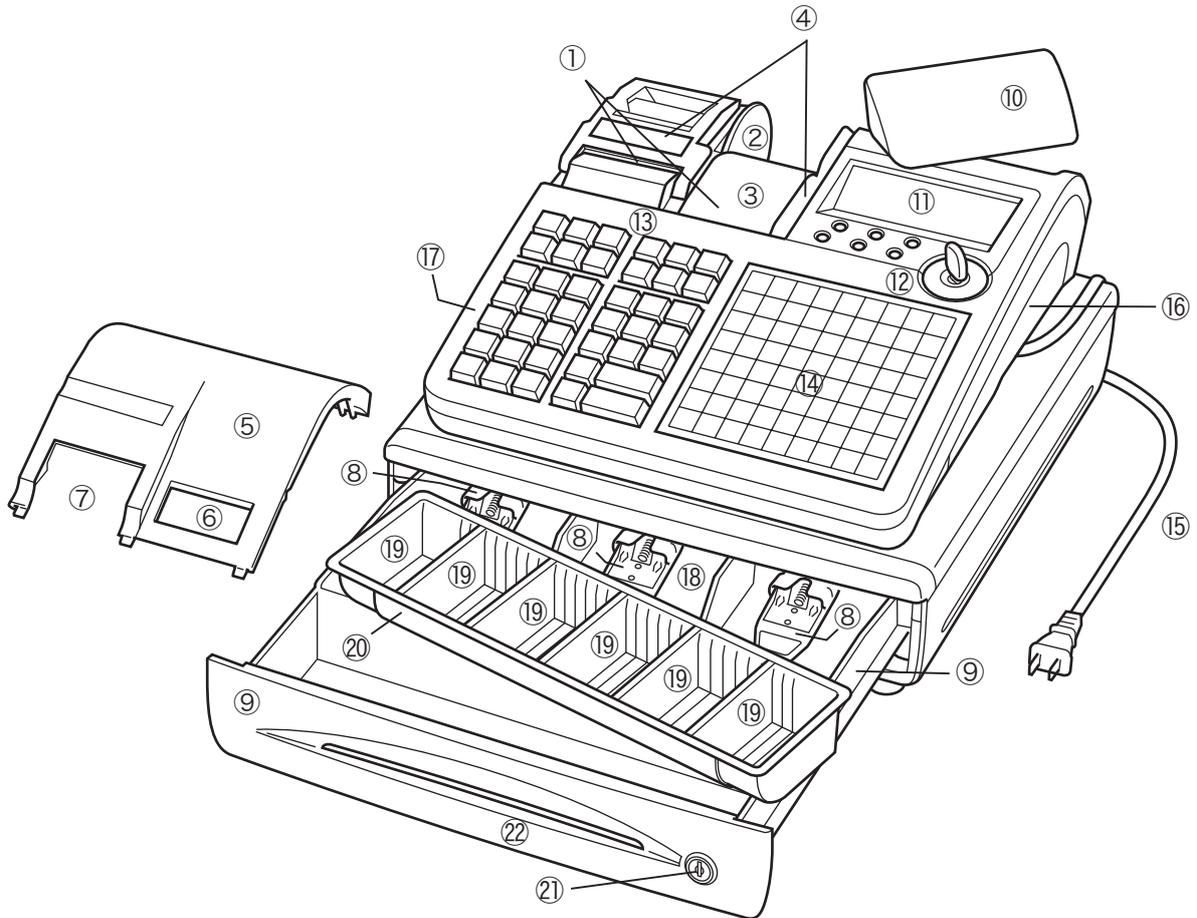
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部のなまえと働き (1 / 3)

各部のなまえ



- ① レシート、ジャーナル用紙
(122、123 ページ参照)
- ② ジャーナル巻き取りホルダ
- ③ ジャーナル
売上記録としてお店で保管します。
- ④ 紙押さえ
確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。
完全に閉じていないとレジスターが動きません。
- ⑤ プリンタカバー
- ⑥ ジャーナル印字確認窓
印字内容の確認と用紙への書き込みができます。この
窓に用紙の赤い線が見えてきたらペーパーの交換をし
てください。
- ⑦ レシート発行窓
- ⑧ 札押さえ
- ⑨ ドロアー (引き出し)
- ⑩ 客用表示窓
お客様用の表示です。見やすい角度に回してください
(13 ページ参照)
- ⑪ 本体表示窓
- ⑫ モードスイッチ
- ⑬ キーボード
- ⑭ タッチキーボード
- ⑮ 電源プラグ/電源コード
- ⑯ コネクタカバー
この中のコネクタにマルチ決済端末や磁気カードリー
ダを接続します。
- ⑰ RAC スロットカバー
この中に電子店名スタンプを差し込みます。
- ⑱ 紙幣入れ
- ⑲ 硬貨入れ (6カ所)
- ⑳ コイントレー
仕切り板は、取り外したり、位置を移動することがで
きます。
- ㉑ ドロアーロック錠
- ㉒ ドロアースリット部
小切手や商品券を、ドロアーを開けずに入れることが
できます。



本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を絵表示で掲載しています。この絵表示は、そのページで説明している操作をするときの、モードスイッチの位置を示しています。右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」に合わせてから操作する必要があります。

本書での
記載例➡

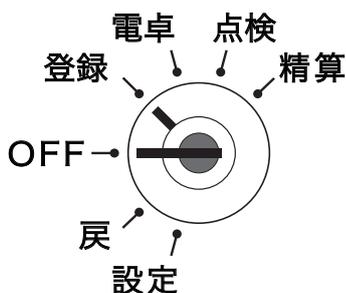


モードスイッチとモード鍵

モードスイッチの位置を切り替えると、レジスターの働きが変わります。位置を切り替えるにはモード鍵を使います。

モードスイッチ

レジスターには以下の7つのモードがあります。

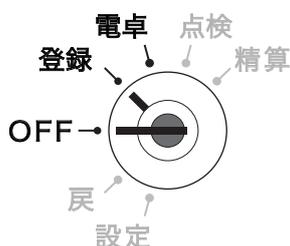
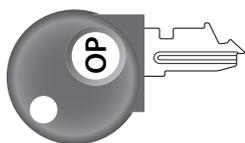


モードの名称	モードの機能
精算	売上げの精算を行なうとき
点検	売上げの点検を行なうとき
電卓	電卓計算を行なうとき
登録	売上げの登録を行なうとき
OFF	レジを使用しないとき
戻	返品（戻し）を行なうとき
設定	お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

モード鍵

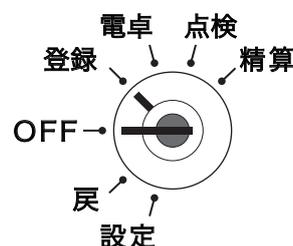
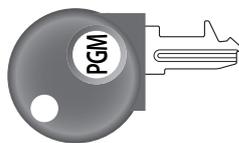
モード鍵には以下の2種類があります。

- ① オペレータ用
(OP と刻印)



回せる範囲

- ② 精算・設定（オーナー）用
(PGM と刻印)



回せる範囲

濃い字で示したモードにまわすことができます。

さらに OFF と登録モードで、モード鍵をレジスターに付けたり外したりできます。

ご使用前に

使い方

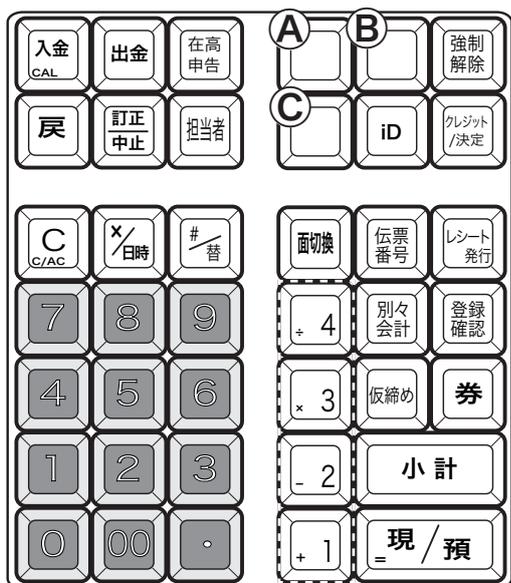
便利な使い方

設定の仕方

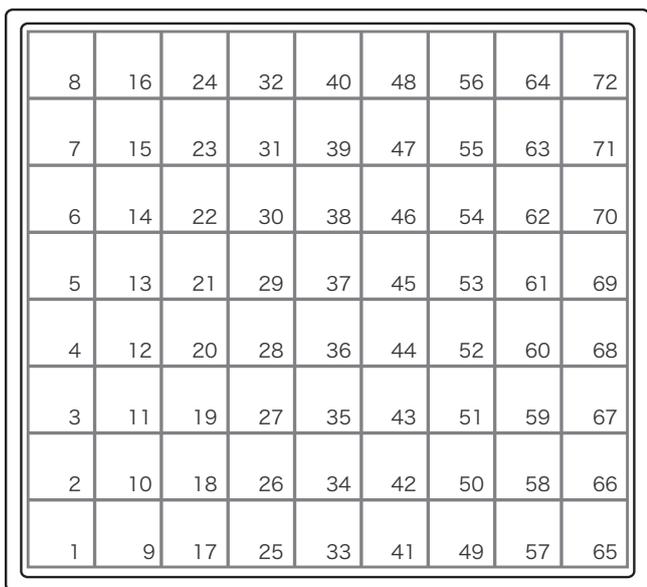
こんなときは

各部のなまえと働き (2 / 3)

キーボード



部門キー



タッチキー部分

レシート発行/停止 レシート発行/停止スイッチ レシートを発行したり止めたりするスイッチです。登録と戻のモードで使えます。ただしクレジット伝票はこのスイッチの状態によらず常に発行します。

キー上部のランプが消えているときは、レシートを常に「発行」します。このときにスイッチを押すと、赤いランプが点灯してレシートを発行しなくなります。お客様にレシートを要求された場合は、**レシート発行** キーを押してください。

このスイッチは押すたびに「レシートを発行する」→「レシートを発行しない」→「レシートを発行する」という状態を繰り返します。

接続 接続キー レジスターを開設するときに押します。(情報センタ接続時に使用) ▶▶ 19 ページ

操作ガイド 操作ガイドキー 操作方法や設定方法を知りたい場合に押します。直接押すとメニュー項目を印字しますので、知りたいメニュー番号を入力してもう一度押します。▶▶ 117 ページ

レシート送り レシート送りキー レシート用紙を空送りするときに押します。

ジャーナル送り ジャーナル送りキー ジャーナル用紙を空送りするときに押します。▶▶ 122 ページ

領収書発行 領収書発行キー 領収書を発行します。▶▶ 24 ページ

入金 入金キー 入金のときに押します。▶▶ 41 ページ
電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。▶▶ 59 ページ

出金 出金キー 出金のときに押します。▶▶ 41 ページ

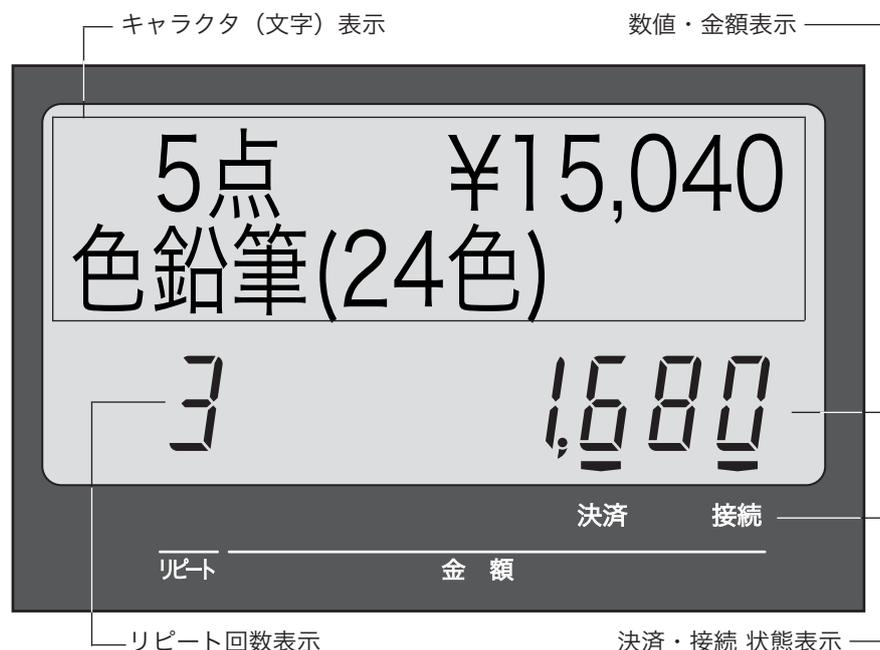
在高申告 在高申告キー 在高申告を始めるときと終わるときに押します。▶▶ 49 ページ

- 戻** 戻しキー 返品があったときに押します。▶▶ 29 ページ
- 訂正中止** 訂正/中止キー 直前訂正 (▶▶ 27 ページ) または取引中止 (▶▶ 27 ページ) のときに押します。
- 担当者** 担当者キー 担当者を指定するときに押します。▶▶ 40 ページ
- C/AC** クリアキー 数字を入れまちがえたときに押します。▶▶ 26 ページ
電卓機能のときは、2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン) の働きになります。
- X/日時** 乗算/日時キー 乗算登録 (▶▶ 23 ページ)、または時刻・日付を表示するとき (▶▶ 40 ページ) に押します。
- #/替** 不加算印字/両替キー 不加算印字 (▶▶ 38 ページ) や両替 (▶▶ 23 ページ) をするときに押します。
- 1 ~ 9** } 置数キー 数値を入れるときに押します。
- 0、00、.** }
- A** } これらのキーは、情報センタで会員管理サービスが提供されるまで、使用することはできません。
- B** }
- 強制解除** 強制解除キー エラー解除のため、取引を強制的に解除します。(2 回続けて押します) ▶▶ 117 ページ
- C** このキーは、情報センタで会員管理サービスが提供されるまで、使用することはできません。
- ID** ID キー ID での売上のときに押します (KT-10 の接続が必要です)。▶▶ 46 ページ
- クレジット/決定** クレジット/決定キー クレジットカードでの売上のときに押します。▶▶ 46 ページ
- 面切替** 面切替キー タッチキー面を切り替えるとき押します。▶▶ 21 ページ
- 伝票番号** 伝票番号キー 伝票番号を指定するときに押します。▶▶ 50 ページ
- レシート発行** レシート発行キー 後レシートを発行します。▶▶ 39 ページ
- 1 ~ 4** 部門キー 個々の商品を登録するときに押します。▶▶ 20 ページ
- 1 ~ 4** の部門キーは、電卓機能のときは「+」「-」「x」「÷」の計算命令キーです。▶▶ 58 ページ
- 別々会計** 別々会計キー 別々会計のとき押します。▶▶ 51 ページ
- 登録確認** 登録確認キー 別々会計で登録内容を分けるとき押します。▶▶ 51 ページ
- 仮締め** 仮締めキー 取引を仮締めするとき押します。▶▶ 50 ページ
- 券** 券売りキー 商品券での売上のとき押します。▶▶ 46 ページ
- 小計** 小計キー 登録金額の合計 (中間合計) を見るときに押します。▶▶ 20 ページ
- 現/預** 現金売り / 預かり金キー 登録の完了 (現金での売上) および預かり金のときに押します。▶▶ 20 ページ
電卓機能のときは、「=」です。▶▶ 58 ページ
- 1 ~ 72** フラット PLU キー タッチキー部分 (▶▶ 10 ページ) のキーです。
個々の商品を登録するときに押します。▶▶ 21 ページ

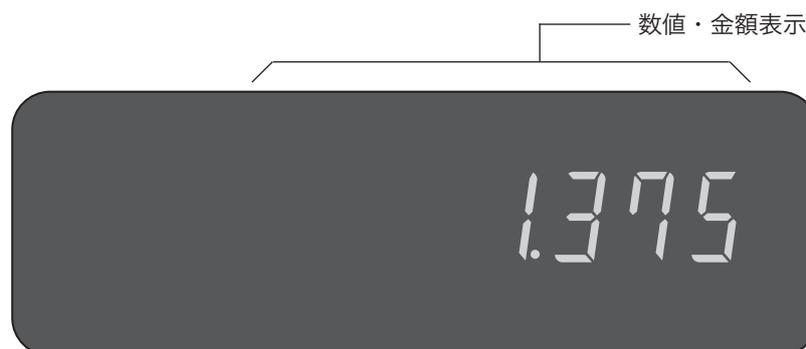
各部のなまえと働き (3 / 3)

本体表示窓 / 客用表示窓の見方

本体表示窓



客用表示窓



●キャラクタ (文字) 表示

登録した品物の名前などを、文字で表示します。半角文字で最大 16 文字 × 2 行、全角文字で最大 8 文字 × 2 行を表示します。

●数値・金額表示

金額や数量などを表示します。

電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●決済、接続 状態表示

マルチ決済端末が接続しているか、インターネットに接続しているかをシンボル (■) で表示します。

決済：マルチ決済端末が接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、電源が入っているか、レジスターと決済端末が確実に接続されているかを確認します。

接続：インターネットに接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、外部接続機器 (ルーターやモデム) などの電源が入っているか、レジスターと確実に接続されているかを確認します。

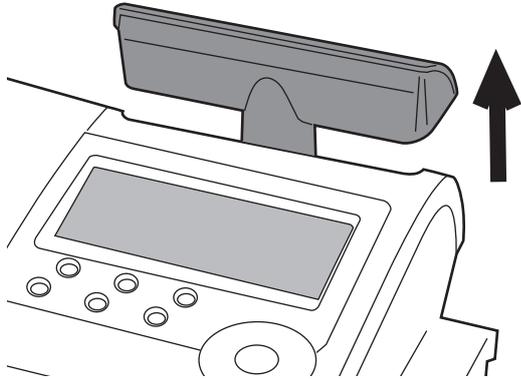
●リピート回数表示

リピート登録 (▶▶ 22 ページ) のとき、その回数の下 1 桁を表示します。

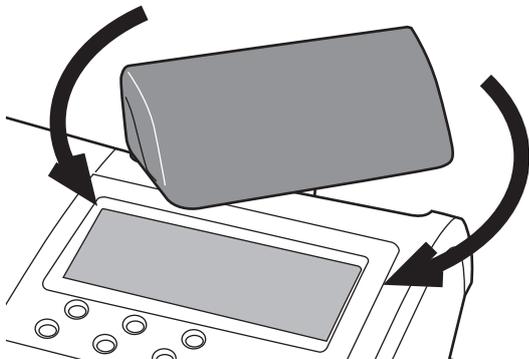
注意 表示例はイメージであり、実際の表示と、行間・字間・書体が異なります。

客用表示窓の向きを変える

1 客用表示窓全体を止まるまで、上に持ち上げます。



2 見やすい方向に回します。

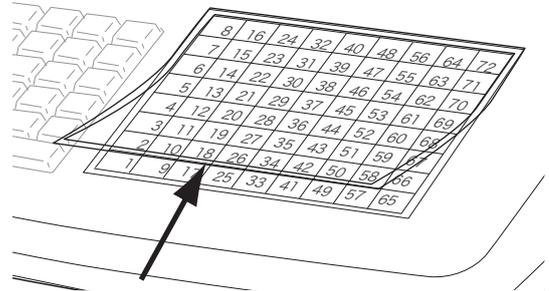


真正面には向きません。

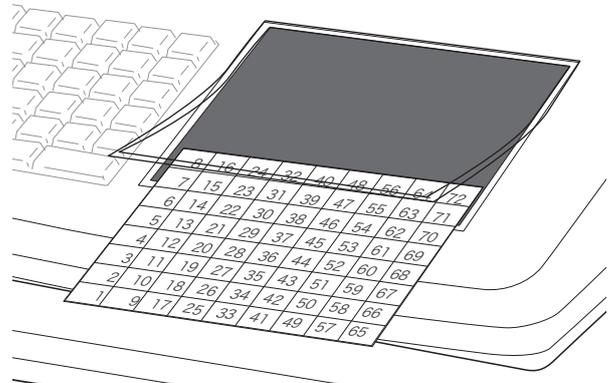
真背面にすると、レジスターの中に格納されます。

タッチキーシートを取り替える

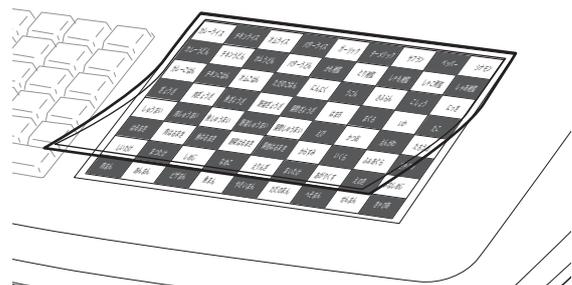
1 タッチキーのカバーの矢印部分を持ち上げます。



2 タッチキーシートを取り出します。



3 新しいタッチキーシートを入れ、タッチキーのカバーを戻します。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に (1 / 2)

お買い上げいただいたレジスターは、以下の手順で設置してください。

設置の手順① (情報センタ接続作業前)

お買い上げ直後は、以下の手順に沿って設置してください。

1

梱包箱の中から本体と付属品すべてを取り出し、全部そろっているか、確認します。

2

レジスターを水平な設置場所に置きます。

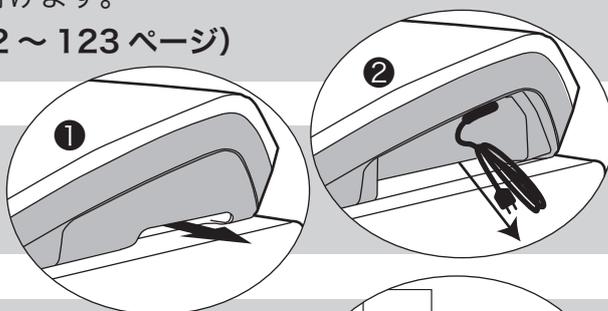
3

ロールペーパー (印字用ロール紙) を取り付けます。

参照  **ロールペーパーをセットする** (122 ~ 123 ページ)

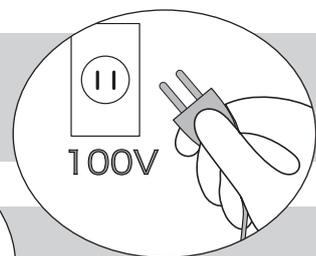
4

レジスター右側面のコネクタカバーを開け、
①、②の手順で電源コードを取り出します。



5

電源プラグを家庭用 100V コンセントに
に確実に差し込みます。



6

モードスイッチにモード鍵を差し込み
「登録」の位置に合わせます。



7

日付と時刻を確認し、違っていたら設定します。

参照  **時刻と日付を表示する** (40 ページ)

参照  **時刻や日付をセットする** (60 ページ)



必要に応じて、以下の設定をします。

参照  「消費税率について」 (16 ページ)

参照  「単価・割引率・丸めの設定」 (61、62 ページ)

参照  「商品名とメッセージの設定」 (69 ページ～)

参照  「その他の設定」 (86 ページ～)

8

これで、レジスターをお使いいただけます。(情報センタの機能は使えません)

情報センタに接続して、マルチ決済端末を使用する場合は、次の節にお進みください。
電子店名スタンプ (RAC-13) が着きましたら、装着してください→ 126 ページ

設置の手順②（情報センタへの接続作業の内容）

情報センタへの接続やマルチ決済端末の接続作業は専門業者が行ないます。（以下に概略を示します）

1

レジスターとマルチ決済端末を接続します。
バーコードスキャナがあれば、それも接続します。

2

レジスターに、磁気カードリーダーを取り付けます。

3

レジスターを ADSL モデムとバックアップ用アナログモデムに接続します。
お客様によっては他のインターネット回線を使うこともあります。

4

インターネット接続キー（RAC-12）を装着します。

5

レジスターの電源プラグや ADSL、アナログモデムの AC アダプタのプラグを
家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。

6

レジスターやモデムの電源を入れ、動作試験を行ないます。
試験が完了したら次に進みます。

設置の手順③（情報センタ接続作業後）

情報センタ接続作業後は、以下の手順に沿って設置してください。

1

レジスターの開設を行ないます。

必要に応じて、以下の設定をします。



「音量の設定」（KT-10 取扱説明書）

2

これで、ネットワークレジスターをお使いいただけます。

情報センタに接続して、そのサービスを受けることができます。
（別途契約が必要なサービスもあります）

電源についてのご注意

- 電源は必ず指定された電源・電圧のコンセントを使用し、電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
- 長期間本機を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に (2 / 2)

消費税率について

ご購入時、税率は一律5%に設定されています。



- ・本機は2014年4月1日以降、自動で税率が5%から8%に変更されます。
- ・政府の方針等により、新消費税の税率(8%)や施行日(2014年4月1日)が変更された場合は、変更にした「税率改定の予約機能」の再設定、または「税率改定の予約機能を無効にする」設定をしてください。

税率の設定については、「消費税率の設定」(66ページ)を参照してください。

課税方式について

消費税の計算には、次の3つの課税方式があります。

①内税方式	②外税方式	③非課税方式
商品金額に消費税が含まれているものを販売する方式	商品金額に消費税を付加して販売する方式	消費税を徴収しない(消費税を計算しない)で販売する方式
例： 価格 1,000円 本体価格 952円 消費税額 48円 合計 1,000円 受取	例： 価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 50円 合計 1,050円 受取	例： 価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 0円 合計 1,000円 受取



お買い上げに、内税/外税/非課税対象の商品が混在していても、消費税計算を正しく行なうことができます。ご購入時は、消費税率5%の内税方式に設定されています。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。

●内税方式のお店は……

このままご使用いただけます。

●内税、外税と非課税とが混在するお店は……



内税扱い/外税扱いと非課税扱いの商品が混在する (65ページ)

奉仕料を申し受けになるお店では、更に奉仕料の設定を行ないます。

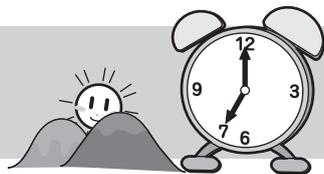


奉仕料率を設定する (107ページ)

一日の仕事の流れ

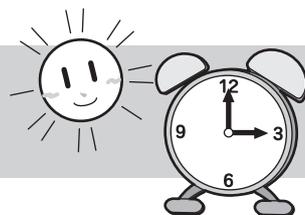
一日の仕事の大まかな流れを示します。

開店前



- ☑電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認します。
- ☑ロールペーパーが充分にあるか、確認します。
参照 **ロールペーパーを交換する** (122 ページ)
- ☑情報センタに接続して使用する場合、レジの開設操作を行ないます。
参照 **レジスターを開設する** (19 ページ)
- ☑モードスイッチを登録にして、日付と時刻を確認します。
参照 **時刻と日付を表示する** (40 ページ)
- ☑釣銭用の小銭をドロアーに入れ、釣銭準備金として登録します。
参照 **入金キーを使う** (41 ページ)

営業中



- ☑商品の売上を登録します。
「基本的な操作」 (20 ページ~)
- ☑売上の確認をします。(必要に応じて)
「売上内容の点検」 (52 ページ)

閉店後



- ☑ドロアー内のお金を取り出し、回収金登録をします。
参照 **出金キーを使う** (41 ページ)
- ☑一日の売上を打ち出します。
参照 **1日の売上レポートを打ち出す** (30 ページ)
- ☑モードスイッチを「OFF」にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシート／ジャーナル／領収書の見方

- レシートとジャーナルの印字内容は、ほぼ同じです。ただし、レシートには店名ロゴが印刷されます。
- レシートを発行したくない場合は、レシート発行／停止スイッチを押してレシート停止にします。(▶▶ 10 ページ)
- ジャーナル用紙を節約するには、1. 高さが半分の文字で印字する（下記印字例参照 ▶▶73 ページ）、2. 明細を印字しない設定をする。(▶▶87 ページ) という2つの方法があります。

レシート

御計算書			
日付/時刻	2013年07月31日 09:23		
レジ担当者	担当 -A	0001-000008	レジ番号/一連番号
部門登録	部門02	5,780	
	部門01	360	
	部門01	360	
	部門01	360	
個数/単価	10点	@128	
乗算登録	部門03	1,280	
PLU登録	PLU0027	880	
値引き	=	-100	
	部門03	2,600	非課税シンボル
	部門04	3,000	
小計	小計	¥14,520	
割引	%-	-5%	
		-726	
買上点数	17点		
内税対象額	内税対象計	¥10,944	
内税額	内税	(¥521)	
非課税額	非課税合計	¥3,000	
合計額	合計	¥13,794	
預かり額	お預り	¥15,000	
釣り銭額	お釣	¥1,206	

ジャーナル (圧縮印字例)

2013年07月31日 09:23	
担当 -01	0001-000008
部門02	5,780
部門01	360
部門01	360

ジャーナル (通常印字例)

部門01	360
10点	@128
部門03	1,280
PLU0027	880
-	-100
部門03	2,600
部門04	3,000
小計	¥14,520
%-	-5%
	-726
	17点
内税対象計	¥10,944
内税	5.0% (¥521)
非課税合計	¥3,000
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206
2013年07月31日 09:23	
担当 -A	0001-000008
	一連No 000008
	領収No 000002
領収書	¥13,794

領収書

2013年07月31日		領 収 書		領収金額
		様		一連 No000008
		¥13,794-		領収 No000002
領収書宛先		(但し	として	税抜金額
				¥13,273-
				消費税等
但し書き		正に領収致しました)		印
				¥521-
収入印紙貼付位置	収入印紙	カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2	
			電話 1234-5678	
			印刷面を内側に折って保管願います	
領収書用社名スタンプ、会社所在地 (これらは電子店名スタンプに設定したデータを印字します)				

注意 本書の印字サンプルはイメージです。実物のジャーナル／レシートと、行間・字間・書体が異なります。



基本的なレジの操作 (1 / 3)

レジスターを開設する (情報センタをお使いになる場合は必須です)

情報センタに接続して電子決済や売上分析を行なう場合は、レジスターの開設操作を営業開始時に行なわなければなりません。開設を行なわないと、ネットワークレジスターとして使用できません。

例題

レジスターを開設する。

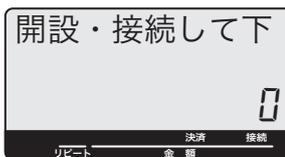
手順

表示例

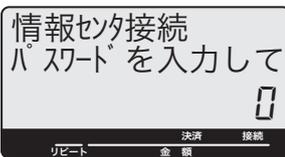
印字例

1 キーを押して表示を確認します。

※ 「開設・接続して下さい。」
と表示する場合は次のステップに進みます。
出ていなければ以下の操作をする必要はありません。

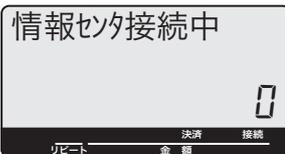


2 キーを押します。



3 開設パスワードを置数し、 キーを押します。

※ パスワードが設定されていない場合は
そのまま キーを押します。



ポイント 電子決済をしたり、情報センタでの売上分析を受ける場合は、必ずレジスターの開設をしなければなりません。
また、日計精算を行なうとレジスターは開設されます。日計精算後にクレジットの決済を行なうときは、再度レジスターを開設します。



注意 情報センタとの接続前にレジスターをお使いになっていた場合は、最初のレジ開設時は上記項目2の代わりに

2 を置数して キーを押します。

と、操作してください。



参照 開設パスワードを変更する場合、以下の操作後、ガイダンスに従って新しいパスワードを設定します。

① 設定モードに回す

② (表示されるガイダンスに従って、操作してください) 終了したら元のモードに戻します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (2 / 3)

商品を1つ、売り上げる

商品1つをお買い上げになったときの例を示します。

例題

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

 **ポイント** 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

表示例

印字例

1 オペレータキー () を使って、登録モードに合わせます。

(以下の節も、指定が無い限り同じです。)

2 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0

1 点	¥1,200	登録累計
部門 01		登録部門名
	1,200	登録金額

決済 接続
レポート 金額

3 キーを押します。

1 点	¥1,200	
小計		
	1,200	合計金額

決済 接続
レポート 金額

4 預かり金額を入力して キーを押して取引を締め (終了し) ます。

2 0 0 0

お預り	¥2,000	預かり金額
お釣		
	800	お釣り金額

決済 接続
レポート 金額

2013年07月31日 09:20
000013
部門01 1,200
内税対象計 ¥1,200
内税 5.0% (¥57)
合計 ¥1,200
お預り ¥2,000
お釣 ¥800

本書内の操作例は、「税率5%の内税方式」の消費税計算 (円未満は「四捨五入」) での記載です。内税方式だけでなく、外税方式、非課税方式および内税、外税、非課税方式が混在している場合でも操作方法は同じです。(印字される内容は異なることがあります)

商品を3つ、売り上げる

商品3つをお買い上げになったときの例を示します。

例題

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥300	1	部門 1	¥2,500
¥800	1	フラット PLU01	
¥1,000	1	フラット PLU73	

手順

表示例

印字例

- 1** 商品の単価と部門（フラット PLU）キーを押します。
商品の数だけ繰り返します。

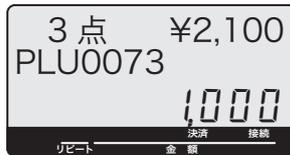
3000



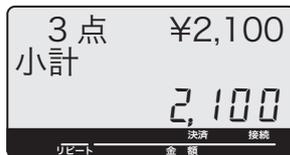
8000
(フラット PLU0001 指定)



10000
(フラット PLU0073 指定)

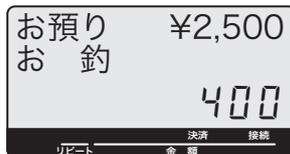


- 2** 商品をすべて入力したら キーを押します。



- 3** 預かり金額を入力して キーを押します。

25000



 **ポイント** フラット PLU は、 キーを用いて、それぞれ以下のように指定できます。

操作		指定される フラット PLU
面切替キー 入力しない	<input type="text" value="1"/>	PLU0001
	<input type="text" value="37"/>	PLU0037
	<input type="text" value="72"/>	PLU0072
<input type="text" value="面切替"/>	<input type="text" value="1"/>	PLU0073
	<input type="text" value="37"/>	PLU0109
	<input type="text" value="72"/>	PLU0144
<input type="text" value="面切替"/> <input type="text" value="面切替"/>	<input type="text" value="1"/>	PLU0145
	<input type="text" value="37"/>	PLU0181
	<input type="text" value="72"/>	PLU0216

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (3 / 3)

同じ商品をいくつか売り上げる (リピート)

同じ商品をいくつかお買い上げになったときの例を示します。
たくさんお買い上げの場合は、次の節に示した乗算をお使いください。

例題

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥300	3	部門 2	¥2,000
¥500	2	部門 1	



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

表示例

印字例

- 1** 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量だけ、その部門キーを繰り返して押します。

3 0 0 2

1 点 ¥300
部門 02
300

2 (2 個目の登録)

2 点 ¥600
部門 02
2 300

2 (3 個目の登録)

3 点 ¥900
部門 02
3 300

リピート回数

2013年07月31日 09:50
000017

部門 02	300
部門 02	300
部門 02	300
部門 01	500
部門 01	500
内税対象計	¥1,900
内税 5.0%	(¥90)
合計	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣	¥100

- 2** 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量だけ、その部門キーを繰り返して押します。

5 0 0 1

4 点 ¥1,400
部門 01
500

1 (2 個目の登録)

5 点 ¥1,900
部門 01
2 500

注意 10 以上のリピート回数は、下 1 桁だけを表示します。

- 3** 小計 キーを押します。

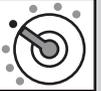
小計

5 点 ¥1,900
小計
1900

- 4** 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 0 0 0 現/預

お預り ¥2,000
お釣
100



同じ商品をたくさん売り上げる（乗算登録）

同じ商品をたくさん（1ダースなど）お買い上げになったときの例を示します。

例題

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

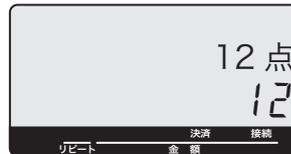
手順

表示例

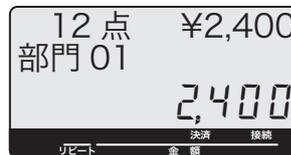
印字例

1 商品の数量、 $\times/\text{日時}$ 、単価、部門キーの順に押します。

1 2 $\times/\text{日時}$



2 0 0 1



2 商品をすべて入力したら 小計 キーを押します。

小計



3 預かり金額を入力して 現/預 キーを押します。

1 0 0 0 0 現/預



乗算登録の「数量」の範囲は「0.001～9999.999」です。

「数量×単価」という入力順番を入れ替えて、「単価×数量」とすることもできます。（▶▶33ページ）

両替を行なう（ドローアを開ける）

ドローアを開ける、両替するときの操作です。

手順

印字例

1 $\text{\#}/\text{替}$ を押します。ドローアが開きます。

$\text{\#}/\text{替}$



両替は、登録操作が完了しているときに、数値を入れずに $\text{\#}/\text{替}$ キーを押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書発行の操作

領収書を依頼されたときは、売上レシートを発行した後に **領収書発行** キーを押します。
 なお、レシートスイッチが「停止」の場合でも領収書が発行できます。

領収書を発行する

例題

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥500	10	部門 4	¥40,000
¥2,000	1	部門 2	
¥25,000	1	部門 1	

ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

この登録の後で領収書を発行する。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

1 0 5 0 0 0

2 0 0 0

2 5 0 0 0

小計

4 万円

2 **領収書発行** キーを押します。

領収書発行

印字例

カシオ商店
 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678

2013年07月31日 10:02
 000025

10点	@500
部門 04	5,000
部門 02	2,000
部門 01	25,000
内税対象計	¥32,000
内税 5.0%	(¥1,524)
合計	¥32,000
お預り	¥40,000
お釣	¥8,000

レシート一連番号

注意

領収書には、電子店名スタンプ (▶▶126 ページ) で自店専用のロゴを印字することができます。電子店名スタンプはレジスターに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご発注ください。

●領収書印字例

2013年07月31日

領 収 書 様

お客様名を記入します →

¥32,000- 税抜金額 ¥30,476-
 (但し として 消費税込 ¥1,524-
 正に領収致しました)

一連 No000025 ←
 領収 No000004 ←

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

収入印紙貼付欄 →

領収額中の税額
 領収書一連番号

幾通りかの中から但し書きを選ぶことができます ▶▶63 ページ。
 もし適切なものがなければ、空白を選び手書きしてください。

ポイント

収入印紙を貼付欄は、合計金額が 30,000 円以上で自動的に印字されます。
 印紙の必要な金額が変わりましたらその額に変更してください。▶▶93 ページ
 日計明細レポート上も、収入印紙貼付の有無の領収書の発行枚数/発行金額を分けて集計します。



金額指定の領収書を発行する

別のお客様のお買い上げ処理が終わってから前のお客様に領収書を依頼された場合は、お客様のお買い上げ金額を入力して領収書を発行します。

手順

印字例

1 領収書の額面金額を入力し  キーを押します。

5000 

●領収書印字例

2013年07月31日	一連 No000027 領収 No000006
領 収 書	
様	
¥5,000-	
(但し	として
正に領収致しました)	
カシオ商店	印
渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678 印刷面を内側に折って保管願います	



ポイント 金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて  キーを押します。この場合、税額は印字されません。

レシート、ジャーナル用紙について

- 領収書を発行したり、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお勧めします。
- 収入印紙貼付後や捺印後は、完全に乾くまでこすらないでください。
- 未使用の感熱紙（サーマル用紙）を保管したり、印字後のジャーナルを保存する場合は、光にさらしたままにしないように注意してください。
- お客様に領収書をお渡しするときは、手を汚されないように印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

キー操作を間違えた場合、**C/AC** キーや **訂正中止** キーで間違いを取り消すことができます。

C/AC キーで取り消せるのは、**1**～**9**、**0** および **00** の数字キーの入力をした状態のときです。その他の間違いには **訂正中止** キーを使用します。**訂正中止** キーでも直せない間違いもあります。

部門キーや取引キーを押す前の訂正

部門キーや取引キーを押す前は、すべて **C/AC** キーで訂正できます。

例題

	単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
①	¥120	1	部門 1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門 1	
③	¥105	10	部門 2	

 **ポイント** 例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。

上記①～④での登録途中の間違い。

例①

単価を押しまちがえた

手順

1 **C/AC** キーを押します。

1 2 0 0 **C/AC**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 2 0

例③

乗算で単価をまちがえた

手順

1 **C/AC** キーを押します。

1 0 **1 5 0** **C/AC**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 0 **1 0 5**

例②

数量を間違えて キーを押してしまった
(単価を入れて キーを押してしまった)

手順

1 **C/AC** キーを押します。

2 0 0 **C/AC**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 **2 0 0**

例④

預かり金額をまちがえた

手順

1 **C/AC** キーを押します。

小計 **5 0 0 0** **C/AC**

2 正しく入力し、**現/預** キーを押します。

小計 **3 0 0 0** **現/預**



部門キーを押したあとの訂正

部門キーを押した直後は、**訂正中止** キーで訂正できます。

例題

	単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
①	¥505	1	部門 1	¥2,000
②	¥230	3	部門 3	

ポイント 例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。

上記①、②での登録途中での間違い。

手順

① 単価をまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

1 **訂正中止** キーを押します。
5 5 0 **1** **訂正中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 0 5 **1**

② 乗算時、単価をまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

1 **訂正中止** キーを押します。
3 **X/日時** **2 2 0** **3** **訂正中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

3 **X/日時** **2 3 0** **3**

3 **小計** キーを押し、預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

小計 **2 0 0 0** **現/預**

印字例



登録途中の商品すべての取り消し

登録をもう一度やり直す場合は、**小計訂正中止** で一括取消を行ない、再度登録を行ないます。

例題

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥350	12	部門 4	-
¥1,280	1	部門 2	

ポイント 例は部門キーですが、フラット PLU キーを使うことも可能です。

手順

1 例に示した登録をします。

1 2 **X/日時** **3 5 0** **4** **1 2 8 0** **2**

2 **小計** キーを押してから、**訂正中止** キーを押します。

小計 **訂正中止**

印字例



注意 **小計** キーは必ず押してください。押し忘れると、最終行だけの訂正になります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

返品戻しとレシート発行後の訂正

モードスイッチの位置

戻



レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などは《返品戻し処理》を行いません。

返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の2種類があります。

取引終了後の返品

取引を終了した（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせ、その商品を売り上げたときと同じ操作を行いません。

例題

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥780	2	部門1	現金
¥1,280	1	部門3	



ポイント 部門キーの代わりにフラットPLUキーを使うことが可能です。

手順

- 1 オーナーキー（) を使って、戻しモードに合わせます。
- 2 例に示した登録操作を行いません。

7	8	0	1	1
1	2	8	0	3
小計	現/預			
- 3 登録モードに合わせます。
- 4 オーナーキーをモードスイッチから抜きます。

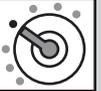
印字例

戻	2013年07月31日 10:50	000045
部門01	780	
部門01	780	
部門03	1,280	
内税対象計		¥2,840
内税	5.0%	(¥135)
現金		¥2,840

(戻しモードのしるしは担当者名、
一連番号の行に印字されます)



注意 戻モードでの処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。
オーナーキーは精算操作や設定ができますので、普段から挿したままにしないでください。



取引中の返品

現在売り上げ処理中の商品の返品や訂正は、モードスイッチを「登録」のままで **戻** キーを使って行ないます。

現/預 キーを押した後で、その登録の誤りに気づいた場合は、前節の《取引後の返品》を行ないます。

例題

単 価	数 量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥720	1	部門 4	現 金
¥1,530	2	部門 2	
返品処理→¥720	1	部門 4	



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 例に示した通常の商品登録を行ないます。

7 2 0 **4** **1 5 3 0** **2** **2**

2 **戻** キーを押して返品する商品を登録します。

戻

7 2 0 **4**

3 **小計** キーと **現/預** キーを押します。

小計 **現/預**

2013年07月31日 10:53		000048
部門 04		720
部門 02		1,530
部門 02		1,530
戻	
部門 04		-720
内税対象計		¥3,060
内税	5.0%	(¥146)
現金		¥3,060

閉店後の操作

閉店後には、その日の売上の精算を行ないます。

精算後は、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除いて、印字された内容がクリアされます。

※ このレジスターで発行できるレポートに付いては、52 ページ以降にも記載されています。

※ マルチ決済端末をご使用の場合、このレポートの前にクレジット日計明細を印字します。

1日の売上レポートを打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナーキー () でモードスイッチを「精算」にして、 キーを押します。

印字例

精算 2013年07月31日 17:53	日付/時刻		
担当-A 0001-000248	★責任者名/マシン番号/一連番号		
固定合計器 精算モード	レポートタイトル/モード		
日計 0001011 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数		
総売上 1060点	総売上 { 個数		
¥524,966	{ 金額 * 1		
純売上 158件	純売上 { 件数		
¥498,747	{ 金額 * 2		
現金在高	現金在高		
現計 ¥405,361	現金在高申告値		
現計 ¥405,360	在高過不足 (一は不足、+は過剰を示す)		
商品券在高	商品券在高		
クレジット在高	信用売り在高		
¥37,405			
戻モード 1件	「戻」モード { 件数		
¥6,372	{ 金額		
万円 17枚	万円券枚数		
サービス ¥376	5円/10円丸め合計		
取引中止 2件	取引中止 { 件数		
¥297	{ 金額		
電卓 18件	電卓モードの計算回数		
領収書 印紙 1件	印紙付き領収書 { 件数		
¥36,372	{ 金額		
領収書 2件	印紙無し領収書 { 件数		
¥23,563	{ 金額		
内税対象計 ¥330,584	内税 { 対象額 (税込み)		
内税 5.0% ¥15,742	{ 消費税額		
消費税合計 ¥15,742			
非課税合計 ¥153,051	非課税額合計		
1万円札 15枚 ¥150,000	在高申告値		
¥15,000			
取引 精算モード	レポートタイトル/モード		
日計 0001012 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数		
現金 48件	現金売上 { 件数		
¥405,381	{ 金額		
券 1件	商品券売上 { 件数		
¥2,890	{ 金額		
クレジット 3件	クレジット売上 { 件数		
¥37,405	{ 金額		
入金 1件	入金 { 件数		
¥10,000	{ 金額		
%-	1件		
戻	¥9,234		
訂正	3件		
シート #/替	¥10,873		
.....	6件		
部門	¥4,905		
日計 0001015 Z 0002	19件		
部門01	3件		
個数 47.64%	505点		
金額 44.04%	¥231,167		
部門02			
個数 38.77%	411点		
金額 39.75%	¥208,689		
合計			
個数	1060点		
金額	¥524,966		
グループ			
日計 0001016 Z 0002			
2013年07月28日			
グループ01			
個数 8.15%	47点		
金額 4.89%	¥14,582		
グループ02			
個数 6.59%	38点		
金額 5.24%	¥15,624		
グループ03			
金額 2.18%	¥6,512		
合計			
個数	576点		
金額	¥297,836		

● この印字例の中をはじめ、52 ページ以降に示した点検/精算レポートで印字される各項目の間には、以下の関係式があります。

* 1 総売上 = 部門合計 + 部門リンクしていない PLU 合計 : 個数、金額とも
(部門リンク ▶▶▶ 99 ページ)

* 2 純売上 = 現金売上額 + 貸し売上 + 商品券売上
= 総売上 - 値引き - 割引 - 5 円 / 10 円丸め合計
(= お客様の支払い額の総合計)

* 3 現金在高 = 現金売上 + 入金合計 - 出金合計 (券売りでおつりが無い場合)
= 総売上 - 値引き - 割引 = 内税対象額 + 外税対象額 + 非課税額合計

割引き { 回数
金額 }
[戻] キー { 回数
金額 }
直前訂正 { 回数
金額 }
レシート発行件数
両替回数

レポートタイトル/モード

レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数

部門 [1] { ★構成比/個数
★構成比/金額 }

部門 [2]

部門合計 { 売上個数
売上金額 }

レポートタイトル/モード

レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数

前回精算日付

グループ 01 キャラクタ
★構成比/個数
★構成比/金額
グループ 02

グループ 03

精算分の合計個数
精算分の合計金額

時間帯	精算	モード	レポートタイトル/モード
日計	0001019	Z 0002	種別コード/精算シンボル/精算回数

07:00 -> 07:30			時間帯 07:00 ~ 07:30
客数	0.22%	13 名	★構成比/件数 (客数)
個数	0.17%	67 点	★構成比/個数
金額	0.17%	¥30,230	★構成比/純売上金額
07:30 -> 08:00			時間帯 07:30 ~ 08:00
客数	0.03%	35 名	
金額	0.03%	10 点	

合計			時間帯総合計
客数		5,773 名	件数合計 (客数合計)
個数		38,072 点	売上個数合計
金額		¥17,058,650	純売上金額合計

PLU			レポートタイトル/モード
日計	0001014	Z 0002	種別コード/精算シンボル/精算回数

PLU0001		#0001	PLU0001 キャラクタ / PLU No.
個数	1.81%	126 点	★構成比/個数
金額	1.23%	¥38,430	★構成比/金額
PLU0003		#0003	PLU0003
個数	1.35%	94 点	
金額	0.95%	¥29,892	
PLU0007		#0007	PLU0007
個数	2.33%	162 点	
金額	1.13%	¥35,324	
PLU0016		#49177008	スキャニング PLU / PLU code
個数	2.03%	141 点	
金額	1.83%	¥57,246	

合計			合計個数
個数		4,163 点	合計金額
金額		¥1,872,484	

※ マルチ決済端末をご利用のときは、クレジットカード取引明細をこの前に印字します。

 KT-10 取扱説明書をご参照ください

★印の項目を印字するには、設定の変更 (▶▶ 87 ページ) が必要です。

※ 個数や件数、金額がすべて “0” だと、その部門や担当者は印字されません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門キー/フラット PLU キーの便利な使い方

この章では、部門キーやフラット PLU キーの便利な使い方を説明します。
(お使いになる前に、▶▶ で示したページに書かれた設定をしてください)

単価を設定した商品を登録する

よく使われる商品金額を部門キーやフラット PLU キーに設定することができます。設定された単価の商品を登録する場合は、単価の置数は要りません。直接そのキーを押下してください。

例題

単価	数量	部門またはフラット PLU キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2	¥5,000
¥1,200	1	部門 2	
¥600	1	フラット PLU15	
¥500 (キーに設定済み)	4	フラット PLU15	

手順

1 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

2

2 設定された単価と異なる場合、その価格を入力して部門キーを押します。

1 2 0 0 2

3 フラット PLU キーも同様です。

6 0 0 15

4 ×/日時 15

4 レシートを発行します。

小計

5 0 0 0 現/預

表示例

1 点 ¥800
部門 002
800

2 点 ¥2,000
部門 002
1,200

3 点 ¥2,600
PLU0015
600

7 点 ¥4,600
PLU0015
2,000

7 点 ¥4,600
小計
4,600

お預り ¥5,000
お釣 400

印字例

2013年07月31日 11:12
000062

部門 02	800
部門 02	1,200
PLU015	600
4 点 @500	
PLU015	2,000
内税対象計	¥4,600
内税 5.0%	(¥219)
合計	¥4,600
お預り	¥5,000
お釣	¥400

ポイント 商品が部門キーやフラット PLU キーに設定されているものと異なる単価の場合、その価格を入力してから部門キーやフラット PLU キーを押します。この場合でも設定されている単価は消えません。

参照 単価設定の仕方 (部門キー) ▶▶ 61 ページ
単価設定の仕方 (フラット PLU キー) ▶▶ 61 ページ



単価 × 数量の順番で登録する (部門キーのみできます)

ご購入時の乗算登録は「数量」×「単価」の順に入力しますが、これを「単価」×「数量」の順で入力します。

例題

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1	¥10,000
¥160	5	部門 2	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門 3	

手順

表示例

印字例

1 単価を入力し、 キーを押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0 **8** **1**

8 点 ¥3,040
部門 01
3,040
決済 接続
レポート 金額

1 6 0 **5** **2**

13 点 ¥3,840
部門 02
800
決済 接続
レポート 金額

2 設定単価を使用する場合は、 キーの前の単価入力は要りません。

1 0 **3**

23 点 ¥8,840
部門 03
5,000
決済 接続
レポート 金額

3 レシートを発行します。

小計

23 点 ¥8,840
小計
8,840
決済 接続
レポート 金額

万円 **現/預**

お預り ¥10,000
お釣
1,160
決済 接続
レポート 金額

2013年07月31日 11:15
000065

部門 01 8 点 @380 3,040
部門 02 5 点 @160 800
部門 03 10 点 @500 5,000

内税対象計 ¥8,840
内税 5.0% (¥421)

合計 ¥8,840
お預り ¥10,000
お釣 ¥1,160

参照 乗算の入力順番の設定 ▶▶▶ 105 ページ

注意 「単価」×「数量」の順番で乗算登録できるのは、部門キーだけです。
(フラット PLU キーは、「単価」×「数量」の操作はできません)
この機能を使用すると、「PLU の乗算登録」、「スキャニング PLU の乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の使い方

PLU とは？

設定されている商品単価や商品名を番号（品番など）を指定して呼出して登録する機能です。

部門登録：商品単価を置数 ⇒ 該当部門キーを押すという手順 で

PLU 登録：PLU 番号を置数 ⇒ **PLU** キーを押すという手順 です。

PLU はプライス・ルック・アップの略で、

価格（プライス）を探して（ルック）登録する（アップ）という意味があります。

PLU 個々に売上金額と個数が集計されますので、商品単品の売上状況をつかむことができます。

PLU はお買い上げの状態です。20,000 本あります。このうち 19,784 本をスキャニング PLU として使います。最初の 216 本をフラット PLU として使います。

注意 各 PLU には登録に先立ち、単価を設定しておく必要があります。
PLU キーは、標準ではキーボード上にありませんので、フラット PLU キー上に設定された数以上の PLU を使用する場合は設定してください。

参照 PLU への単価設定の仕方 ▶▶ 61 ページ
PLU への商品名の設定の仕方 ▶▶ 69、77 ページ

PLU キーなど、お店に必要なキーの設定 ▶▶ 108 ページ

PLU を使って登録する

例題

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLUNo. 200	¥10,000
¥150	12	PLUNo. 150	
¥1,200	2	PLUNo. 109	

手順

表示例

印字例

1 PLU 番号を入力し **PLU** キーを押します。設定単価を呼び出します。

200 **PLU**

1 点 ¥2,000
PLU0200
2,000
レポート 金額 接続

2 乗算登録は最初に個数を入力します。

12 **X/日時** **150** **PLU**

13 点 ¥3,800
PLU0150
1,800
レポート 金額 接続

3 リポート登録は個数分 **PLU** キーを押します。

109 **PLU** **PLU**

15 点 ¥6,200
PLU0109
2 1,200
レポート 金額 接続

4 レシートを発行します。

小計 **10000** **現/預**

お預り ¥10,000
お釣 3,800
レポート 金額 接続

2013年07月31日 11:25
000067
PLU0200 2,000
12点 @150
PLU0150 1,800
PLU0109 1,200
PLU0109 1,200
内税対象計 ¥6,200
内税 5.0% (¥295)
合計 ¥6,200
お預り ¥10,000
お釣 ¥3,800



品番 PLU 機能とは？

品番 PLU は、同じジャンルの商品でありながらアイテムごとに異なる単価を持つもの（例えば精肉や鮮魚など、アイテムの重さで単価が異なるもの）の登録を行なうときに使用できます。

なお、品番 PLU を使うには **PLU** キーのほかに **金額** キーが必要です。

個々の PLU に「品番 PLU」として使用するか/使用しないかの設定があります。品番 PLU として使用するためには、該当 PLU は「品番 PLU として使用する」と設定していなければなりません。登録の手順は、番号を入れて **PLU** キーを押し、その後に単価を入れて **金額** キーを押してはじめて登録が行なわれます。（単価を入れずに直接 **金額** キーを押せば、設定されている単価で登録できます）

注意 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。
金額 キーは、お買い上げ時はキーボード上にありませんので、品番 PLU が必要な場合は設定してください。

参照 PLU への品番 PLU の設定 ▶▶100 ページ
金額 キーなど、お店に必要なキーの設定 ▶▶108 ページ

品番 PLU を使って登録する

例題

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	PLUNo. 303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	PLUNo. 28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	PLUNo. 232 (品番 PLU 設定済み)	

手順

表示例

印字例

1 品番を入力し **PLU** キー、単価 **金額** キーを押します。

3 0 3 **PLU** **8 5 0** **金額**

1 点 ¥850
 PLU0303
 850

2 リピート登録は個数分 **金額** キーを押します。

金額

2 点 ¥1,700
 PLU0303
 2 850

3 乗算登録では、最初に個数を入力します。

9 **×/日時** **2 8** **PLU** **9 8** **金額**

11 点 ¥2,582
 PLU0028
 882

4 設定単価を使う場合は単価を入力せずに **金額** キーを押します。

2 3 2 **PLU** **金額**

12 点 ¥3,062
 PLU0232
 480

5 レシートを発行します。

小計 **4 0 0 0** **現/預**

お預り ¥4,000
 お釣 938

2013年07月31日 11:27
 000069

PLU0303	850
PLU0303	850
9 点	@98
PLU0028	882
PLU0232	480
内税対象計	¥3,062
内税 5.0%	(¥146)
合計	¥ 3,062
お預り	¥ 4,000
お釣	¥ 938

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

スキャンニング PLU の使い方

スキャンニング PLU をお使いいただくためには、バーコードスキャナの準備と情報センタとの契約（「スキャンニングサービス」）が必要です。さらに「スキャンニングサービス」を受けると、スキャンニング PLU を自動学習したときに、その商品名称を情報センタで探して設定します。

注意 お取り扱いの商品の種類によっては、スキャンニングサービスをご契約になっても、商品名を自動的に設定できないことがあります。

スキャンニング PLU とは？

商品上に貼付されたバーコードラベルをスキャナで読取り、商品登録を行ないます。本機はお買い上げの状態では 19,784 本のスキャンニング PLU を持っています。

スキャンニング PLU を使うために、別売のスキャナを接続します。また、バーコードを読み取れなかった場合は、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入れて **PLU** キーを押します。

扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-8/13 PLU タイプ、EAN-8/13 PLU タイプ、UPC-A PLU タイプ、UPC-E タイプのバーコードを扱うことができます。

ポイント お買い上げの状態では、スキャンニング PLU のバーコード情報はレシート、ジャーナル、レポートすべて印字しません。

注意 スキャナをレジスターに接続する場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてから作業してください。スキャナは、コネクタカバー内のスキャナポートに接続します。

スキャンニング PLU の自動学習機能

今までスキャンニング PLU を使用する場合は、事前のスキャンニング PLU マスタ登録（設定）が必要でした。しかし本レジではマスタ登録が不要です。設定されていないスキャンニング PLU アイテムをスキャンしたときは、続けて単価と所属する部門キーを入力するだけで、その商品売上登録と同時にスキャンニング PLU マスタに登録されます。

また、自動学習した商品の名前を情報センタのデータベースから探して設定します。もしデータベース上に無い場合は部門名を印字しますので、後ほどお客様ご自身で商品名の設定をしてください。

参照  キーなど、お店に必要なキーの設定 ▶▶ 108 ページ

ポイント 設定されているスキャンニング PLU の単価、または、部門を変更することもできます。
スキャンニング PLU の単価と部門の変更 ▶▶ 61 ページ

スキャンニング PLU マスタ一杯になると、最も古く登録されたスキャンニング PLU を選び出して、新しく登録されたスキャンニング PLU に置き換えられます。

注意 設定されていないスキャンニング PLU アイテムをスキャンした場合、**C** キーを押さずに単価やリンク部門を入力してください。



スキャンング PLU 商品を売り上げる (新規登録：未学習)

例題

単価	数量	部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A (未設定、部門 3)	¥5,000
¥760	4	商品 B (未設定、部門 3)	

手順

- 商品 A のバーコードをスキャンングします。
(スキャンング)
- ガイダンスに従い、単価を入れて登録したい部門キーを押します。
5 7 0
- 乗算登録では、商品 B の数量を入れ キーを押してスキャンングします。
4 (スキャンング)
- ガイダンスに従い、単価を入れて部門キーを押します。
7 6 0
- レシートを発行します。
小計 **5 0 0 0**

表示例

新規商品です。
単価を入れて部門
0

1 点 ¥570
部門 03
570

新規商品です。
単価を入れて部門
0

5 点 ¥3,610
部門 03
3,040

お預り ¥5,000
お釣 1,390

印字例

2013年07月31日 11:40
000074

部門 03 570
4 点 @760
部門 03 3,040

内税対象計 ¥3,610
内税 5.0% (¥172)

合計 ¥3,610
お預り ¥5,000
お釣 ¥1,390

ご使用前に

使い方

便利な使い方

スキャンング PLU 商品を売り上げる (既存：学習済み)

例題

単価	数量	スキャンング登録	預かり金
¥760	1	商品 B (設定済み、部門 3)	¥3,000
¥850	2	商品 C (設定済み、部門 4) コード番号 4905360102547	

手順

- スキャンングすると登録が行なわれます。
(スキャンング)
- スキャナで読めない場合、バーコードを入力し キーを押します。
4 9 0 5 3 6 0 1 0 2 5 4 7
- リピート登録は個数分、 キーを押します。
- レシートを発行します。
小計 **4 0 0 0**

印字例

2013年07月31日 11:40
000075

部門 03 760
部門 04 850
部門 04 850

内税対象計 ¥2,460
内税 5.0% (¥57)

合計 ¥2,460
お預り ¥3,000
お釣 ¥540

設定の仕方

こんなときは

コード印字 (不加算印字) の使い方

不加算印字キーを使う

お買い上げ金額に関係のない伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号などの数値を印字したい場合、その数値を入れたあとで **#/替** キーを押します。

これを《不加算印字》と言います。(数値は最大 16 桁まで印字できます)

例題

お客様番号 <1001> に下記の商品売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1	¥20,000
¥3,500	1	部門 3	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門 2	

 **ポイント** 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1 0 0 1 #/替

1 2 3 0 1

3 5 0 0 3

2 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

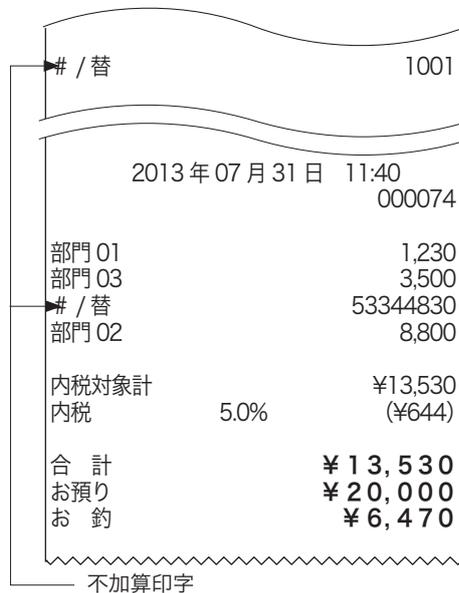
5 3 3 4 4 8 3 0 #/替

8 8 0 0 2

3 レシートを発行します。

小計 2 0 0 0 現/預

印字例



/ 替 1001

2013年07月31日 11:40
000074

部門 01 1,230
部門 03 3,500
/ 替 53344830
部門 02 8,800

内税対象計 ¥13,530
内税 5.0% (¥644)

合 計 ¥13,530
お預り ¥20,000
お釣 ¥6,470

不加算印字

万円キー/レシート発行キーの使い方

登録



万円キーを使う

万円キーは、1万円札のお預かりがあったときに使用します。

何枚か1万円札を受け取った場合、その枚数を万円キーの前に入力します。また、1万円未満の金額は万円キーに続いて入力します。

例題

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門 3	¥30,600
¥20,550	1	部門 4	



ポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録を行います。

1 00 00 3

2 0 5 5 0 4

2 預かり金を入力します。

小計 3 万円 6 0 0 0 現/預



ポイント

ドロア内にあるべき1万円札の枚数を、点検/精算レポート上の万券枚数で示します。

万円キーを商品登録にも使用できます。



万円キーなど、お店に必要なキーの設定 ▶▶▶108 ページ

印字例

2013年07月31日 12:44		000176
部門 03		10,000
部門 04		20,550
内税対象計		¥30,550
内税	5.0%	(¥1,455)
合計		¥30,550
お預り		¥30,600
お釣		¥50

レシート発行キーを使う

お客様からレシートを要求されたときだけ、レシートを発行したい場合は、レシートスイッチを「停止」にしておき、要求されたときにレシート発行キーを押してレシートを発行します。

例題

レシートスイッチ「停止」で、下記の登録後にレシートを発行する。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門 2	¥1,500
¥550	1	部門 4	



ポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録を行い、取引を終了します。

5 x/日時 1 5 0 2

5 5 0 4

小計 1 5 0 0 現/預

2 レシート発行キーを押して後レシートを発行します。

レシート発行

印字例

2013年07月31日 12:47		000178
5 点		@150
部門 02		750
部門 04		550
内税対象計		¥1,300
内税	5.0%	(¥62)
合計		¥1,300
お預り		¥1,500
お釣		¥200



注意 お買い上げの状態では、レシートを発行した取引の後レシートは発行できません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

時刻や日付の表示／担当者の指定と解除

時刻と日付を表示する

キーを押すと時刻と日付を表示します。(登録や戻モードでレシートを発行した状態のときに可能です)

時刻や日付を表示していて他の操作を始める場合は、まず キーを押して時刻／日付の表示を消します。

手順

1 日付・時刻を確認します。



表示例



印字例

(これらの操作で印字はしません)

年-月-日

時(24時間制) 一分

1秒ごとの点滅

2 日付・時刻表示を解除します。



時刻・日付の修正 → 60 ページ

担当者の指定や解除をする

お買い上げの状態では、担当者の指定をする必要はありません。しかし、レシート上に担当者名を印字したい／担当者別売上をとりたい、などの要望がある場合は「担当者を使用する」設定をしてください。この設定をすると、登録時に担当者の指定をしなければなりません。

例題

- ① 担当-Aを指定(サインオン)する。
- ② 担当-Aを解除(サインオフ)する。
- ③ 担当-Bを指定(サインオン)する。

手順

1 担当-Aの番号(お買い上げ時は0001)を入力し、担当者キーを押します。



表示例



印字例

(これらの操作では印字しません)

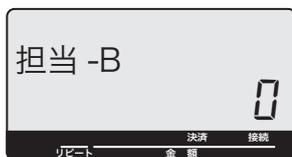
サインオンすると、表示窓に担当者名を表示し、商品登録ができるようになります。

2 "0"を入力し、担当者キーを押します。



サインオフすると、担当者の指定が解除されて商品登録できなくなります。

3 担当-Bの番号(お買い上げ時は0002)を入力し、担当者キーを押します。



別の担当者をサインオンする前に、サインオンされていた担当者をサインオフします。



担当者を使用する。▶▶88 ページ

担当者番号を変更する。▶▶106 ページ

担当者名を変更する。▶▶78 ページ

表示窓に出てくる担当者番号を表示したくない場合は、担当者番号入力の前に担当者キーを押します。

入金キー／出金キーの使い方

入金キーを使う

貸し売り代金の受取や釣銭用小銭の補充などで、売上ではない現金の入金（現金をドロアーに入れること）があった場合に、入金キーで登録を行ないます。

例題

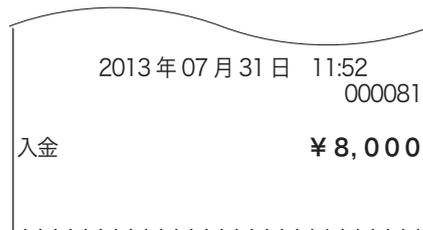
釣り銭準備として、8000円をドロアーに入れる。

手順

印字例

1 入金額を置数して **入金** キーを押します。

8000 **入金**



貸し売り代金の受取や、釣銭用小銭の補充など、売上ではない入金で「現金をドロアーに入れるとき」には、その金額を「入金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

出金キーを使う

集金や、ドロアーが一杯になったときなどで、売上（お釣りや両替）とは関係のない現金の出金（現金をドロアーから出すこと）があった場合に、出金キーで登録を行ないます。

例題

1万円札を15枚、ドロアーから金庫に移す。

手順

印字例

1 出金額を置数して **出金** キーを押します。

150000 **出金**



集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上（お釣りや両替）とは関係なく「現金をドロアーから出すとき」には、その金額を「出金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

値引きキーの使い方

値引きを行なう

商品の値引き、または合計の値引きが発生した場合は **[-]** キーで登録します。

例題

単価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 **[]** 1

2 5 0 0 **[]** 3

2 値引きを行います。

5 0 0 **[-]**

3 レシートを発行します。

小計 **5 0 0 0** **[現/預]**

2013年07月31日 12:18	
000093	
部門 01	1,000
部門 03	2,500
-	- 500
内税対象計	¥3,000
内税 5.0%	(¥143)
合 計	¥ 3,000
お預り	¥ 5,000
お 釣	¥ 2,000



ポイント **[-]** キーに、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、値引き金額を入れると設定された金額によらず、その金額で値引きを行ないます。



参照 **[-]** キーへの値引き金額の設定 ▶▶62 ページ

[-] キーをキーボード上に設定する必要があります。▶▶108 ページ

割引きキーの使い方

それぞれの商品金額ごとに割引きをする

商品の割引きが発生した場合は、割引き対象商品登録のすぐ後に [%-] キーを操作します。

例題

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 3	7.5%	



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 [%-] キーを押すと直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

1 0 0 0 [] 1

[%-]

2 [%-] キーの直前に割引率を入力することもできます。

2 5 0 0 [] 3

7 . 5 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 [現/預]

参照 次節「合計金額から割引きをする」のポイントや参照をお読みください。

印字例

2013年07月31日 12:20		000095
部門 01		1,000
%-	-5%	-50
部門 03		2,500
%-	-7.5%	-188
内税対象計		¥3,262
内税	5.0%	(¥155)
合 計		¥ 3, 2 6 2
お預り		¥ 5, 0 0 0
お 釣		¥ 1, 7 3 8

合計金額から割引きをする

合計金額の割引きが発生した場合は、小計キーのすぐ後に [%-] キーを操作します。

例題

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 商品登録をおこないます。

1 0 0 0 [] 1

2 5 0 0 [] 3

2 [小計] キーを押してから [%-] キーを押します。

小計 1 0 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 [現/預]

参照 [%-] キーへの割引き率の設定 ▶▶62 ページ

[%-] キーの端数処理の設定 ▶▶105 ページ

[%-] キーをキーボード上に設定する必要があります。▶▶108 ページ

印字例

2013年07月31日 12:22		000096
部門 01		1,000
部門 03		2,500
小計		¥3,500
%-	-10% *	-350
内税対象計		¥3,150
内税	5.0%	(¥150)
合 計		¥ 3, 1 5 0
お預り		¥ 5, 0 0 0
お 釣		¥ 1, 8 5 0



ポイント [%-] キーには、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。使用例は割引ですが、[%+] キーを用いた割増しの操作もこれと同じです。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

さかのぼり訂正の使い方

商品登録中に何行か前のまちがいを訂正する

登録の途中で、同じレシートの中の何行か前の登録を訂正する（さかのぼり訂正する）場合、**[戻]** キーを 사용합니다。

例題

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥960	1	部門 4	¥4,000
¥2,800	1	部門 4	



ポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品登録をおこないます。

990 **[4]**

2800 **[4]**

2 最初に登録した商品の単価の間違いに気づき、さかのぼり訂正をします。

[戻] **990** **[4]**

3 正しい単価で登録し直します。

960 **[4]**

4 レシートを発行します。

小計 **4000** **[現/預]**

2013年07月31日 12:45		000202
部門 04		990
部門 04		2,800
戻	
部門 04		-990
部門 04		960
内税対象計		¥3,760
内税	5.0%	(¥179)
合計		¥3,760
お預り		¥4,000
お釣		¥240

訂正分の印字



ポイント さかのぼり訂正は、**[戻]** キーを押したあとにまちがえた登録内容と同じ操作をします。その後、正しい登録を行ないます。

10円丸め・5円丸めの使い方

10円丸めする（合計の10円未満の端数を丸める）

合計金額を、「10円単位」に丸めて《自動値引き》します。「5円単位」の丸めも可能です。

例題

<10円未満の端数値引き>で、下記の商品を売る

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥1,281	1	部門 4	¥10,500
¥1,502	1	部門 1	
¥2,380	1	部門 2	



部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 例に合わせて商品登録をおこないます。

1 2 8 1 4

1 5 0 2 1

2 3 8 0 2

2 端数を丸めて合計処理がおこなわれます。

小計 万円 5 0 0 現/預

2013年07月31日 12:50		
		000203
部門 04		1,281
部門 01		1,502
部門 02		2,380
内税対象計		¥5,163
内税	5.0%	(¥246)
		¥5,163
丸め前の金額	→ 小計	¥5,163
丸め値引き額	→ サービス	-3
丸め後の金額	→ 合計	¥5,160
	お預り	¥10,500
	お釣	¥5,340



「10円丸め」は、1円の位が「1~9→0円」に丸められます。

「5円丸め」は、1円の位が「1~4→0円」に、「5~9→5円」に丸められます。

どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」され、レシートに「サービス金額」として印字されます。また点検/精算レポートに「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは「サービス金額」は印字しません。



5円丸めまたは10円丸めの設定 ▶▶62 ページ

日計明細で丸め合計の印字の設定 ▶▶89 ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

券売キー／信用売キーの使い方

商品券での支払いを受けた

商品券（券売り）で売上を行なう場合は、**[券]** キーを押します。

例題

下記の商品を 5,000 円（500 円×10 枚）に **<商品券>** の支払いがあった

単価	数量	部門キー／フラット PLU キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2	¥500×10 枚の商品券 ([券] キーには ¥500 が設定済み)



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 8 0 **[2]** **[2]** **[小計]**

2 商品券額を入力し **[券]** キーを押します。乗算処理もできます。

1 0 **[x/日時]** **[券]**



ポイント お店でよく使われる商品券の券面金額を、あらかじめ **[券]** キーに設定しておけば、上例のような操作ができます。

なお、金額を入れてから **[券]** キーを押せば、その金額が預かり商品券の金額になります。

参照 **[券]** キーへ、よく使われる商品券の券面金額の設定 ▶▶62 ページ

印字例

2013年07月31日 13:37		000208
部門02		2,380
部門02		2,380
内税対象計		¥4,760
内税	5.0%	(¥227)
合計		¥4,760
券		¥5,000
お釣		¥240

《券売り》の預かり額

クレジットカードまたは iD での支払いを受けた

クレジットカードで売上を行なう場合は、**[クレジット/決定]** キーを押します。

iD で売上を行なう場合は、**[iD]** キーを押します。

例題

下記の商品を **<クレジットカード>** で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1	なし (クレジット)



ポイント 部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

3 5 0 0 0 0 **[1]** **[小計]**

2 **[クレジット/決定]** キーを押します。

[クレジット/決定] (KT-10 が接続されていない場合は、これで終了です)

※ iD の場合は **[クレジット/決定]** キーの代わりに **[iD]** キーを押します。

(KT-10 が接続されていない場合、iD はお取り扱いできません)

参照 **[iD]** KT-10 が接続されている場合は ▶▶KT-10 取扱説明書 参照

印字例

2013年07月31日 13:40		000210
部門01		35,000
内税対象計		¥35,000
内税	5.0%	(¥1,667)
クレジット		¥35,000

信用売り



注意 KT-10 が接続されていない場合は、別途インプリンタなどを用いてクレジット処理をしてください。

KT-10 の接続には、KT-10 本体およびクレジット決済に関する契約が必要です。

KT-10 が接続されている場合は、レシートの前にクレジット伝票を発行します。



組み合わせた売上のやり方

一部現金、一部商品券などでの支払いを受けた

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせが可能です。

例題

下記の商品を <分割処理> で売る

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1	現金 ¥1,500



部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

表示例

印字例

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 5 0 2 3 8 2 0 1

小計



2 商品券の預かり金額を入れて
券 キーを押します。

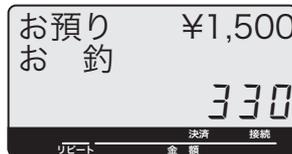
5 0 0 0 券



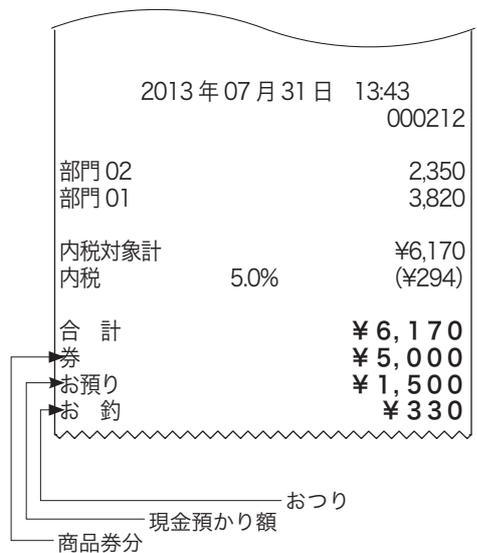
商品券分を引いた残額

3 現金の預かり金額を入れて
現/預 キーを押します。

1 5 0 0 現/預



おつり



現金払いだけのお店の場合、現金の預かり不足を知らせる設定 (▶▶103 ページ) をして、操作ミスを防いでください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

奉仕料を徴収する

奉仕料を含めて計算する

奉仕料計算が必要な店は、「奉仕料を計算する」に設定します。同時に奉仕料の料率や端数処理方法なども設定します。(お買い上げの状態では、奉仕料は計算しません)

例題

下記の商品を 奉仕料を計算して登録する (客数を2名とする)

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門 1	10% (設定済み)	¥20,000
¥3,500	1	部門 2		



ポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 客数を入力します。

2 客数

2 商品登録をおこないます。

5 5 0 0 1 1 3 5 0 0 2

3 奉仕料が自動的に計算されます。

小計 2 0 0 0 0 現/預

印字例

2013年07月31日 13:50	
000215	
部門 01	5,500
部門 01	5,500
部門 02	3,500
お客様	2
奉仕料	¥1,450
内税対象計	¥15,950
内税 5.0%	(¥760)
合計	¥15,950
お預り	¥20,000
お釣	¥4,050

奉仕料額
人数 (客数)



注意 ここで登録された客数は、日計明細レポート上に集計されます。客数を入力しなくても、奉仕料計算を行なうことができます。



奉仕料の計算の設定 ▶▶▶107 ページ

客数 キーをキーボード上に設定 ▶▶▶108 ページ

客数の入力を忘れないために、客数入力の強制的設定 ▶▶▶88 ページ

在高申告を行なう

在高申告とは、点検や精算の前にドロアー内の金銭の合計額を勘定してレジスターに申告（登録）することです。点検や精算レポートを見る前に申告することで、ドロアーにある金額とレジで登録された合計の差額をピンハネするような不正操作を防ぐことができます。

在高申告を行なう

在高申告は、現金／商品券／掛け売り伝票などの金種ごとに行ないます。それぞれの金種ごとの合計額を登録しますが、現金は、1万円札枚数、5千円札枚数、…100円硬貨枚数、…1円硬貨枚数の順に枚数で登録します。（設定によって、明細を入力せずに合計金額だけ登録することもできます）

例題

以下の在高申告を行なう

金種	数量	金種	数量	金種	数量
現金1万円札	15	現金500円硬貨	14	現金5円硬貨	3
現金5千円札	4	現金100円硬貨	30	現金1円硬貨	0
現金2千円札	0	現金50円硬貨	28	商品券合計5000円	1
現金千円札	30	現金10円硬貨	53		

手順

- 1 在高申告キーを押します。

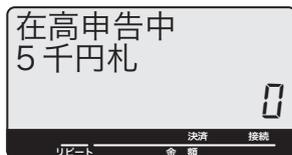
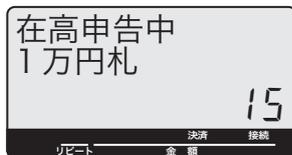
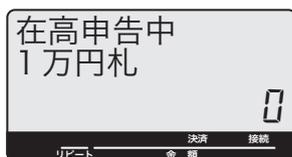
- 2 ガイダンスに従って、1万円札の枚数を入力します。

- 3 現金キーを押します。

- 4 ステップ2と3を1円硬貨まで繰り返します。
- 5 商品券合計金額を入力し、券キーを押します。

- 6 在高申告キーを押します。


表示例



印字例

2013年07月31日 13:50		
000215		
在高申告		
1万円札	15枚	¥150,000
5千円札	4枚	¥20,000
2千円札	0枚	¥0
千円札	30枚	¥30,000
500円玉	14枚	¥7,000
100円玉	30枚	¥3,000
50円玉	28枚	¥1,400
10円玉	53枚	¥530
5円玉	3枚	¥15
1円玉	0枚	¥0
券		¥5,000
現計		¥211,945
商品券計		¥5,000

注意 在高申告の結果は、日計明細レポート上に印字されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

飲食店向け機能の使い方

本レジは、テーブル別売上管理機能（チェックトラッキング機能）を持っています。
テーブルごとのオーダー登録や追加登録、仮締め、伝票の分割（別々会計）などを行なえます。（飲食店向けの機能を使う場合は、いろいろな設定が必要になりますので、販売店にご相談ください）

新しく伝票を登録する

新しくテーブルに着いたお客様から注文を受けた場合、伝票番号キーで新しい伝票番号を指定してから、登録を始めます。（伝票番号として、従来からお使いの紙に印刷された伝票個々の番号やお店のテーブルに振られた番号が使用できます）

例題

新規のお客様を 伝票番号 1234 でオーダーを登録した

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥10,000	1	部門 1	仮締め

手順

- 1 伝票番号を入力します。
1 2 3 4
- 2 オーダーを登録します。
1 00 00
- 3 仮締めキーを押します。

印字例

2013年07月31日 13:50	
伝票 No.: 1 2 3 4	000215
部門 01	10,000
仮締め	¥ 10,000

伝票に追加登録する

お客様からの追加注文を受けた場合、伝票番号キーでお客様の伝票番号を指定して、先に登録した内容を出し、追加登録したり、支払いを行ないます。

例題

伝票番号 1234 のお客様の追加オーダーを登録し、取引を終了した。

単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	預かり金
¥20,000	1	部門 2	¥30,000

手順

- 1 伝票番号を入力します。
1 2 3 4
- 2 オーダーを追加します。
2 00 00
- 3 取引を終了します。
3 00 00

印字例

2013年07月31日 13:50	
伝票 No.: 1 2 3 4	000215
小計	¥10,000
部門 02	20,000
内税対象計	¥30,000
内税 5.0%	(¥1,429)
合計	¥ 30,000
お預り	¥ 30,000
お釣	¥ 0



別々会計（伝票分割）を行なう

1枚の伝票を複数人で支払う場合に別々会計を使います。

例題

伝票番号 4321 のお客様の登録のうち、①と③のアイテムの支払いを先に行なう。

	単価	数量	部門キー/フラットPLUキー	支払い
①	¥10,000	1	A ランチ	先に支払い
②	¥20,000	1	B ランチ	仮締め
③	¥15,000	2	C ランチ	1個だけ先に支払い
④	¥30,000	1	D ランチ	仮締め

手順

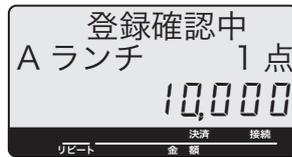
表示例

印字例

1 右の別々会計前の登録が行なわれました。

2 伝票番号を入力します。

4 3 2 1 別々会計



3 ①のアイテムを分割します。

別々会計



4 ②のアイテムを表示しているのので、登録確認キーを押して次の③アイテムを表示します。

登録確認



5 ③のアイテムを表示しているのので、別々会計キーを押してこのアイテムを分割します。

1 別々会計

(先の置数は分割される個数です)



6 仮締めキーを押して、別々会計から抜けます。

仮締め



7 分けた①と③の取引を終了します。

3 万円 現/預



右の別々会計後のレシートが発行されます。

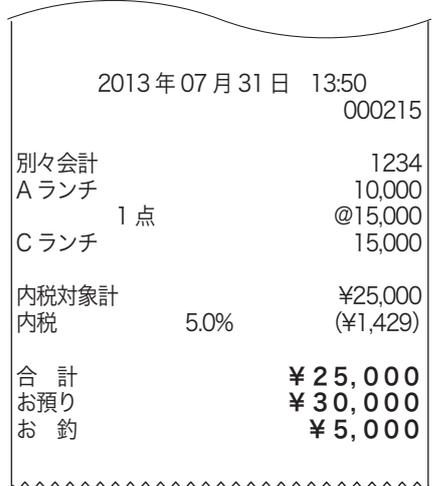
8 同じ伝票の次の支払いのために別々会計キーを押します。

別々会計 (この場合は、伝票番号の入力は不要です)

同じ伝票のすべての支払いが済むまで、繰り返します。



(別々会計前の登録)



(別々会計後のレシート)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例（1 / 3）

●点検

- 点検とは、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを「確認したい」ときに行なう操作です。（点検しても合計は消えません）
- オーナーキーをモードスイッチに挿し、モードスイッチを「点検」に回します（右図参照）。
表示窓に“点検”文字が表示されます。
以下のキー操作を行ない、レポートを発行します。
点検の印字シンボルは“X”です。

●精算

- 精算とは、一日の終わりや期間満了日の営業終了後に、売上合計や時間帯、価格帯別などの合計を確認し、リセットする操作です。
- オーナーキーをモードスイッチに挿し、モードスイッチを「精算」に回します（右図参照）。
表示窓に“精算”文字が表示されます。
以下のキー操作を行ない、レポートを発行します。
精算の印字シンボルは“Z”です。

レポート発行操作について

 キーを押して、“点検”または“精算”の文字が表示されることを確認します。

以下の表から、希望するレポートのキー操作を実行します。

（日計明細の内容は、固定合計器、取引キー、部門、グループ別、時間帯、PLU が順に印字されます）

日計明細で PLU レポートを必要としないお客様は、130 ページを参照の上、日計明細の内容を変更してください。

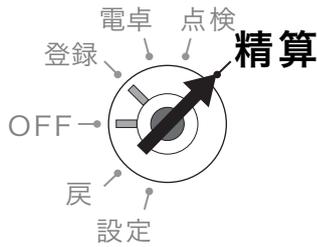
レポート名称	日計のキー操作	期間集計 1 のキー操作
日計明細	点検／精算とも：  現/預	100  現/預
担当者	点検： 17  現/預 精算： 9999917  現/預	117  現/預
月間日別	点検： 20  現/預 精算： 9999920  現/預	なし
売上／在高	 日時	なし
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に  小計	なし
フラット PLU 個別	点検したいフラット PLU キーを押す、、、最後に  小計	なし
PLU 個別	点検したい PLU のコードを置数し  PLU を押す、、、最後に  小計	なし
スキャニング PLU 個別	点検したいアイテムをスキャン、、、最後に  小計	なし
グループ別 PLU	66  現/預 に続いて点検したいグループ番号  現/預、、、最後に  小計	なし

点検

精算



モードスイッチ



モードスイッチ

集計名称とその内容

●日計明細

1日の最後に必ず精算します。日計明細には以下の項目が含まれています。

- 固定合計器：売上総額やドロアー内の現金在高、税額総計などを知ることができます。
- 取引キー：現金、掛け、商品券、クレジット等や割引、値引き、入出金などを知ることができます。
- 部門：部門キーや数個のフラット PLU キー (PLU) を部門にまとめた合計を知ることができます。
- グループ：数個の部門またはフラット PLU キー (PLU) をグループにまとめた合計を知ることができます。
- 時間帯：どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。
- PLU：PLU (フラット PLU キー) / スキャニング PLU 個々の商品別の売上金額と売上数量を知ることができます。

●月間日別

1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。

●担当者

担当者別の売上、現金在高などを知ることができます。

●期間集計1

ある期間分 (週単位や月単位など) の売上状況がそれぞれ求められます。

●期間集計2

期間集計1とは異なる期間 (キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など) の売上状況がそれぞれ求められます。

●個別点検

部門や PLU 個々の売上金額を印字します。個別点検できるのは、各部門キー、各 PLU アイテム、各フラット PLU キー、各スキャニング PLU アイテムです。

●グループ別 PLU 点検

PLU をあらかじめ設定したリンクグループに分けて売上金額を印字します。あるグループ (商品群) を指定して、売上動向を見ることができます。



ポイント

グループ集計は「部門」または「フラット PLU キー (PLU)」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。各項目の「構成比」を求める場合は、「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。



参照

部門のグループ設定 ▶▶96 ページ
フラット PLU キー (PLU) のグループ設定 ▶▶99 ページ
売上構成比の印字の設定 ▶▶87 ページ

期間集計2のキー操作	備考	参照ページ
200 現/預		30、56
217 現/預		56
なし		57
なし	点検のみ	54
なし		54
なし		55
なし		55
なし		54
なし	点検のみ	55

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (2 / 3)

売上／在高の点検

手順

- 1 モードスイッチを「点検」にします。
- 2  キーを押します。


印字例

担当 -A	000370	担当者／一連番号
在売点検	点検№	レポート名
日計	0000071	X 種別コード／点検シンボル
総売上	1059 点	総売上個数
	¥524,966	総売上金額
純売上	158 件	純売上任数 (客数)
	¥498,747	純売上金額
現金在高	¥405,361	現金在高
貸在高	¥40,295	貸在高
商品券在高	¥2,890	商品券在高
外高	¥37,405	クレジット在高

スキャニング PLU 個別の点検

手順

- 1 モードスイッチを「点検」にします。
- 2 点検したいスキャニング PLU をスキャンし (またはコード番号を入力して  キーを押します)。
- 3  キーを押します。

部門個別の点検

例題

部門 1、3、4 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを「点検」にします。
- 2 点検したい部門キーを押します。
  
- 3  キーを押します。


印字例

担当 -A	000369	担当者／一連番号
個別点検	点検№	レポート名
日計	X	点検シンボル
部門 01		部門 01 名称
個数	38 点	個数
金額	¥25,753	金額
部門 03		部門 03
個数	23.6 点	
金額	¥22,957	
部門 04		部門 04
個数	50 点	
金額	¥23,523	
合計		点検分の合計個数
個数	111.6 点	合計金額
金額	¥72,233	



「構成比」は、それぞれの総合計に占める個々の割合のことです。計算結果の小数第3位以下は切捨てです。

※ 長いレポートを途中で
止めたい場合は……

 キーを2回続けて押します。
(止まるまで数秒かかるときもあります)

ワット PLU キー (PLU) 個別の点検

例題

ワット PLU キー 2、6、8、10 および PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを「点検」にします。
- 2 点検したいワット PLU キーを押します。

- 3 PLU コードを入力して **PLU** キーを押します。次の PLU を点検するときはコードを入力せずには **PLU** キーを押します。


- 4 **小計** キーを押します。


印字例

担当 -A	000380	担当者/一連番号
個別点検	点検マーク	レポート名
日計	X	点検シンボル

PLU0002	#0002	ワット PLU 2 商品名/ No.
個数	20 点	個数
金額	¥3,360	金額
PLU0006	#0006	ワット PLU キー 6
個数	14 点	
金額	¥1,932	
PLU0008	#0008	ワット PLU キー 8
個数	15 点	
金額	¥2,970	
PLU0010	#0010	ワット PLU キー 10
個数	8 点	
金額	¥880	
PLU00111	#0011	
個数	10 点	
金額	¥1,700	
PLU0112	#0112	PLU 112
個数	4 点	
金額	¥520	
PLU0200	#0200	PLU 200
個数	17 点	
金額	¥1,700	
合計		
個数	88 点	点検分の合計個数
金額	¥12,562	点検分の合計金額

※PLU No. は、設定により印字します。

グループ別 PLU の点検

例題

グループ番号 01、20 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを「点検」にします。
- 2 グループ別 PLU の点検コード「66」を入力し、**現/預** キーを押します。

- 3 点検したいグループ番号を入れ、**現/預** キーを押します。

- 4 **小計** キーを押します。


印字例

担当 -A	000155	担当者/一連番号
PLU	点検マーク	レポート名
日計	1020014 X	種別コード/点検シンボル

グループ 01.....01		《グループ 01 に属する PLU》
PLU0003	#0003	PLU0003
個数	0.94%	28 点
金額	2.64%	¥8,540
PLU0007	#0007	PLU0007
個数	0.64%	19 点
金額	1.86%	¥6,042
合計		グループ 01 の
個数	47 点	合計個数
金額	¥14,582	合計金額
グループ 2020	《グループ 20 に属する PLU》
PLU0033	#0033	PLU0033
個数	0.27%	8 点
金額	0.51%	¥1,664
PLU0034	#0034	PLU0034
個数	0.37%	11 点
金額	1.01%	¥3,278
PLU0035	#0035	PLU0035
個数	0.3%	9 点
金額	1.48%	¥4,726
合計		グループ 20 の
個数	53 点	合計個数
金額	¥15,624	合計金額
合計		点検されたグループの
個数	284 点	合計個数
金額	¥30,206	合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (3 / 3)

日計明細の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
 日計点検/精算は 現/預
 期間集計1点検/精算は 100 現/預
 期間集計2点検/精算は 200 現/預

印字例

(始めの部分のみ)

固定合計器	精算レポート	レポート名
期間1	0001111	ZZ 0002 種別コード/精算シンボル /精算回数
2013年06月30日		前回精算日付
総売上	37924点	総売上個数
	¥18068,776	総売上金額
純売上	6134件	純売上任数 (客数)
	¥18561,870	純売上金額
現金在高	¥3781,440	現金在高
商品券在高	¥2032,920	商品券在高
クレジット在高	¥7132,680	信用売リ在高
戻モード	108件	「戻」モード件数
	¥285,480	「戻」モード金額

担当者の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
 日計点検は 17 現/預
 日計精算は 9999917 現/預
 期間集計1点検/精算は 117 現/預
 期間集計2点検/精算は 217 現/預

印字例

担当-A	023652	担当者/一連番号
担当者	精算レポート	レポート名
日計	0001017	Z 0002 種別コード/精算シンボル /精算回数
担当-A	138点	担当-A
純売リ	¥309,873	純売上任数 純売上金額
担当-B	20件	担当-B
純売リ	¥188,874	

■日計明細の印字例→ 30 ページ

※ 期間集計1および期間集計2のレポートは、日計明細のレポートと殆ど同じです。違いは、点検や精算シンボルが"XX"や"ZZ"になることと前回精算日付が印字されることです。

※ 件数や金額が0の担当者は印字をスキップします。
お買い上げの状態では担当者は使用できません。

日計明細でPLUレポートを必要としないお客様は、130ページを参照の上、日計明細の内容を変更してください。

点検



精算



月間日別集計の点検・精算

手順

1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。

2 以下の操作をします。

日計点検は **20** 現/預

日計精算は **99999920** 現/預

印字例

担当-A	023652	担当者/一連番号
月間日別	精算	レポート名
日計	0000020 Z 0003	種別コード/精算シンボル /精算回数
2013年06月30日		前回精算日付
1日 純売上	191件 ¥564,360	1日 売上件数(客数) 純売上金額
2日 純売上	179件 ¥532,250	2日
3日 純売上	236件 ¥712,560	3日
4日 純売上	261件	30日
30日 純売上	215件 ¥641,070	
合計 純売上	5773件 ¥17058,650	月間日別総合計 件数合計(客数) 純売上合計
平均	¥2,954	客単価(純売÷件数)

※ 件数や金額が0の日付は印字をスキップします。

※ 月間日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に印字します。

ご使用前に

使い方

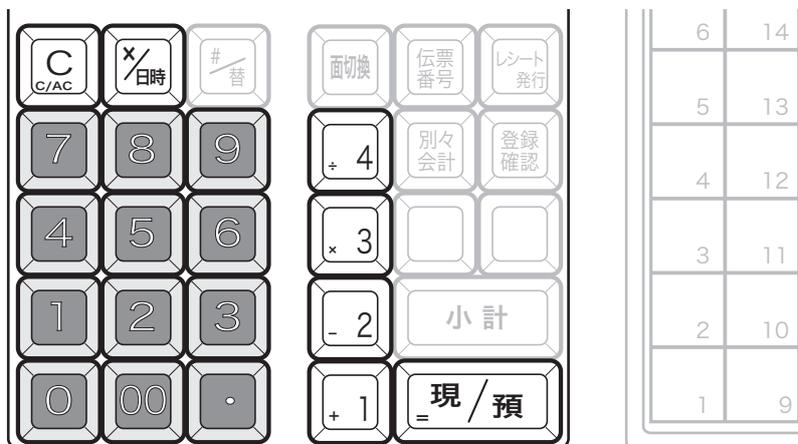
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

モードスイッチを「電卓」の位置に合わせることで、電卓として使用することができます。
(計算過程や結果は、表示のみで印字されません)



注意 10桁(負数のときは9桁)を超えるとエラーになります。

ポイント ・計算命令キーは上記のほかに、 \square キーが減算に、 \square キーが乗算に使用できます。
・電卓モード中でも \square キーを押すとドロアーが開きます。

税抜き額や税額を計算する

クレジット/決定

例1 1,500円の税抜き金額と内税額は？(「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合)

操作 1 5 0 0 \square (クレジット/決定) 1429. \square 税抜き金額
(続けて) \square (クレジット/決定) 71. \square 内税金額

例2 230円、780円のそれぞれの内税額の合計は？(「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合)

操作 2 3 0 \square \square (+) 11. \square 内税金額
7 8 0 \square \square (現/預) 48. \square 税額合計

注意 ・税金計算は、「税1テーブル(通常は「内税」)」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容によって求められる答が違ってきます。

\square \square キーを使って計算する

\square \square どちらも同じ動作をします

\square \square キーを使うと下表の計算が簡単にできます。

	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a円のb%を求める	a \square b \square	$a \cdot b / 100$
割増計算	a円のb%増しを求める	a \square b \square (+)	$a + (a \cdot b / 100)$
割引計算	a円のb%引きを求める	a \square b \square (-)	$a - (a \cdot b / 100)$
比率計算	a円はb円の何%かを求める	a \square b \square	$a / b \cdot 100$
増減比率計算	b円からa円に変化したときのb円に対する変化率を求める	a \square b \square	$(a - b) / b \cdot 100$
売価設定計算	原価a円の商品を利益率b%で販売するときの売価を求める	a \square b \square	$a / (1 - b / 100)$



呼び出し機能を使って計算する

入金
CAL

- ポイント**
- ・計算命令キーは、上記のほか \ominus キーが減算に、 \times キーが乗算に使用できます。
 - ・電卓モード中は、 $\#$ キーを押すとドロアーが開きます。

例題

以下の商品の売上合計を4人で割り勘にします。

- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ

手順

表示例

1 モードスイッチの位置を「登録」にします。商品を登録します。

4 \times /日時 9 3 0 + 1

1 2 4 0 - 2

3,720

1,240

2 **小計** キーを押します。

小計

4,960 合計金額

3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。**入金** キーを押します。

入金
CAL4,960 呼び出された
合計金額

4 割り勘の計算をします。

 \div 4 現/預

1,240 1人当たり割り勘額

5 モードスイッチの位置を「登録」にします。**小計** キーを押すと、元の状態(手順2)に戻ります。

小計

4,960 合計金額

- 注意**
- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額 (**小計** キーを押したときに表示される数値) です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答(「イコール」で求められた数値) です。
 - ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。
「税込み商品(内税)の単価が、税率改定によっていくらになるか？」
今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

例題

現在、税込1万円(内税5%)の商品が、税率8%になるといくらになるか。

手順

表示例

1 0 0 0 0

クレジット
/決定 \times 8 % -

+

10,000

9,524 「10000」の税抜き
価格(税率5%)

761.92 「9524」の8%分

10,285.92 新税率(8%)での
税込価格

この数値を参考にして、新単価をいくらにするか？

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

時刻や日付をセットする

時刻を直す

例題

午後1時05分に合わせる場合

手順

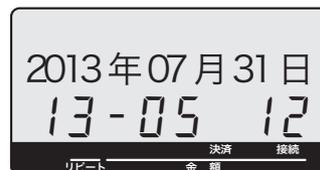
表示例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現時刻を24時制で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

1 3 0 5 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC **C**



⚠ 注意 時刻は24時間制で入れます。(00～23)
時と分は必ず2桁ずつ入れます。(0～9→00～09)

日付を直す

例題

2013年7月31日に合わせる場合

手順

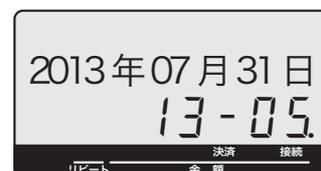
表示例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現日付を西暦で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

1 3 0 7 3 1 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC **C**



⚠ 注意 年は「西暦年」の下2桁を入れます。(2013→13)
月と日は必ず2桁ずつ入れます。(1～9→01～09)
日付を和暦にすることも可能です。和暦にするには、▶▶63ページを参照してください。このとき日付の入力も和暦年になります。

商品単価を設定する

商品単価を部門キーやフラット PLU キーに設定する

例題

部門キーやフラット PLU キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価	フラット PLU	単価
部門 1	¥100	フラット PLU1	¥210
部門 2	¥220	フラット PLU2	¥220
部門 4	¥1,100		

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する単価を入力し、部門キーを押します。

- 3 設定する単価を入力し、フラット PLU キーを押します。

- 4  キーを押します。


印字例

部門 01	0001-05 @100
部門 02	0002-05 @220
部門 04	0004-05 @1,100
PLU0001	0001-04 @210
PLU0002	0002-04 @220

部門/フラット PLU 名 設定単価 課税ステータス

 **ポイント** 単価は最大6桁 (999,999 円) まで設定できます。
(単価設定した場合の登録の操作例は 32 ページ)

商品単価を PLU (スキャンング PLU) に設定する

例題

PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU 番号	単価	リンク部門	スキャンング PLU	単価	リンク部門
PLU 番号 111	¥780	部門 1	スキャンング	¥123	部門 2
PLU 番号 112	¥880	変更無し	スキャンング	¥456	変更無し
PLU 番号 200	¥550	部門 2			

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する PLU コードを指定し、設定する単価を入力後、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押し  キーを押します。

- 3 スキャンングで PLU を指定後、設定する単価を入力して、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押し  キーを押します。
 (スキャンング) 
 (スキャンング) 
- 4  キーを押します。


印字例

PLU0111	0111-04 @780
11-66 PLU0112	0001 0112-04 @880
11-66 PLU0200	0003 0200-04 @550
11-66 PLU0500	0002 0500-04 #4901234567894
11-66 PLU0600	@123 0002 0600-04 #4912345678904
11-66	@456 0003

PLU 名 設定単価 リンク部門 課税ステータス

 **ポイント** 単価は最大6桁 (999,999 円) まで設定できます。
(PLU キーを使用した登録の操作例は 34、35 ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各種レート、丸めを設定する

割引率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する

例題

割引率と値引き金額、**券** キーの金額、通貨変換 (**\$** キー) のレートをそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
%- キー	割引率 5%
- キー	値引き金額 ¥50
券 キー	商品券の金額 ¥500
\$ キー	1ドルの金額 ¥112.54

注意 キーボード上に、**%-**、**-**、**\$** キーを設定する必要があります。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

5 **%-**

50 **-**

500 **券**

112.54 **\$**

3 **小計** キーを押します。

小計

割引率	%-	0002-02 5% *
値引き金額	-	0003-02 @50
券キー設定額	券	0005-02 @500
通貨変換レート	\$→¥	0010-02 112.54

ポイント 率は 0.01%～99.99%まで設定できます。小数の入力には **.** キーを使用します。
(割引率や値引き金額を設定した操作例は 42、43 ページ)

券 キーには、お店で一番多く使用される「商品券」の額面を設定しておきます。**券** キーに金額を設定した操作例は 46 ページを参照してください。

券 キー以外はキーボード上への設定が必要です。▶▶108 ページ

5円丸めまたは10円丸めを設定する

合計金額の5円や10円未満を切り捨てて、お客様に請求しません。

例題

「10円丸め」を設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

10 **レシート発行**

3 **小計** キーを押します。

小計

丸め金額	円丸め設定	10円丸め
------	--------------	-------

ポイント 「10円丸め」は10を、「5円丸め」は5を設定します。丸めを行わないときは0を入力します。
ご購入時は「0」になっています。(5円丸め/10円丸めの操作例は 45 ページ)

領収書やレシートに関する設定

但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する

例題

領収書の但し書き部に「お品代」を常に印字する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

- 1 0 1 0 0 0** 小計 (ガイドが表示されますので、ガイドに従って操作します)
- 0** 現/預 (西暦を使用するか、和暦を使用するかを決定します。西暦=0、和暦=1)
- 0** 現/預 (レシートに時刻を印字するか否かを決定します。印字する=0、印字しない=1)
- 0** 現/預 (領収書のタイトルを領収書とするか領収証とするかを決定します。領収書=0、領収証=1)
- 1** 現/預 (但し書きを使うか否か、使う場合はどの但し書きかを決定します。但し書きなし=0、お品代=1、お食事代=2)
- 0** 現/預 (レシートの文字サイズが縦倍か標準かを決定します。通常=0、縦倍=1)
- 0** 現/預 (ジャーナルの文字サイズが標準か縦圧縮かを決定します。圧縮=0、通常=1)
- 0** 現/預 (非課税シンボル「非」を印字するか否かを決定します。印字する=0、印字しない=1)
- 0** 現/預 (非課税合計を印字するか否かを決定します。印字する=0、印字しない=1)
- 0** 現/預 (レシートの商業メッセージを印字するか否かを決定します。印字しない=0、印字する=1)
- 0** 現/預 (レシートのボトムメッセージを印字するか否かを決定します。印字しない=0、印字する=1)

印字例

年号指定	西暦
レシート時刻印字	印字
領収書キャラクター	領収書
領収書但し書き	お品代
レシート印字	通常印字
ジャーナル印字	圧縮印字
非課税シンボル	印字
非課税合計	印字
レシート商業メッセージ	非印字
レシートボトムメッセージ	非印字

レシートの背景を印字する

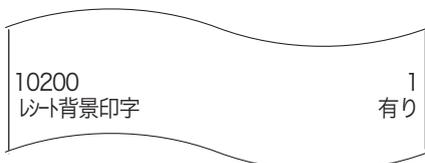
お買上レシートに、「Thank you」の薄い文字を背景として印字することができます。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

- 1 0 2 0 0 0** 小計 (上記操作で背景印字の見本を印字しますので、印字の場合1、印字しない場合0を入力します。)
- 1** 現/預

印字例



領収書の背景を印字する

領収書に、格子模様を背景として印字することができます。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

- 1 0 3 0 0 0** 小計 (上記操作で背景印字の見本を印字しますので、印字の場合1、印字しない場合0を入力します。)
- 0** 現/預

印字例



ポイント レシートの背景印字、領収書の背景印字とも印字の有無を選びます。
“0”を指定すると背景印字は行なわれません。ご購入時は“0”になっています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の課税方式の設定

お店の課税方式に合わせて、部門や PLU、値引き、割引などの課税方式を設定します。もし、お店が内税方式で内税商品だけを扱っておられるならば、ご購入の状態でお使いいただけます。内税以外の課税方式を採用されているか、一部の商品を外税や非課税で扱われている場合は設定が必要です。

すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は……………

……部門キー、いくつかの PLU および キー、 キーに「非課税」を設定します

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
 - 2 設定 1 モードにします。
 - 3 キーを押します。
 - 4 非課税にする部門、 キー、 キーを押します。
 ……
 - 5 キーを押します。
- PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。
- 6 キーを押します。
 - 7 非課税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 キーを押します。
 ~
 - 8 キーを押します。
- フラット PLU キーには以下の手順で設定します。
- 9 キーを押します。
 - 10 非課税にするフラット PLU キーを押します。
 ~
 - 11 キーを押します。

印字例

全部門キー	部門 01	0001-05
		@0 非 #
	部門 02	0002-05
		@0 非 #
	部門 03	0003-05
		@0 非 #
	部門 04	0004-05
		@0 非 #
<input type="text" value="ー"/> キー	ー	0027-02
		@0 非 #
<input type="text" value="%ー"/> キー	%ー	0028-02
		0% 非 #
PLU または 全72ヶ PLU キー	PLU0001	0001-04
		@0 非 #
	11-66	0000
	PLU0002	0002-04
		@0 非 #
	11-66	0000
	PLU0003	0003-04
		@0 非 #
	11-66	0000
	PLU0071	0071-04
		@0 非 #
	11-66	0000
PLU0072	0072-04	
	@0 非 #	
11-66	0000	

消費税非課税のシンボル
奉仕料非対象のシンボル

ポイント ・「すべての商品を内税」を設定するには、手順 3、6、9 の キーの代わりに キーを押します。
 ・「すべての商品を外税」を設定するには、手順 3、6、9 の キーの代わりに キーを押します。

内税扱い／外税扱いと非課税扱いの商品が混在する

例

ご購入時の状態から外税、非課税、内税を下記のように設定する

課税方式 (使用するキー)	設定するキーおよび PLU
外税 (出金)	[3] キー
非課税 (#/替)	[4] キー、[-] キー、PLU65～72
内税 (入金)	残りの部門、PLU、[%-] キー

手順

印字例

- モードスイッチを「設定」に合わせます。
 - 設定1モードにします。
[1] 小計
 - [出金] キーを押します。
[出金]
 - 外税にする部門、[-] キーを押します。また PLU を指定します。
[3]
 - [#/替] キーを押します。
[#/替]
 - 非課税にする部門、[-] キーを押します。また PLU を指定します。
[4] [-]
[6] [5] [PLU] [PLU] [PLU] [PLU] ~ [PLU] [PLU] [PLU] キーを8回押し
ます。
 - [小計] キーを押します。
[小計]
- フラット PLU キーを使って **5**、**6** の代わりに、以下の手順で設定することも可能です。 課税方式のシンボル
- [#/替] キーを押します。
[#/替]
 - 非課税にするフラット PLU キーを押します。
[65] [66] [67] …… [72]
 - [小計] キーを押します。
[小計]

部門03	0003-05
部門04	@0 外 0004-05 @0 非#
[-] キー	- 0027-02 @0 非#
PLU0065	0065-04 @0 非#
11-66 PLU0066	0000 0066-04 @0 非#
11-66 PLU0067	0000 0067-04 @0 非#
11-66 PLU0071	0000 0071-04 @0 非#
11-66 PLU0072	0000 0072-04 @0 非#
11-66	0000



- ・内税 (税1) を設定するには、手順3の [出金] キーの代わりに [入金] キーを押します。
 - ・内税 (税2) を設定するには、手順3の [出金] キーの代わりに [%] または [%-] キーを押します。
 - ・外税 (税2) を設定するには、手順3の [出金] キーの代わりに [%] キーを押します。
- 通常の設定では「税1」のみ使用します。複数税率に対応する場合は、「税1」と「税2」の両方を設定してください。

すべての商品を内税扱いにする

すべての商品を内税扱いとするお店は各キーに「内税」を設定します。

手順

- 設定コードを入力し、[小計] キーを押します。
[1] [1] [3] [0] [0] [小計]
- [0] を入力して、[現/預] キーを押します。
[0] [現/預]



ポイント すべての商品を外税に設定する場合は、「0」を「1」にして入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税率の設定

ご購入時、税率は一律5%に設定されています。

- ▲注意**
- ・本機は2014年4月1日以降、自動で税率が5%から8%に変更されます。
 - ・消費税改訂時は、部門キーやPLUに設定している単価も忘れずに変更してください。(内税設定の場合)
 - ・外税の場合は、部門キーやPLUに設定している単価を変更する必要はありません。

- ▲注意**
- 政府の方針等により、新消費税の税率(8%)や施行日(2014年4月1日)が変更された場合は、変更準じた「税率改定の予約機能」の再設定、または次項に記載の「税率改定の予約機能を無効にする」設定をしてください。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。(通常の設定では「税1」のみ使用します。)

現在の税率を確認する

「キー機能・レジスター機能項目の設定点検」(116ページ)を参照してください。

すぐに税率を変更する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

1 1 2 0 0 小計

2 「税1」の税率(A)を入力して、現/預キーを押します。
(Aを入力せずに現/預キーだけを押し、既存の設定のままです。)

A 現/預

3 「税2」の税率(B)を入力して、現/預キーを押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま小計キーを押してください。)

B 現/預

税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。

▲注意 本機の自動税率変更の実施前に設定を変えると、2014年4月1日の税率変更は正しく実行されません。

手順

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

11100 **小計**

2 改定年月日を入力して、**現/預** キーを押します。
YYには西暦下2桁、MMには月(01～12)、DDには日(01～31)の、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。
(年月日を入力せずに**現/預**キーだけを押しと、既存の設定のままです。)

YYMMDD **現/預**

3 「税1」の税率(A)を入力して、**現/預** キーを押します。
(Aを入力せずに**現/預**キーだけを押しと、既存の設定のままです。)

A **現/預**

4 「税2」の税率(B)を入力して、**現/預** キーを押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま**小計**キーを押してください。)

B **現/預**

▲注意 変更日になっても税率が変更されない場合は、レジスターの電源を一度 OFF にして再度 ON にしてください。

税率改定の予約機能を無効にする

自動で新しい税率に変更しない場合の設定です。

手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **11100** **小計** を押します。

11100 **小計**

3 改定年月日をクリア(**0**)して、**現/預** キーを押します。
(Bを入力せずに**現/預**キーだけを押しと、既存の設定のままです。)

0 **現/預**

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税率 / 税額の端数処理の設定

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率（食料品の税率を小さくするなど）」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。（通常の設定では「税1」のみ使用します。）

「税1」の外税ははじめに **[出金]** キー、内税は **[入金]** キーを押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します。

「税2」の外税ははじめに **[訂正 中止]** キー、内税は **[クレジット / 決定]** キー（または **[賞]** キー）を押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します。

設定の詳細は、「課税方式の設定」（65 ページ）を参照してください。

税額の円未満の端数処理方法を設定する

例題

消費税額の円未満の端数を「切捨て」とする

手順

1 以下の操作をおこないます。

印字例

3 小計	2 2 6 小計	A	B	C	D	現/預	小計
		1	1	1	1		
■内税（税1）の端数処理		円未満 四捨五入	0				
A	円未満 切り捨て	1					
	円未満 切り上げ	2					
■外税（税1）の端数処理		円未満 四捨五入	0				
B	円未満 切り捨て	1					
	円未満 切り上げ	2					
■内税（税2）の端数処理		円未満 四捨五入		0			
C	円未満 切り捨て		1				
	円未満 切り上げ		2				
■外税（税2）の端数処理		円未満 四捨五入			0		
D	円未満 切り捨て			1			
	円未満 切り上げ			2			

現行		
消費税 1	5%	内税 切捨て
消費税 1	5%	外税 切捨て
消費税 2	0%	-----
消費税 2	0%	切捨て
消費税 2	0%	-----
消費税 2	0%	切捨て

 **ポイント** ご購入時は“0000”（全て四捨五入）になっています。

商品名リストを使った設定 (1/2)

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示することができます。あらかじめ、部門キーやPLUなどに個々の商品名等を設定しておくことにより、レシートなどの印字内容をよりわかり易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。必要に応じて設定をしてください。

●商品名やメッセージの設定には、

- ①商品名リスト／メッセージリストの中から番号で選ぶ方法（▶▶70～71、72ページ）と
- ②1文字ずつ手入力して、必要に応じて漢字変換する方法（▶▶73ページ～）の2種類があります。

商品名やメッセージをリストから番号で選ぶ

設定される文字を商品名リスト（70～71ページ）／メッセージリスト（72ページ）の中から選んで設定します。

ポイント 商品名リストにある商品名が設定できるのは部門およびPLUです。また、メッセージリストから設定できるのはレシートメッセージ（ボトムメッセージ）です。リストにない商品名やメッセージを設定される場合や、取引キー、担当者などの名称の設定は後に述べる1文字ずつ手入力して漢字変換する方式で設定してください。
また、電子店名スタンプが届く前にレシートに店舗名や所在地を印字したい場合も同様です。

ポイント 商品名リストやメッセージリストにあるものを一部変更して設定したい場合は、一旦リストを用いて設定した後で、不要の文字を1文字ずつ消去し、必要な文字を1文字ずつ手入力する方法で修正してください。

部門キーやフラットPLUキーの商品名をリストから選んで設定する

例題

部門01（）に『初・再診料』、フラットPLU006（）に『医学管理等』と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

1（「初・再診料」のコードは商品リストから1）

3（「医学管理等」のコードは商品リストから3）

小計（設定終了）

印字例

初・再診料	0001-05
	060-051
医学管理等	0006-04
注射	0071-04
精神科専門	0072-04
手術	0090-04

PLUの商品名をリストから選んで設定する

例題

PLU番号71に「注射」、PLU番号72に「精神科専門」、PLU番号90に「手術」と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

7 1 **PLU**（PLU71を指定します）

#/替（コード指定前に**#/替**キーを押します）

8（「注射」のコードは商品リストから8）

現/預（指定したキャラクタを設定します）

現/預（続いて次のメモリに設定します）

#/替 1 0（「精神科専門」のコードは商品リストから10）

現/預

9 0 **PLU**（PLU90を指定します）

#/替 1 2（「手術」のコードは商品リストから12）

現/預

小計（設定終了）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名リストを使った設定 (2/2)

商品名リスト (その1)

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
医院/ 歯科医院	初・再診料	001	薬局/ 薬店	酔い止め	052	食料品	飲料	103
	入院料等	002		整腸剤	053		お米	104
	医学管理等	003		生薬	054		お惣菜	105
	在宅医療	004		虫さされ	055		おにぎり	106
	検査	005		内服薬	056		加工食品	107
	画像診断	006		皮膚治療薬	057		菓子	108
	投薬	007		鼻炎薬	058		菓子パン	109
	注射	008		婦人薬	059		果物	110
	リハビリテーション	009		目薬	060		香辛料	111
	精神科専門	010		薬剤	061		サンドイッチ	112
	処置	011	アイスクリーム	062	嗜好品		113	
	手術	012	アルコール	063	ジュース類		114	
	麻酔	013	一品料理	064	食パン		115	
	放射線治療	014	ウイスキー	065	食料品		116	
	食事療法	015	お酒	066	寿司		117	
	歯冠修復等	016	お食事	067	スナック菓子		118	
	歯科矯正	017	おつまみ	068	生鮮		119	
	調剤技術料	018	お通し	069	精肉		120	
	薬学管理料	019	お飲み物	070	鮮魚		121	
	薬剤料	020	お持ち帰り	071	その他		122	
	特保医療材料	021	カクテル	072	中華		123	
	選定療養等	022	喫茶	073	調味料		124	
	療養担当手当	023	ケーキ	074	調理パン		125	
	その他	024	コーヒー	075	乳製品		126	
	処方せん	025	サワー	076	パン		127	
	保険給付外	026	ジュース	077	ファーストフード		128	
	保険給付内	027	セット	078	ベーカリー		129	
	自費	028	セットメニュー	079	弁当類		130	
	文書料	029	ソフトクリーム	080	麺類		131	
	証明書	030	ソフトドリンク	081	野菜		132	
	未収金	031	テイクアウト	082	洋菓子		133	
	容器代	032	定食	083	冷凍食品		134	
薬局/ 薬店	アレルギー薬	033	ディナー	084	レトルト食品	135		
	かぜ薬	034	デザート	085	和菓子	136		
	ケア用品	035	トースト	086	アクセサリー	137		
	せき止め	036	トッピング	087	衣料品	138		
	ドリンク剤	037	ドリンク	088	衣類	139		
	歯ブラシ	038	生ビール	089	傘	140		
	ベビー用品	039	日本酒	090	靴	141		
	胃腸薬	040	ノンアルコール	091	子供服	142		
	医薬品	041	発泡酒	092	紳士服	143		
	医療用品	042	ビール	093	装飾品	144		
	衛生用品	043	フード	094	履物	145		
	介護用品	044	ブランデー	095	バッグ	146		
	解熱鎮痛剤	045	モーニング	096	婦人服	147		
	外傷薬	046	洋食セット	097	ベビー服	148		
	外用薬	047	ランチ	098	帽子	149		
	漢方薬	048	ワイン	099	アクセサリー	150		
	関節・筋肉痛	049	和食セット	100	小物	151		
	湿布薬	050	アイス	101	雑貨	152		
小児用薬	051	イスタ外食品	102	生花	153			

商品名リスト (その2)

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
雑貨	箱代	154	その他/ 物販	写真	205	その他	クリーニング	256
	輸入雑貨	155		種苗	206		現像料	257
家電	オプション	156		寝具	207		限定品	258
	家電製品	157		スポーツ用品	208		工事	259
	携帯電話	158		タバコ	209		工賃	260
	サブライ	159		釣り用品	210		サービス料	261
	情報機器	160		デコレーション	211		材料費	262
	消耗品	161		時計	212		修理	263
	設定料	162		塗料	213		受講料	264
	テープ	163		日用品	214		小人	265
	電球・蛍光灯	164		農業用品	215		商品券	266
	電池	165		農薬	216		処分料	267
	電池交換	166		バラエティ	217		進物	268
	配線	167		肥料	218		セール	269
	別売品	168		物品販売	219		設置料	270
メディア	169	部品		220	送料		271	
書籍/ 文具 / AV	CD	170		ペット	221		中古品	272
	DVD	171		ペット用品	222		中人	273
	アルバム	172		防災用品	223		注文品	274
	ゲーム	173		メガネ	224		調整料	275
	コミック	174	木材	225	デジタルプリント	276		
	雑誌	175	輸入家具	226	手数料	277		
	参考書	176	ラッピング代	227	手付金	278		
	事務用品	177	旅行用品	228	電話代	279		
	趣味・娯楽	178	レンタル用品	229	登録料	280		
	書籍	179	カット	230	特注品	281		
	新書	180	カラー	231	塗装	282		
	新聞	181	着付	232	特価品	283		
	専門誌	182	シャンプー	233	取付料	284		
図書カード	183	スキンケア	234	入園料	285			
ビデオ	184	セット	235	入場料	286			
文具	185	トリートメント	236	引取料	287			
文芸	186	トリミング	237	フィルム	288			
文庫	187	パーマ	238	ガイドカード	289			
その他/ 物品販売	DIY用品	188	フェイス	239	容器代	290		
	アウトドア用品	189	ブロー	240	リサイクル費用	291		
	園芸	190	ヘアカラー	241	レンタル料	292		
	園芸用品	191	ベビー	242	割増	293		
	カー用品	192	ボディ	243	焼き増し	294		
	家具	193	メイク	244	前金	295		
	楽器	194	DPE	245	土産品	296		
	家庭用品	195	一式	246	利用料	297		
	金物	196	一般	247	その他	298		
	玩具	197	印刷	248	ご購入時 の設定*	PLU	299	
	キッチン用品	198	延長	249	部門	300		
	ギフト券	199	大人	250				
	キャラクター商品	200	お直し	251				
工具	201	カード	252					
コンタクト	202	技術料	253					
梱包用品	203	キャンセル料	254					
作業用品	204	クーポン	255					

* : PLU や部門の後に番号は付かない

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



メッセージリストを使った設定

ボトムメッセージをリストから選んで設定する

例題

ボトムメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

```
0013-32
      またのご来店を
0014-32
      お待ちしております
```

- 2** 小計 (ボトムメッセージ1行目の種別コードを指定します)
- 1 3 3 2** 小計 (「またのご来店を」のコードはメッセージリストから2)
- #/替 2** (指定したキャラクタを設定します)
- 現/預** (続いて次のメモリに設定します)
- 現/預** (「お待ちしております」のコードはメッセージリストから4)
- #/替 4**
- 現/預**
- 小計** (設定終了)

ポイント 右に、ボトムメッセージの位置とその種別コードを示します。なお、何も設定されていない行は印字も行送りもしません。

```
小計
非課税合計          ¥3,000
合  計              ¥13,794
お預り              ¥15,000
お  釣              ¥1,206
```

```
種別コード：1332 * * * ボトム1行目 * * *
種別コード：1432 * * * ボトム2行目 * * *
種別コード：1532 * * * ボトム3行目 * * *
種別コード：1632 * * * ボトム4行目 * * *
種別コード：1732 * * * ボトム5行目 * * *
種別コード：1832 * * * ボトム6行目 * * *
```

参照 指 指 ボトムメッセージを印字する設定が必要です。▶▶ 91 ページ

ポイント メッセージリストです。この中からお使いになりたいメッセージを選んでください。

メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード
またのお越しを	001	保管して下さい	021	新規会員募集中!	041
またのご来店を	002	開封後の返品・交換は	022	メール会員募集中!	042
またのご利用を	003	お受けできません	023	お早めにお召上がり下さい	043
お待ちしております	004	返品はレシートを添えて	024	各種宴会ご予約承ります	044
お買い上げいただき	005	お持ちください	025	完全予約制	045
ご来店いただき	006	返品・交換はできません	026	着付けご予約承ります	046
毎度ご来店いただき	007	受付時間のご案内	027	記念写真ご予約受付中	047
ありがとうございました	008	営業時間のご案内	028	ケーキ予約受付中	048
毎度ありがとうございます	009	診療時間のご案内	029	ご予約承ります	049
有難うございます	010	今月は休まず営業します	030	配達承ります	050
お買い上げの商品価格には	011	年中無休	031	お問合せはサービスカウンターまで	051
消費税等を含みます	012	ポイントは次回のお買い物に	032	定期点検を忘れずに	052
レシートは税込み価格で	013	ご使用ください	033	お大事にどうぞ	053
表示しております	014	キャンペーン実施中!	034	どうぞお大事に	054
レシートの再発行はできません	015	クリアセール実施中!	035	月初めは保険証を	055
レシートの再発行は	016	決算セール実施中!	036	ご呈示下さい	056
致しかねます	017	ご紹介キャンペーン実施中!	037	お薬は用法用量を	057
レシートは大切に保管ください	018	サービスデー実施中!	038	守ってご使用ください	058
印刷面を内側に折って	019	バーゲンセール実施中!	039	携帯電話からアクセスできます	059
レシートは大切に	020	カード会員募集中!	040	(空白)	060

文字の入力について (1/2)

1文字ずつ入力し、必要に応じて漢字変換する

前節では、リスト中の商品名やメッセージから適切なものを選びその番号を設定する方法を述べました。この節では、1文字ずつ手入力し必要に応じて漢字変換して設定する方法を説明します。

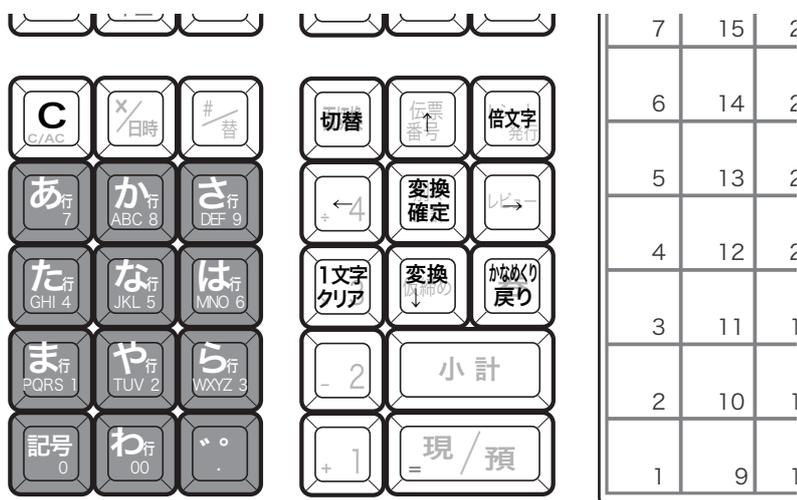
文字の入力方法について

「かなめくり方式」と言う携帯電話に似た文字入力方法です。<切替>キーによって入力される文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを切り替え、置数キーによって五十音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続いて<↑>や<変換>キーを押すことで、単漢字または単語ごとのかな漢字変換をすることができます。

注意： 内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。そのときは、入力したい漢字の読み（音読み・訓読み）を変えて入力し、変換して下さるようお願いいたします。

●文字設定用のキーボード

文字の設定をする時には、キーボードは以下の様な配列になります。



半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あります。

半角文字（普通の登録金額の文字）、

全角文字（漢字、半角文字の倍の横幅）、

倍文字（半角文字や全角文字の横幅を倍に引き延ばしたもの）、

縦倍文字（半角文字や全角文字の高さを倍にした文字、レシートのみ可能）。

倍文字と縦倍文字を組み合わせると4倍文字になります。

なお、圧縮文字はジャーナルのみに印字できる、通常の文字の半分の高さの文字です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名の設定 (1/2)

部門キーへ商品名や分類名を設定する

例題

部門 に『雑貨』、 に『食品 A』、 に『ETC』と設定する

手順

印字例

雑貨	0001-05 060-051
食品 A	0002-05 061-051
ETC	0004-05 063-051

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

(部門 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 01 に設定されていた商品名を消します)

「さ」 <さ>

「ざ」 <` `>

「っ」 <た×た×た×た×た×た>

「か」 <か>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「雑貨」が出るまで繰り返します)

(これで『雑貨』が部門 01 に設定されます)

現/預

現/預

(部門 02 を指定します^{*1})

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 02 に設定されていた商品名を消します)

「し」 <さ×さ>

「よ」 <や×や×や×や×や×や>

「く」 <か×か×か>

「ひ」 <は×は>

「ん」 <わ×わ×わ>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「食品」が出るまで繰り返します)

<切替×切替×倍文字>

(切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします)

「A」 <か>

(英文字 A を指定します)

(これで『食品 A』が部門 02 に設定されます)

現/預

(部門 04 を指定します^{*2})

C/AC C

<文字列クリア>

(部門 04 に設定されていた商品名を消します)

(全角英字のまま、使います)

「E」 <さ×さ>

「T」 <や>

「C」 <か×か×か>

(これで『ETC』が部門 04 に設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



1. 部門キーへは、半角で最大 20 文字 (全角では 10 文字) が設定できます。

2. ^{*1} 連続した部門の設定を行う場合は、 キーを押すことで次の部門が自動的に指定されます。また、このタイミングで

キーの代わりに キーを押すと設定を終了できます。

3. ^{*2} 連続していない部門の設定を行う場合は、設定したい部門キーを直接押して指定します。また、このタイミングで キーの代わりに キーを押すと設定を終了できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名の設定 (2 / 2)

入力途中で文字を訂正する

例題

部門 に『乾物』を設定する途中でまちがった文字を訂正する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2

(部門 03 を指定します)

<文字列クリア>

(部門 03 に設定されていた商品名を消します)

「か」 <か>

「ん」 <わ×わ×わ>

「も」 <ま×ま×ま×ま>

「の」 <な×な×な×な>

<1文字クリア>

(直前の「の」を消します)

<1文字クリア>

(「も」を消します)

「ふ」 <は×は>

(正しい文字を入れ直します)

「ぶ」 <。>

「つ」 <た×た>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「乾物」が出るまで繰り返します)

(これで「乾物」が部門 03 に設定されます)

(設定終了)

PLUへ商品名を設定する

例題

PLU番号71に半角で『カー-Yシャツ』、PLU番号72に『ジーンズ』、PLU番号90に『サービス品』と設定する

手順

印字例

カー-Yシャツ	0071-04
ジーンズ	0072-04
サービス品	0090-04

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計
7 1 PLU
C/AC C

<文字列クリア>

<切替>

「カ」 <か>

「ラ」 <ら>

「-」 <記号><記号><記号>

<切替>

「Y」 <ら><ら><ら>

<切替><切替><切替>

「シ」 <さ><さ>

「ヤ」 <や><や><や><や>

「ツ」 <た><た><た>

(PLU71を指定します)

(PLU71に設定されていた商品名を消します)

(半角カタカナに切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角カタカナに切り替えます)

現/預

現/預

C/AC C

<文字列クリア>

<倍文字>

「シ」 <さ><さ>

「ジ」 <ゝゝ>

「-」 <記号><記号><記号>

「ン」 <わ><わ><わ>

「ス」 <さ><さ><さ>

「ズ」 <ゝゝ>

(これで『カー-Yシャツ』がPLU71に設定されます)

(PLU72を指定します※¹)

(PLU72に設定されていた商品名を消します)

(全角カタカナに切り替えます)

現/預

9 0 PLU

C/AC C

<文字列クリア>

「サ」 <さ>

「-」 <記号><記号><記号>

「ヒ」 <は><は>

「ビ」 <ゝゝ>

「ス」 <さ><さ><さ>

<変換確定><切替><切替><切替> (「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)

「ひ」 <は><は>

「ん」 <わ><わ><わ>

<↓変換><変換確定>

(これで『ジーンズ』がPLU72に設定されます)

(PLU90を指定します※²)

(PLU90に設定されていた商品名を消します)

(「品」が出るまで繰り返します)

(これで『サービス品』がPLU90に設定されます)

(設定終了)

現/預

小計



1. PLUへは、半角で最大20文字(全角では10文字)が設定できます。

2. スキャニングPLU(36ページ参照)はPLU番号でも指定できますが、スキャナで指定することも可能です。

3. ※¹連続したPLUの設定を行う場合は、**現/預**キーを押すことで次のPLUが自動的に指定されます。また、このタイミングで**現/預**キーの代わりに**小計**キーを押すと設定を終了できます。

4. ※²連続していないPLUの設定を行う場合は、設定したいPLU番号に続けて**PLU**キーを押して指定します。また、このタイミングでPLU番号+**PLU**キーの代わりに**小計**キーを押すと設定を終了できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

取引キー・レジ担当者名の設定

取引キーの名前を変更する

例題

券 キーのレシートやレポート上の印字を『商品券』にする

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

券

(券売キーを指定します)

C/AC C

<文字列クリア> (すでに設定されている文字を消します)

「し」 <さ><さ>

「よ」 <や><や><や><や><や><や>

「う」 <あ><あ><あ>

「ひ」 <は><は>

「ん」 <わ><わ><わ>

<↓変換> (<↓変換>は「商品」が出るまで繰り返します)

「け」 <か><か><か><か><か> (「商品」が確定します)

「ん」 <わ><わ><わ>

<↓変換><変換確定> (<↓変換>は「券」が出るまで繰り返します)

(これで『商品券』が券売キーに設定されます)

現/預

(設定終了)

小計



取引キーへは、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) が設定できます。

名前の変更ができるのは、[#]、[替]、[%+]、[%-]、[-]、[入金]、[出金]、[ID]、[残高]、[貸]、[券]、[現/預] の各キーです。

レジ担当者名を設定する

例題

担当者 01 の担当者名を『鈴木』にする

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

0107 小計

(担当者 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア> (担当者 01 に設定されていた担当者名を消します)

「す」 <さ><さ><さ>

<→>

(同じ行なのでカーソルを右に動かします)

「す」 <さ><さ><さ>

「ず」 <。>

「き」 <か><か>

<↓変換><変換確定> (<↓変換>は「鈴木」が出るまで繰り返します)

(これで『鈴木』が担当者 01 に設定されます)

現/預

(設定終了)

小計



1. 担当者名は、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) が設定できます。

2. お買い上げ時の担当者名と操作コードは、106 ページをご覧ください。

商品グループ名の設定

グループレポート上の商品グループの名前を設定する

例題

グループ番号 01 に『化粧品』を、グループ番号 04 に『ヘアケア用品』を設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

化粧品	0001-06
ヘアケア用品	0004-06
食品	0005-06

2 小計
0106 小計

(グループ番号 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア> (グループ番号 01 に設定されていたグループ名を消します)

「け」 <か×か×か×か×>
 「し」 <さ×さ×>
 「よ」 <や×や×や×や×や×や×>
 「う」 <あ×あ×あ×>
 「ひ」 <は×は×>
 「ん」 <わ×わ×わ×>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「化粧」が出るまで繰り返します)

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「品」が出るまで繰り返します)

(これで『化粧品』がグループ番号 01 に設定されます)

現/預

0406 小計
C/AC C

(グループ番号 04 を指定します)

<文字列クリア> (グループ番号 04 に設定されていたグループ名を消します)

<切替> (半角カタカナに切り替えます)

<倍文字> (全角カタカナに切り替えます)

「へ」 <は×は×は×は×>
 「ア」 <あ×>
 「ケ」 <か×か×か×か×>
 「ア」 <あ×>

<切替×切替×切替> (全角ひらがなに切り替えます)

「よ」 <や×や×や×>
 「う」 <あ×あ×あ×>
 「ひ」 <は×は×>
 「ん」 <わ×わ×わ×>

<↓変換×変換確定> (<↓変換>は「用品」が出るまで繰り返します)

(これで『ヘアケア用品』がグループ番号 04 に設定されます)

現/預

小計

(設定終了)



グループ名は、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) のキャラクタが設定できます。

グループ番号 “01”、“02”、“03” の番号の後に “06” を付けた数値が、グループ名キャラクタの設定コードとなります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートメッセージの設定 (1/2)

レシートメッセージを設定する

レシートには以下の3種類のメッセージを印字することができます。

- 1.店名ロゴ代わりに印字する「ロゴメッセージ」 最大6行
- 2.店名ロゴの下部に印字する「コマーシャルメッセージ」 最大6行
- 3.レシートの最後に印字する「ボトムメッセージ」 最大6行

各メッセージは1行あたり半角で最大32文字(全角で16文字)が設定できます。

メッセージの設定コードは、ロゴメッセージは(0132~0632)、コマーシャルメッセージは(0732~1232)、ボトムメッセージは(1332~1832)です。

例題

ロゴメッセージに右記の内容を、また、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』のメッセージを設定する

毎度ありがとうございます
カシオ商店

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

0 1 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア>

「ま」 <ま>
「い」 <あ×あ>
「と」 <た×た×た×た×た>
「ど」 <“。”>
<↓変換>

「あ」 <あ>
「り」 <ら×ら>
「か」 <か>
「が」 <“。”>
「と」 <た×た×た×た×た>
「う」 <あ×あ×あ>
「こ」 <か×か×か×か×か>
「ご」 <“。”>
「さ」 <さ>
「ざ」 <“。”>
「い」 <あ×あ>
「ま」 <ま>
「す」 <さ×さ×さ>

現/預 現/預

C/AC C

<文字列クリア>

<切替××倍文字××倍文字>
<→×→>

「カ」 <か>
「シ」 <さ×さ>
「オ」 <あ×あ×あ×あ×あ>

印字例

0001-32
毎度ありがとうございます
0002-32
:

(ロゴメッセージ1行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

(<↓変換>は「毎度」が出るまで繰り返します)

(「毎度」が確定します)

(1行目を確定し、続いてロゴメッセージ2行目を指定します*¹)

(設定されていたメッセージを消します)

(全角倍角カタカナに切り替えます)

(文字を行の中心へ寄せるため入力開始位置を半角2文字分右へ移動します)

<切替><切替><切替><倍文字> (全角倍角ひらがなに切り替えます)
 「し」 <さ><さ>
 「よ」 <や><や><や><や><や><や>
 「う」 <あ><あ><あ>
 「て」 <た><た><た><た>
 「ん」 <わ><わ><わ>
 <↓変換><変換確定> (<↓変換>は「商店」が出るまで繰り返します)
 (これで『カシオ商店』がロゴ2行目に設定されます)

現/預

0 7 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア> (コマースルメッセージ1行目を指定します)
 <倍文字> (設定されていたメッセージを消します)
 「あ」 <あ> (全角ひらがなに切り替えます)
 「さ」 <さ>
 「い」 <あ><あ>
 「ち」 <た><た>
 「を」 <わ><わ>
 <↓変換> (<↓変換>は「朝市」が出るまで繰り返します)
 「か」 <か> («朝市を」が確定します)
 「い」 <あ><あ>
 「さ」 <さ>
 「い」 <あ><あ>
 「し」 <さ><さ>
 「ま」 <ま>
 「す」 <さ><さ><さ>
 <↓変換><変換確定> (<↓変換>は「開催」が出るまで繰り返します)

現/預

小計

(これで『朝市を開催します』がコマースル1行目に設定されます)
 (設定終了)



ポイント

1. ロゴ、コマースル、ボトム各メッセージはそれぞれ、印字/非印字の設定ができます。
2. 電子店名スタンプを装着すると、ロゴメッセージに設定された内容は印字されません。
3. *¹連続したメッセージ行の設定を行う場合は、**現/預** キーを押すことで次のメッセージ行が自動的に指定されます。また、このタイミングで **現/預** キーの代わりに **小計** キーを押すと設定を終了できます。



参照

レシートメッセージの印字/非印字の設定 ▶▶91 ページ

レシートメッセージの設定 (2/2)

レシートに住所や電話番号を設定する

電子店名スタンプには、レシートに印字する住所や電話番号が入ります。しかし、電子店名スタンプの納入前や、住所変更に依る電子店名スタンプの作り直しで電子店名スタンプを装着できない場合、レジスターにこの内容を設定します。

レシート用住所・電話番号として印字する行 最大3行

メッセージは1行あたり半角で最大32文字（全角では16文字）が設定できます
メッセージの設定コードは、3432～3632です。

例題

電話番号を『電話：03-1212-3434』に、住所を『東京都渋谷区本町』に変更する

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

0034-32
電話：03-1212-3434
0035-32
東京都渋谷区本町

2 小計

3 4 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア>

「て」 <た×た×た×た>

「で」 <“。>

「ん」 <わ×わ×わ>

<→>

「わ」 <わ>

<↓変換×変換確定>

<切替×切替×倍文字>

「:」 <0×0×0×0>

<切替>

「0」 <0>

「3」 <3>

<切替×切替×切替>

「-」 <0×0×0>

<切替>

「1」 <1>

「2」 <2>

「1」 <1>

「2」 <2>

<切替×切替×切替>

「-」 <0×0×0>

<切替>

「3」 <3>

「4」 <4>

「3」 <3>

「4」 <4>

(レシート用住所・電話番号1行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

(<↓変換>は「電話」が出るまで繰り返します)
(全角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

現/預 現/預

(1行目を確定し、続いてレシート用住所・
電話番号を2行目を指定します^{*1)})

- C** <文字列クリア> (設定されていたメッセージを消します)
- <切替> (全角ひらがなに切り替えます)
- 「と」 <た×た×た×た×た>
- 「う」 <あ×あ×あ>
- 「き」 <か×か>
- 「よ」 <や×や×や×や×や×や>
- 「う」 <あ×あ×あ>
- 「と」 <た×た×た×た×た>
- <↓変換×変換確定> (<↓変換>は「東京都」が出るまで繰り返します)
- 「し」 <さ×さ>
- 「ふ」 <は×は×は>
- 「ぶ」 <` ` >
- 「や」 <や>
- 「く」 <か×か×か>
- <↓変換×変換確定> (<↓変換>は「渋谷区」が出るまで繰り返します)
- 「ほ」 <は×は×は×は×は>
- 「ん」 <わ×わ×わ>
- 「ま」 <ま>
- 「ち」 <た×た>
- <↓変換×変換確定> (<↓変換>は「本町」が出るまで繰り返します)
- 現/預** (これで『東京都渋谷区本町』が2行目に設定されます)
- 小計** (設定終了)



ポイント

- 電子店名スタンプを装着すると、電子店名スタンプの中のレシート用住所・電話番号、領収書用住所・電話番号、領収書用会社名を使用します。(この節で設定した内容は無視されます)
- *¹連続したメッセージ行の設定を行う場合は、**現/預** キーを押すことで次のメッセージ行が自動的に指定されます。また、このタイミングで **現/預** キーの代わりに **小計** キーを押すと設定を終了できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

合計項目名やタイトル名の設定

固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する

日計明細や期間集計のレポート上に印字される総売上や純売上などの名称を変更できます。(最大半角12文字) また、レポート頭のタイトル名を変更することができます。(最大半角16文字)

例題

「総売」を『総売上』にする

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

0101 小計

C/AC C

<文字列クリア>

<文字入力>

現/預

小計

(下記設定コード)

(すでに設定されている文字を消します)

(部門などの設定を参照してください)

(設定終了)

総売上

0001-01

固定合計器項目名の設定コードとその内容：

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定	合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
総売上	0101	総売上	電卓操作回数	3701	電卓
純売上	0201	純売上	印紙付き領収書	3801	領収書 印紙
現金在高	0301	現金在高	印紙無し領収書	3901	領収書
貸売在高	0401	貸在高	内税対象額	4101	内税対象計
商品券在高	0501	商品券在高	内税額	4201	内税
信用売在高	0601	クレジット在高	外税対象額	4401	外税対象額
戻モード	2701	戻モード	外税額	4501	外税額
万円券枚数	3401	万円	消費税合計	5301	消費税合計
5 / 10 円丸め	3501	サービス	非課税合計	5401	非課税合計
取引中止	3601	取引中止	奉仕料	5501	奉仕料

レポートタイトルの設定コードとその内容：

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定	レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
固定合計器レポート	0124	固定合計器	担当者レポート	0624	担当者
取引レポート	0224	取引	時間帯レポート	0824	時間帯
PLU レポート	0324	PLU	月間売上レポート	0924	月間日別
部門レポート	0424	部門	在売点検レポート	1624	在売点検
グループレポート	0524	グループ	アイテム個別	2424	個別点検

取引シンボルの設定

取引シンボル（固定キャラクタ）を設定する

円マークやレシート上の合計・釣り銭などの文字を変更できます。（文字数はシンボルにより異なります）

例題

- ① レポート上の個数シンボルを「個」から「件」にする。
- ② 乗算シンボルの「点」を「L」にする。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

¥@個 / * 0001-23
L 使用中 0003-23

2 小計

0 1 2 3 小計

< → > （5回押す）

（「個」シンボルのメモリ番号+23）

（変更する「個」を反転表示します）

「け」 < か >> か >> か >> か >>

「ん」 < わ >> わ >>

< ↓変換 >

（「件」が出るまで繰り返します）

< 変換確定 >

現/預

0 3 2 3 小計

< 1文字クリア >

（「点」シンボルのメモリ番号+23）

（「点」を消します）

< 切替 >> 切替 >> 倍文字 > （切替キーで半角英字、倍文字キーで全角英字にします）

「L」 < な >> な >> な >>

現/預

小計

（設定終了）

取引シンボルの設定コードとその内容：

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定	シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
円、単価、件数、個数（2ずつ）	0123	¥ @ 件 / **	電卓、練習モード（4ずつ）	0923	電卓練習 MGR
レポート上の点数、客数、枚数（2ずつ）	0223	点名枚 **	預かり時合計印字（8）	1023	合 計
乗算（2）	0323	点 使用中	現金預かり印字（8）	1123	お預り
税シンボル1、2（2ずつ）	0423	外 外	釣り銭印字（8）	1223	お 釣
非奉仕対象、非課税（2ずつ）	0523	# 非*	後レシート合計印字（8）	1323	合計
登録、戻、レジマックスモード（4ずつ）	0723	戻 REG-	小計印字（8）	1823	小計
設定、点検、精算モード（4ずつ）	0823	P 点検精算	AM、PM印字（3ずつ）	1923	AM PM

（ ）は半角文字で設定できる文字数を示す。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (1 / 12)

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。必要に応じて設定をしてください。

レジ番号を設定する

お店に2台以上のレジスタがある場合や店舗の区別を付けたい場合にレジ番号を設定します。

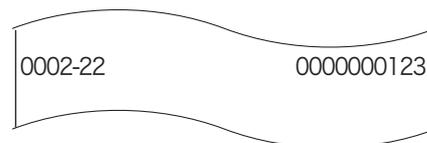
例題

レジ番号“123”を設定する

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。



ご購入時は一連番号等の設定は“0000”になっています。(この場合、レジ番号は印字されません)
レジ番号の印字例▶▶18ページ

一連番号について設定する

レシート等に印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める(日計明細の精算後にリセットする)か、連続番号にする(日計明細の精算後にリセットしない)のかを設定します。

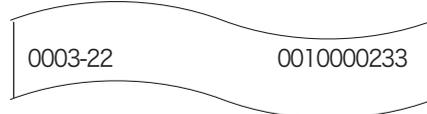
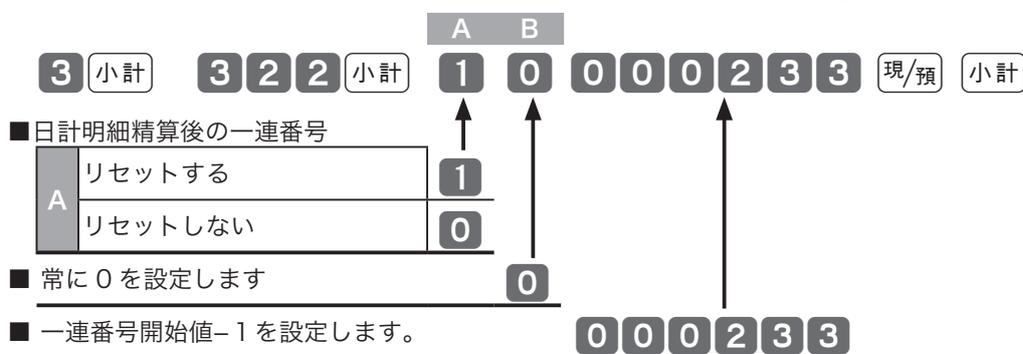
例題

「一連番号」を毎日“000234”から始める

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。



ご購入時は一連番号等の設定は“00000000”になっています。毎日1から始める場合は“10000000”を設定します。

注意 一連番号の開始値-1を設定します。



レシートやジャーナルの印字内容を設定する

レシートやジャーナルには下記の項目を印字したり、印字しなかったりすることができます。

例題

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」に、点検・精算時の売上構成比を「印字する」に、消費税を「国税分と地方税分に再計算する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

印字例

0005-22 0000051000



■ 常に 0 を設定します

■ 課税対象額、税率の印字/非印字

B	課税対象額	税率	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ ジャーナルへの明細印字 (ジャーナルスキップ)

C	印字する	0
	印字しない (ジャーナルスキップする)	1

■ 常に 00 を設定します

■ 売上げ構成比の印字/非印字、日計精算書の出力枚数、税の再計算

E	X/Zで部門、PLUの売上げ構成比を	日計明細精算での出力枚数	X/Zで消費税を国と地方に再計算	
				再計算する
印字する	1枚		再計算しない	1
			再計算する	7
	2枚 (ダブルレポート)	再計算する	3	
		再計算しない	4	
印字しない	1枚		再計算する	0
			再計算しない	6
	2枚 (ダブルレポート)	再計算する	2	
		再計算しない		

■ 買い上げ点数、税シンボルの印字/非印字、ジャーナル圧縮印字

F	買い上げ点数	税シンボル	圧縮印字			
			印字する	圧縮印字	通常印字	1
印字しない	印字する	印字しない	圧縮印字	通常印字	3	7
			圧縮印字	通常印字	0	4
印字しない	印字しない	印字しない	圧縮印字	通常印字	2	6
			圧縮印字	通常印字		

■ 常に 00 を設定します

■ 後レシートの頭に客数を

H	印字する	0
	印字しない	2

ポイント ご購入時の印字制御の設定は“000000002”になっています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (2 / 12)

強制操作や演算方法を設定する

操作ミスを防ぎ、確認をうながすために、「強制操作」の設定ができます。また、件数や個数、金額などの入力や集計方法も変更できます。

例題

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」に、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

0006-22 0410001000

		A	B	C	D	E	F	G	H	現/預	小計		
		0	4	0	0	0	1	0	0				
■ 客数入力の強制													
A	強制しない	0											
	強制する	1											
■ 締め時の <small>小計</small> キー強制や戻モードの登録など													
B	締め操作時に <small>小計</small> 押し強制	戻モードの登録											
			0										
	強制しない	続けて可能	0										
		1回のみ可能	4										
強制する	続けて可能	1											
	1回のみ可能	5											
■ 常に00を設定します		00											
■ キーバッファクリア、登録確認音													
D	レシート発行時のキーバッファクリア	キー操作時の確認音 有/無											
			1										
	クリアする	確認音あり	1										
		確認音なし	3										
クリアしない	確認音あり	0											
	確認音なし	2											
■ <small>券</small> 、 <small>クレジット/現金</small> などの締めで、ドローアを開ける/開けない													
E	開ける										0		
	開けない (スリットドローア)										4		
■ 戻しモードでの件数は加算/減算													
F	加算する (戻しモード)										0		
	減算する (レジマイナスモード)										1		
■ 常に00を設定します		00											
■ 担当者を使用する/使用しない													
H	担当者を使用する										2		
	担当者を使用しない										0		

ポイント ご購入時の強制操作・演算の設定は“000000000”になっています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

明細レポートの内容を設定する その1

点検または精算で打ち出される明細レポート（固定合計器部分）の印字項目個々を印字するか、印字しないかを決めます。

例題

値引き合計と戻しキー合計を「印字する」に、丸め合計も「印字する」に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

0008-22

0621000140

3 小計 8 2 2 小計 0 6 2 1 0 0 0 1 4 0 現/預 小計

■ 常に06210を設定します

■ 純客数、客単価の印字/非印字

B	純客数	客単価	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ 他国通貨在高、値引き合計、戻し合計の印字/非印字

C	他国通貨在高	値引き合計	〔戻〕合計	
			印字する	印字する
	印字しない	4		
	印字しない	印字する	2	
印字しない		6		
印字しない	印字する	印字する	1	
		印字しない	5	
	印字しない	印字する	3	
		印字しない	7	

■ 万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字/非印字

D	万券枚数	丸め合計	取引中止合計	
			印字する	印字する
	印字しない	4		
	印字しない	印字する	2	
印字しない		6		
印字しない	印字する	印字する	1	
		印字しない	5	
	印字しない	印字する	3	
		印字しない	7	

■ 電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字/非印字

E	領収書合計	電卓モード	
	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
印字しない		7	

■ 常に0を設定します

0

ポイント ご購入時の固定合計器の印字制御 1 の設定は“06210 37240”になっています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (3 / 12)

明細レポートの内容を設定する その2

点検または精算で打ち出される明細レポート（固定合計器部分）の印字項目個々を印字するか、印字しないかを決めます。

例題

消費税、および奉仕料を「印字しない」に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

0009-22 7771017700

3 小計 9 2 2 小計 A 7 B 7 C 7 D 1 E 0 F 1 G 7 H 7 0 0 現/預 小計

■ 税1の課税対象額、税額の印字/非印字

A	税1 (内税) の対象額と税額	税1 (外税) の対象額と税額	
	印字する	印字する	2
	印字しない	6	↑
印字しない	印字する	3	↑
	印字しない	7	↑

■ 税2の課税対象額、税額の印字/非印字

B	税2 (内税) の対象額と税額	
	印字する	5
印字しない	7	↑

■ 消費税額合計、税2の課税対象額、税額の印字/非印字

C	消費税額合計	税2 (外税) の対象額と税額	
	印字する	印字する	2
	印字しない	3	↑
印字しない	印字する	6	↑
	印字しない	7	↑

■ 消費税非課税合計の印字/非印字

D	印字する		0
	印字しない		1

■ 常に0を設定します

0

■ 奉仕料合計の印字/非印字、在高申告の金種明細の印字/非印字

F	奉仕料合計を	在高申告の金種明細を	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	↑
印字しない	印字する	1	↑
	印字しない	3	↑

■ 常に770を設定します

7 7 0

■ 月間日別の合計で平均単価の印字/非印字

H	印字する		0
	印字しない		1

 **ポイント** ご購入時の固定合計器の印字制御2の設定は“2730017700”になっています。

レシートの印字内容を設定する

レシートには、下記の項目を印字したり、印字しなかったりすることができます。

例題

レシートのコマーシャルメッセージを「印字する」に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合致します。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

0017-22

000000002

3 小計 1722 小計 A B C D 現/預 小計

■ 日付および一連番号の印字／非印字

A	レシートの日付	ジャーナルの日付	一連番号	
	印字する	印字する	印字する	0
印字しない			4	
印字しない		印字する	2	
		印字しない	6	
印字しない	印字する	印字する	1	
		印字しない	5	
	印字しない	印字する	3	
		印字しない	7	

■ 時刻の印字／非印字

B	レシートの時刻	ジャーナルの時刻	
	印字する	印字する	0
印字しない		2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ 常に0を設定します

0

■ ログメッセージ・コマーシャルメッセージ・ボトムメッセージの印字／非印字

C	ロゴメッセージ	コマーシャルメッセージ	ボトムメッセージ	
	設定されたメッセージを印字する	印字する	印字する	7
印字しない			3	
印字しない		印字する	5	
		印字しない	1	
電子店名スタンプの店名ロゴまたは御計算書を印字する	印字する	印字する	6	
		印字しない	2	
	印字しない	印字する	4	
		印字しない	0	

 **ポイント** ご購入時のレシートの印字制御の設定は“0000”になっています。

注意 レシートへの時刻の非印字を“P01”の簡易設定(▶▶63ページ)で行なった場合は、この設定の項目“B”では“5”または“7”を設定してください。
販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (4 / 12)

強制解除キーの機能を設定する

普通の方法ではどうしてもエラーが解除できない場合、強制終了キーを2回押してエラーを解除します。この設定では、強制解除が現金売りとして機能するか／取引中止として機能するか、を選択します。

例題

登録中の強制解除を「現金売り」にする

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。



3 小計 2 5 2 2 小計 **A** **B** 現/預 小計

0 0 0 0 0 0 1 0

■ 登録中の強制終了を

A	「現金での売上げ」とする	0
	「取引中止」とする	4

■ 常に 0000010 を設定します 0 0 0 0 0 1 0

ポイント ご購入時の強制解除機能の設定は“4 0000010”（取引中止）になっています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なせずに販売店におたずねください。

領収書の印字内容を設定する

領収書に印字される内容を設定します。(印紙貼付が必要な合計金額、但し書きの内容、領収書用一連番号の扱いなど)

例題

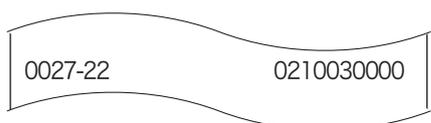
領収書の但し書きへ「お食事代として」を印字し、領収書用一連番号は、日計明細の精算でも“0”にしない

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

印字例



■但し書き部分への印字

A	非印字	0
A	「お品代」を印字	1
A	「お食事代」を印字	2

■日計明細精算後の領収書用一連番号の処理

B	領収書用一連番号	
B	リセット	0
B	ノンリセット	1

■領収書名、レシート一連番号と税額の印字/非印字

C	領収書/領収証	レシート一連番号	税額の印字		
			印字する	印字しない	
C	領収書	印字する	印字する	0	
			印字しない	1	
	印字しない	印字する	2		
		印字しない	3		
C	領収証	印字する	印字する	4	
			印字しない	5	
	印字しない	印字する	6		
		印字しない	7		

■収入印紙の必要額（円単位）を6桁で設定します

030000



収入印紙必要額は、必ず6桁で設定します。
ご購入時の領収書関連の設定は“000030000”が設定されています。



金額を指定した領収書発行 (▶▶ 25 ページ) では、領収書上の税額は設定に依らず印字はしません。
簡易設定 (▶▶ 63 ページ) で領収書の但し書きやタイトルを指定している場合は、この設定の後でもう一度簡易設定を行なってください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (5 / 12)

文字の濃さと背景印字を設定する

ロールペーパーを変更して文字が濃すぎたり薄すぎた場合、この設定で濃さを変更します。また、レシートや領収書の背景印字パターンを設定します。

例題

印字濃度を“やや濃く”に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例

0029-22

0000000100

	A	B	C	D	現/預	小計
3 小計	0	1	0	0		
■ 電子店名スタンプ内のサーマルポップを						
A 印字する	0					
印字しない	1					
■ プrintの印字濃度						
B 普通		0				
やや濃く		1				
濃く		2				
■ レシートの背景印字						
C 印字しない			0			
印字する			1			
■ 領収書の背景印字						
D 印字しない				0		
印字する				1		

 **ポイント** ご購入時の印字濃度は“0000”（普通）に設定されています。

注意

レシートおよび領収書への背景印字の簡易設定 (▶▶ 63 ページ) をしていた場合は、この設定が終わった後でもう一度その簡易設定を行なってください。

通常、電子店名スタンプ(別売オプション)の中にサーマルポップが入っていればレシート上に印字されます。項目Aの設定は、レシートロゴは電子店名スタンプを使いながらサーマルポップの印字だけを止めたいときに使用します。



本体表示のバックライトを設定する

本体表示のバックライトを使用するか否か、使用する場合バックライトの点灯時間を設定します。

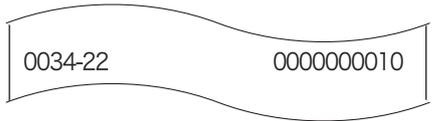
例題

バックライトを使用し、10分間点灯すると設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

印字例



		A	B	C		
3	小計	0	0	10	現/預	小計
3	4	↑	↑	↑		
2	2					
	小計					

- 本体表示のバックライトを

A	使用する	0
	使用しない	2
- 常に 0 を入力します

B	0
---	---
- C バックライトの点灯時間（分単位）

C	00
	~ 59

ポイント ご購入時のバックライトの設定は“0020”に設定されています。点灯時間を“00”と設定すると、バックライトは消灯しません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (6 / 12)

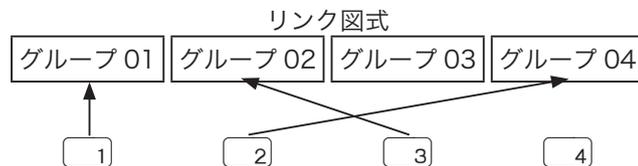
部門キーにリンクグループを設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定することにより、「グループ別集計」を求めることができます。(この指定を「グループリンク」と言います)

例題

部門キーを以下のようなグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
1	グループ01	0100
2	グループ04	0400
3	グループ02	0200



手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3でリンクグループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1 1 6 6 小計

- 3 グループ番号を入力し、該当キーを押します。

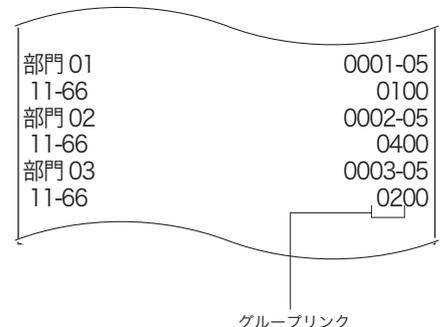
0 1 0 0 1

0 4 0 0 2

0 2 0 0 3

- 4 小計 キーを押します。

小計



ポイント グループ番号は01～20まで設定することができます。
ご購入時は、すべての部門キーはどのグループにも集計されません。

部門/フラット PLU キーに単品現金売りを設定する

部門キーやフラット PLU キーを押すだけでレシートを発行(取引終了)したいときは「単品現金売り」を部門/フラット PLU キーに設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

例題

部門キー 2 に単品現金売りを設定する

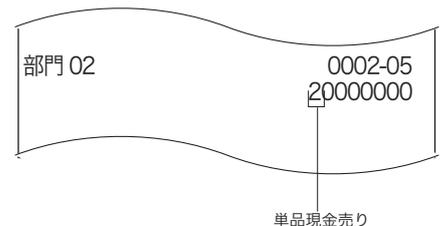
手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

3 小計 1 8 6 6 小計 2 2 小計

■ 単品現金売り	
通常の部門/フラット PLU	0
単品現金売りにする	2



ポイント ご購入時は、全てのキーが“0”(通常のキー)になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

部門/フラット PLU キーに入力できる桁数を設定する

単価入力ミスを軽減するために、部門やフラット PLU キーに登録できる商品単価の最高桁数を設定します。

例題

部門キー に3桁 (¥1 から ¥999) までの桁制限を設定する

手順

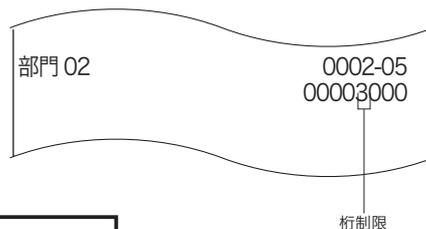
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

小計 小計 小計

■桁制限

入力制限無し	<input type="text" value="0"/> /7	3桁 (¥1 ~ ¥999)	<input type="text" value="3"/>	6桁 (¥1 ~ ¥9999999)	<input type="text" value="6"/>
1桁 (¥1 ~ ¥9)	<input type="text" value="1"/>	4桁 (¥1 ~ ¥9999)	<input type="text" value="4"/>	プリセット単価のみ	<input type="text" value="8"/> /9
2桁 (¥1 ~ ¥99)	<input type="text" value="2"/>	5桁 (¥1 ~ ¥99999)	<input type="text" value="5"/>		

印字例



 **ポイント** ご購入時は、全てのキーが“0” (入力制限無し) になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

部門/フラット PLU キーにマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負 (マイナス) で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ部門/フラット PLU キーに設定します。

例題

部門キー にハッシュ品目を、部門キー に負単価を設定する

手順

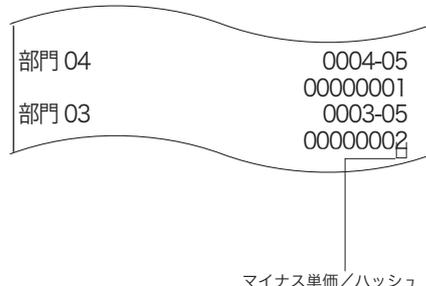
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

小計 小計 小計

■負単価およびハッシュ品目

通常の部門	<input type="text" value="0"/>
負単価にする	<input type="text" value="2"/>
ハッシュ品目にする	<input type="text" value="4"/>
負単価でハッシュ品目	<input type="text" value="6"/>

印字例



 **ポイント** ご購入時は、全てのキーが“0” (通常のキー) になっています。
フラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (7/12)

部門/フラット PLU キーのいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つの部門キーやフラット PLU キーに設定できます。

例題

部門 01 を負単価に、フラット PLU0012 を外税対象にする。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

	A	B	C	D	E	F	G	
3 小計	0	0	0	0	0	00	2	1
	0	0	1	0	0	00	0	12 小計

■ 単品現金売り
通常の部門/フラット PLU = 0、単品現金売り = 2

■ 常に 0 を設定します

■ 消費税の課税方式

C	税 1 内税	0
	税 1 外税	1
	税 2 内税	2
	税 2 外税	3
	非課税対象	5

■ 奉仕料計算対象

D	奉仕料対象とする	0
	奉仕料対象としない	1

■ 入力最大桁制限

E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8、9

■ 常に 00 を設定します

■ 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

 **ポイント** ご購入時はすべての部門/フラット PLU キーに “00000000” が設定されています。

部門 01	0001-05
	00000002
PLU0012	0012-04
	00100000

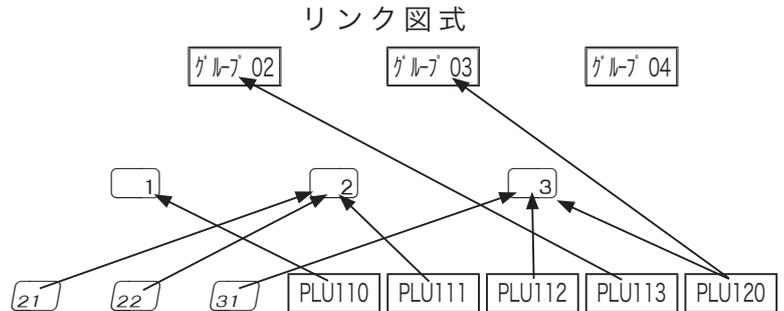
PLU / フラット PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

PLU に集計される金額と数量を、同時に「部門」にも集計したいときに、その部門を指定することを「部門リンク」と言います。なお、部門でなく「グループ」へ直接リンクさせることもできます。

例題

PLU を以下のように部門またはグループにリンクさせる

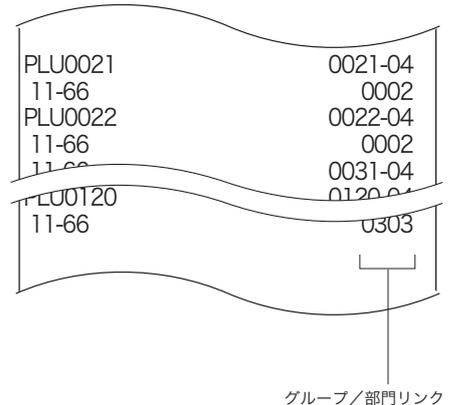
フラット PLU キー / PLU 番号	リンク先	入力コード
{21}、{22}	2 (部門番号 02)	2
{31}	3 (部門番号 03)	3
PLUNo.110	1 (部門番号 01)	1
PLUNo.111	2 (部門番号 02)	2
PLUNo.112	3 (部門番号 03)	3
PLUNo.113	グループ 02	200
PLUNo.120	{3} とグループ 03	303



手順

印字例

- モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 設定 3 でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。
 3 小計 1 1 6 6 小計
- リンク部門グループ番号を入力し、該当キーを押します。
 2 {21} {22}
 3 {31}
 1 1 0 PLU 1 現/預
 2 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
 3 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)
 2 0 0 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要) (グループ指定のときは、グループ番号後に 00 を入力します)
 1 2 0 PLU 3 0 3 現/預
- 小計 キーを押します。
 小計



ポイント リンクできる部門番号は 01 ~ 4 で、グループ番号は 01 ~ 20 です。
 ご購入時は、すべての PLU やフラット PLU はどの部門やグループにもリンクされていません。

注意 PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定した場合は、PLU 登録時に同じ金額、数量が部門とグループの両方に加算されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (8 / 12)

PLU に単品現金売りを設定する

PLU コードを入力して PLU キーを押すだけでレシートを発行 (取引終了) したいときは「単品現金売り」を PLU に設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

例題

PLU 番号 152 と 153 に単品現金売りを設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 1 8 6 6 小計

- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 2 PLU 2 現/預

■単品現金売り	
通常の PLU	0
単品現金売りにする	2

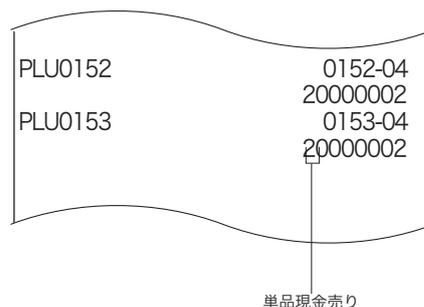
2 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計

 **ポイント** ご購入時は、全てのキーが“0” (通常の PLU) になっています。

印字例



PLU0152 0152-04 20000002
PLU0153 0153-04 20000002

単品現金売り

PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常、設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、《品番 PLU》を設定します。(品番 PLU の解説と操作例 ▶▶ 34、35 ページ)

例題

PLU 番号 150 と 151 に品番 PLU を設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 4 6 6 小計

- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 0 PLU 4 現/預

■設定数値	
PLU 指定	0
品番 PLU 指定	4

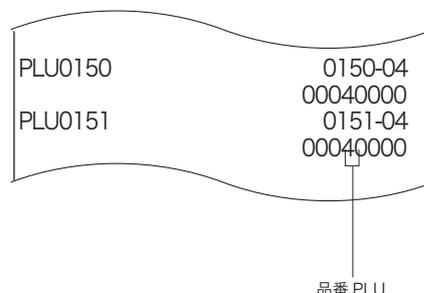
4 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計

 **ポイント** ご購入時は、すべての PLU は品番 PLU でなく PLU 指定になっています。

印字例



PLU0150 0150-04 00040000
PLU0151 0151-04 00040000

品番 PLU

PLU にマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ PLU に設定します。

例題

PLU155 にハッシュ品目を、PLU156 に負単価を設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 **5 6 6** 小計

- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 5 PLU **4** 現/預

■負単価およびハッシュ品目

通常の PLU	0
負単価にする	2
ハッシュ品目にする	4
負単価でハッシュ品目	6

2 現/預 (PLU 番号が続くときは)
(PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計

 **ポイント** ご購入時は、全てのキーが“0”（通常の PLU）になっています。

印字例

PLU0155	0155-04 00000004
PLU0156	0156-04 00000002

マイナス単価/ハッシュ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (9 / 12)

PLU のいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つのPLUに設定できます。

例題

PLU200 を負単価に、PLU201 を外税対象にする。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

	A	B	C	D	E	F	G	
3 小計	0	0	0	0	0	00	2	現/預
2000 PLU	0	0	1	0	0	00	0	現/預 小計
(次のPLUに設定する場合はPLUの入力は不要です)								

■ 単品現金売り
通常の PLU / フラット PLU = 0、単品現金売り = 2

■ 常に 0 を設定します

■ 消費税の課税方式

C	税 1 内税	0
	税 1 外税	1
	税 2 内税	2
	税 2 外税	3
	非課税対象	5

■ 品番 PLU、奉仕料計算対象

D	普通の PLU	奉仕料対象とする	0
		奉仕料対象としない	1
	品番 PLU	奉仕料対象とする	4
		奉仕料対象としない	5

■ 入力最大桁制限 (品番 PLU 設定時のみ有効)

E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8、9

■ 常に 00 を設定します

■ 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

 **ポイント** ご購入時はすべての PLU に “00000000” が設定されています。

PLU0200	0200-04 00000002
PLU0201	0201-04 00100000

締めキー（現金売りや券売りなど）の機能を設定する

現/預 キーや 券 キーなどの「締めキー」の機能を設定します。設定できる機能には「預かり不足を報知する」（47 ページ参照）や釣銭の最大金額や預かり金入力の強制などがあります。

例題

現/預 での預かり入力を「強制する」に、 券 でのお釣りを「エラー」にする

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

	A	B	C	D	E	F	
3 小計	0	0	0	4	00	000	現/預
	0	0	2	0	00	000	券 小計

■ クレジット売りの仕様 (クレジット/現金) キーのみ有効

クレジット/現金 キーとして使用 = 0、

ID キーとして使用 = 1、

信用売り (KT-10 を使用しない) = 2

■ 常に 0 を設定します

■ お釣りのある預かりの可/不可、内税金額の印字/非印字

C	お釣りのある預かり	内税対象額と内税額	
	可能	印字する	0
		印字しない	1
	不可 (エラー)	印字する	2
印字しない		3	

クレジット/現金 キーや ID キーは、この設定はできません。

■ 預かり不足の報知、預かり金入力の可/不可、預かり金入力の強制

D	報知しない	可能	強制しない	0
			強制する	4
		不可	強制しない	2
			強制する	6
	報知する	可能	強制しない	1
			強制する	5
		不可	強制しない	3
			強制する	7

クレジット/現金 キーや ID キーは、この設定は必ず 2 を入れます。

■ 預かり金額または小計金額の制限

E	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

■ 釣り銭金額の制限

F	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

◇ 上記 E、F の「金額の制限」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限 10,000 円 → 数値 “14”

金額制限 7,000 円 → 数値 “73”

金額制限 2,500 円 → 設定できません

金額制限 なし → 数値 “00”

現金	00001-02
	00040000
券	0006-02
	00200000

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

 **ポイント** ご購入時は 現/預、 券 キーに “0 0 0 0 0 0 0 0”、 貸、 クレジット/現金 キーに “0 0 0 2 0 0 0 0”、 ID キーに “1 0 0 2 0 0 0 0” が設定されています。

その他の設定 (10/12)

値引きキーの機能を設定する

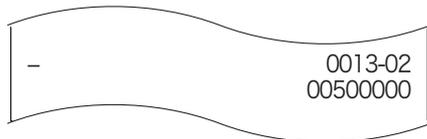
値引きキーに課税ステータスその他を設定します。

例題

値引きキーを非課税扱いにする

手順

印字例



1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

	A	B	C	D	E	F
3 小計	5	0	0	0	0	0
■ 消費税の課税方式						
A	税 1 内税	0				
	税 1 外税	1				
	税 2 内税	2				
	税 2 外税	3				
	非課税指定	5				
■ 奉仕料計算の対象にする						
B	する	0				
	しない	1				
■ 値引き操作で小計が						
C	負になることを許さない		0			
	負になることを許す		1			
■ 常に 0 を設定します						
				0		
■ 入力最大桁制限						
D	制限なし				0	
	指定桁まで				1 ~ 7	
	プリセット単価のみ				8、9	
■ 常に 0 を設定します						
						0



ご購入時は“000000”（内税指定）が設定されています。
上記 A の「課税方式」の設定は、64、65 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

割引キーや割増しキーの機能を設定する

割引キーや割増しキーの持つ機能を設定します（端数処理など）

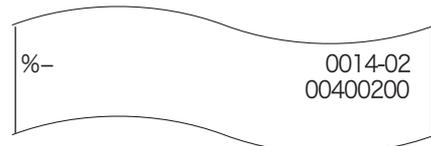
例題

%- の円未満を「切上げ」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

印字例



	A	B	C	D	E
3 小計	4	0	0	2	00 %- 小計
■ 消費税の課税方式					
A	税 1 内税	0			
	税 1 外税	1			
	税 2 内税	2			
	税 2 外税	3			
	オール課税指定	4			
	非課税指定	5			
■ 奉仕料計算の対象にする					
B	する	0			
	しない	1			
■ 新たな%率を置数しての%計算					
C	可能		0		
	禁止		2		
■ %計算の端数処理					
D	円未満四捨五入			0	
	円未満切り捨て			1	
	円未満切り上げ			2	
■ 常に 00 を設定します					
				00	



ポイント
 ご購入時は“00400000”（内税指定、四捨五入）が設定されています。
 上記 A の「課税方式」の設定は、64、65 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

乗算キーの機能（操作順と端数処理）を設定する

乗算登録の場合の操作順序（数量 × 単価 or 単価 × 数量）および円未満の端数処理方法を設定します。

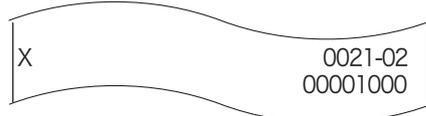
例題

乗算登録の計算順を「単価 × 数量」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

印字例



	A	B	C
3 小計	1	0	000 X/日時 小計
■ 乗算の操作順序			
A	数量 × 単価	0	
	単価 × 数量	1	
■ 乗算の端数処理			
B	円未満四捨五入	0	
	円未満切り捨て	1	
	円未満切り上げ	2	
■ 常に 00 を設定します			
			00



ポイント
 ご購入時の設定は“000000”（乗算の計算順序は「数量 × 単価」、端数処理は「四捨五入」）になっています。



注意
 乗算の計算順を「単価 × 数量」にした場合は、「フラット PLU キーの乗算登録」、「PLU の乗算登録」、「スキャニング PLU の乗算登録」と「時刻・日付の表示」ができません。（33 ページ参照）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (11 / 12)

入金、出金キーの機能を設定する

入金や出金キーには、入力間違いを防ぐための置数入力制限を設定します。

例題

50000 円以上の入金と 10 万円以上の出金を「エラー」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■置数入力金額の制限

A	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

◇上記 A の「金額の制限」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

金額制限 10,000 円 → 数値 “14” 7,000 円 → 数値 “73” なし → 数値 “00”
 金額制限 2,500 円 → 設定できません

ポイント ご購入時は “00” が設定されています。

印字例

入金	0025-02 00000054
出金	0023-02 00000015

担当者番号を設定する

担当者機能をお使いの場合で、お買い上げの状態から変更したい場合に設定します。

例題

担当者 -A の番号を 1111、担当者 -B の番号を 2222 とする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■担当者番号

印字例

担当 -A	0001-07 1111
担当 -B	0002-07 2222

担当者番号

◇担当者ごとの操作コードとご購入時の担当者番号は次のようになります。

担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号
担当 -A	0107	0001	担当 -H	0807	0008	担当 -O	1507	0015
担当 -B	0207	0002	担当 -I	0907	0009	担当 -P	1607	0016
担当 -C	0307	0003	担当 -J	1007	0010	担当 -Q	1707	0017
担当 -D	0407	0004	担当 -K	1107	0011	担当 -R	1807	0018
担当 -E	0507	0005	担当 -L	1207	0012	担当 -S	1907	0019
担当 -F	0607	0006	担当 -M	1307	0013	担当 -T	2007	0020
担当 -G	0707	0007	担当 -N	1407	0014			

奉仕料率を設定する

奉仕料を徴収するお店では、奉仕料率や端数処理などを設定します。

例題

奉仕料率 10% を設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

		A	B	C	D	E								
3	小計	7	2	2	小計	1	0	2	1	0	0	0	現/預	小計
■奉仕料の端数処理		↑		↑		↑		↑		↑				
A	四捨五入	0										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">0007-22</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">0001021000</div>		
	切り捨て	1												
	切り上げ	2												
■常に0を設定します		0												
■奉仕料の計算をする														
C	奉仕料を													
	計算する	2												
	計算しない	0												
■奉仕料率を2桁で設定します						00		~		99				
■常に00を設定します						00								

 **ポイント** 奉仕料率は、必ず2桁で設定します。
ご購入時の設定は“1 0 0 00 00”が設定されています。

注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なせずに販売店におたずねください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

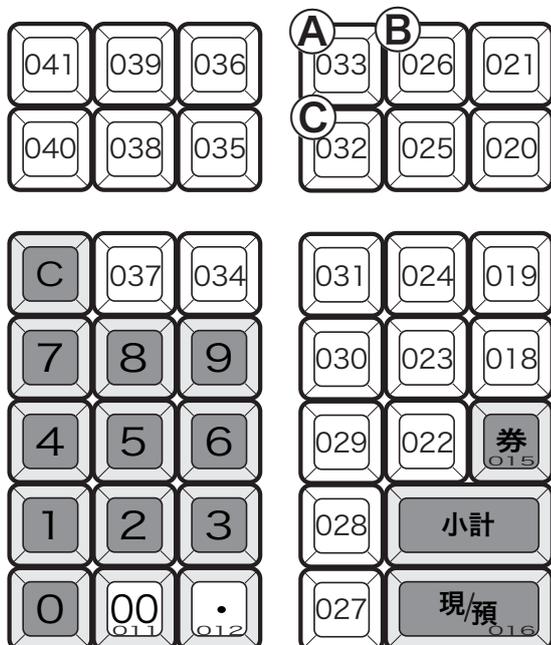
その他の設定 (12/12)

キー配列を変更する

本機は、ご購入時のキー配列を含めて、お店に必要なキーを任意の位置に配列することができます。

キーを配列できる位置とキー番号

キーを設定できる位置は、以下のイラストで、3桁の番号（キー番号）が付いている位置です。



049	057	065	073	081	089	097	105	113
048	056	064	072	080	088	096	104	112
047	055	063	071	079	087	095	103	111
046	054	062	070	078	086	094	102	110
045	053	061	069	077	085	093	101	109
044	052	060	068	076	084	092	100	108
043	051	059	067	075	083	091	099	107
042	050	058	066	074	082	090	098	106

例題

「PLU」キーをキー番号「040」の位置に、「金額」キーをキー番号「041」の位置に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、設定4モードにします。

4 小計

2 ファンクションコード（次ページ表参照）を入力し、該当キーを押します。

4 8 040 4 9 041

3 小計 キーを押します。

小計

注意 キーを設定する場合は、まず日計明細および期間集計1、2の精算を行ないます。
変更の印字は、キー番号の順に印字されます。

注意 ①、②、③キーには次ページ表のファンクションを設定することは可能です。ただし、情報センタで会員管理サービスが提供され、そのサービスをお使いになる場合は、会員管理サービスで使用するファンクションをキーボード上に設定する必要があります。

設定できる主なキー（取引キー）の種類とそのファンクションコード

キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード
現金売り／預かり金	01	レシート発行	38	担当者番号	72
貸し売り	02	不加算印字（＃）	40	小計	75
商品券売り	03	不加算印字（＃）／両替	41	税抜き小計	80
信用売り（クレジット）	04	両替	42	乗算／日時	82
仮締め	06	客数	43	単位乗算／日時	83
キャラクタプリント	11	通貨変換（\$）	45	新規伝票	91
万円	18	領収書発行	47	伝票呼出	92
釣銭準備	19	PLU	48	伝票番号	93
入金	20	金額	49	伝票合算	94
出金	21	部門	51	別々会計	95
回収	22	非課税	57	強制解除	99
値引き（－）	27	テーブル番号	58	割り勘	102
割引き（％－）	28	在高申告	61	オープンチェック	117
値増し（＋）	29	フラット PLU	63	操作ガイド	141
割増し（％＋）	30	面切替	64	接続	200
戻し	33	桁解除（オープン）	67	取引中止	236
直前訂正／取引中止	34	設定解除	68		
指定訂正	35	登録確認	71		



同じ取引命令キーを複数個でも設定することができます。

例：「割引き率」が2種類あり、それぞれの率ごとに金額と件数を集計したい場合は、**[％－]** キーを2個設定します。

主なキーの働き（お買い上げのキーボード上に無いファンクションキー）

貸売	[現預] や [券] キー等と同じ締めキーで、「貸売り（掛売り）」での売上のときに使用します。
キャラクタプリント	入力されたキャラクタを厨房への連絡などのためにレシート上に印字します。
万円	本書 39 ページの使用例をご参照ください。
釣銭準備	あらかじめドロアーに入れておく釣銭用のお金を登録するときに使用します。
回収	ドロアーから回収したお金を登録するときに使用します。
値引き	本書 42 ページの使用例をご参照ください。
割引き	本書 43 ページの使用例をご参照ください。
値増し	「値引き」の逆の機能です。
割増し	「割引き」の逆の機能です。「深夜割増し」などの割増し計算に使用します。
指定訂正	「さかのぼり訂正」の金額と件数を単独に集計したいときに使用します。
#	#（不加算印字）と両替を別々のキーにするときに使用します。
両替	
客数	本書 48 ページの奉仕料登録例をご参照ください。
通貨変換	米ドルで支払いを受け付けるお店で使用します。
PLU	本書 34 ページの使用例をご参照ください。
金額	本書 35 ページの使用例をご参照ください。
非課税	次の登録を非課税登録にします。
テーブル番号	テーブル番号を入力するときに使用します。
桁解除（オープン）	部門キー等に設定してある「桁数制限」を越えて金額を入れたい場合に使用します。
設定解除	取引命令キーに設定してある「強制操作」を解除したい場合に使用します。
登録確認（レビュー）	締め前に登録内容を確認したい場合に使用します。このキーを押すごとに登録内容が順に表示されます。
税抜き小計	伝票の今回の（外税や奉仕料抜きの）小計を確認するときに使用します。
単位乗算／日時	セット単価商品を「バラ売り」したい場合に使用します。
新規伝票	伝票番号キーの2つの機能（新規伝票番号定義と定義済み伝票番号呼出し）を別々のキーにするときに使用します。
伝票呼出し	
伝票合算	2枚の伝票を1つに合算するときに使用します。
割り勘	割り勘計算に使用します。
オープンチェック	終業後にまだ締められていない伝票のレポートを発行するときに使用します。
取引中止	キーの一度押しでそれまでの取引をキャンセルにします。（ [訂正] は [小計] に続けて押して取引中止）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



レジ操作の練習を行なう

トレーニングを始める／トレーニングを終わる

登録操作を練習するために、トレーニングモードにして操作を行ないます。

「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。トレーニング中は合計には演算されません。

トレーニングを始める

手順

印字例

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。

1 1 1 1 1 1 小計

2 モードスイッチを「登録」または「戻」に合わせ、登録操作の練習をします。

トレーニングモードを開始します

トレーニングを終わる

手順

印字例

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。

小計

トレーニングモードを終了します

レジの設定内容を確認する (1/4)

設定内容を確認する

設定されている内容の確認は、設定6モードで以下の種別コードを入れて設定点検します。

区分	種別コード	設定点検内容	区分	種別コード	設定点検内容
A (P01 内容)	102	値引き額、割引率など	C (P03 内容)	302	取引キーのプログラム
	104	PLU単価と課税方法		304	PLUのプログラム
	105	部門単価と課税方法		305	部門のプログラム
B (P02 内容)	204	PLUキャラクタ(文字)		307	担当者のプログラム
	205	部門名		322	全体設定のプログラム
	206	グループ名		326	現行税率のプログラム
	207	担当者名		327	予定税率のプログラム
	232	レシートメッセージ			

注意 設定4の設定内容(キーのファンクションとその位置)を確認するには、設定4モードで小計キーを押します。

値引き金額、割引率等の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 **102** 小計

印字例

P 01.....	P01 内容点検のしるし
券	0003-02 キャラクタ/税# / 7桁#
—	@500 <input type="checkbox"/> 券 キー設定金額
%—	0004-02 @50 非 <input type="checkbox"/> キー設定金額/非課税
通貨変換	0005-02 5% * <input type="checkbox"/> キー設定レート
	0006-02 <input type="checkbox"/> キー設定レート
	132.5401

部門の単価と課税方法の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 **105** 小計

- 3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。

1 現/預 **4** 現/預

印字例

P 01.....	P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0004	範囲指定 (1~4)
女性化粧品	0001-05 キャラクタ/税# / 7桁#
	@100 単価/設定単価/課税方法
部門 02	0002-05 @220
部門 03	0003-05 @0
部門 04	0004-05 @1,100 非

ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する (2/4)

PLUの単価と課税方法の設定の確認

(ワットPLUキーの設定単価と課税方法の設定点検)

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 **104** 小計

- 3 開始PLU番号を入れ **現/預** キーを押し、終了PLU番号を入れ **現/預** キーを押します。

1 現/預 **200** 現/預

印字例

P 01	P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0200	範囲指定 (1 ~ 200)
PLU0001	0001-04
	@218
11-66	0101
PLU0002	0002-04
	@318
11-66	0101
PLU0170	0003-04
	@305
11-66	0101
PLU0171	0171-04
	0101
11-66	0199-04
PLU0199	@800 非
	0101
11-66	0200-04
PLU0200	@2,000 非
	0101
11-66	

ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

PLUに設定された商品名の確認

(ワットPLUキー (PLU) のキャラクタの設定点検)

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 **204** 小計

- 3 開始PLU番号を入れ **現/預** キーを押し、終了PLU番号を入れ **現/預** キーを押します。

65 現/預 **75** 現/預

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
#0065 ~ #0075	範囲指定 (65 ~ 75)
PLU0065	0065-04
カ- Yシャツ	0066-04
Yシャツ	0067-04
カ- Yシャツ	0068-04
PLU0074	0074-04
PLU0075	0075-04

担当者名の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 **207** 小計

- 3 開始担当者メモリ番号を入れ **現/預** キーを押し、終了担当者メモリ番号を入れ **現/預** キーを押します。

現/預 **現/預**

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0020	範囲指定 (最初~最後)
鈴木一郎	0001-07
山本弘子	0002-07
担当-C	0003-07
担当-D	0004-07
原 優	0005-07
担当-F	0006-07
担当-G	0007-07
担当-H	0008-07
担当-I	0009-07
担当-J	0010-07
担当-K	0011-07

部門名の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 **205** 小計
- 3 開始部門番号を入れ **現/預** キーを押し、終了部門番号を入れ **現/預** キーを押します。
1 現/預 **3** 現/預

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0003	範囲指定 (1~3)
女性化粧品	0001-05 部門 1
	027-051 キーの位置
ヘアケア用品	0002-05 部門 2
	028-051 キーの位置
ドリンク剤	0003-05 部門 3
	029-051 キーの位置

レシートメッセージの設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 **232** 小計

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
0001-32	ロゴメッセージ
毎度ありがとうございます	1 行目
0002-32	カシオ商店
0003-32	2 行目
0005-32	3 行目
0006-32	5 行目
0007-32	6 行目
朝市を開催します	コマースメッセージ
0008-32	1 行目
0009-32	2 行目
0016-32	ボトムメッセージ
0017-32	5 行目
0018-32	6 行目

グループ名の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 **206** 小計

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
鮮魚	0001-06 グループ 1
精肉	0002-06 グループ 2
青果	0003-06 グループ 3

取引キープログラムの設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 **302** 小計

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし
券	00000000 券売りキー
出金	00000000 出金キー
強制解除	00000000 強制解除キー
現金	00000000 現金売り/預かり金キー
小計	00000000 小計キー
クレジット	02000000 信用売りキー
入金	00000000 入金キー
操作ガイド	00000000 操作ガイドキー
.	00000000 小数点キー
訂正	00000000 訂正/中止キー
%	00000000 割引キー
-	00000000 値引きキー
領収書	00000000 領収書発行キー
00	00000000 00 キー
x/日時	00000000 乗算/日時キー
非課税	00000000 非課税キー
レシート	00000000 後レシート発行キー
戻	00000000 戻しキー
万円	00000000 万円キー

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する (3/4)

PLU プログラムの設定の確認

(ワット PLU キーの設定点検)

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 4 小計
- 3 開始 PLU 番号を入れ 現/預 キーを押し、終了 PLU 門番号を入れ 現/預 キーを押します。

1 1 現/預 1 0 0 現/預

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし
	#0011 ~ #0100	範囲指定 (11 ~ 100)
清涼飲料水 500ml	0011-04	設定キャラクタ/メモリ番号
	00000000	設定データ
11-66	0000	部分設定データ (1166)
12-66	#0000000000000000	部分設定データ (1266)
13-66	<- 0000-28	部分設定データ (1366)
清涼飲料水 1.5L	0012-04	
	00000000	
清涼飲料水 250ml	0100-04	
	00000000	
11-66	0000	
12-66	#0000000000000000	
13-66	<- 0000-28	

部門プログラムの設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 5 小計
- 3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。

現/預 現/預

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし
	#0001 ~ #0020	範囲指定 (最初~最後)
女性化粧品	0001-05	設定キャラクタ/メモリ番号
	00000000	設定データ
11-66	0000	部分設定データ (1166)
ヘアケア用品	0002-05	
	00000000	
胃腸薬	0008-05	
	00000000	
11-66	0000	

 **ポイント** 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
 終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。



担当者の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 7 小計
- 3 開始担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押し、終了担当者メモリ番号を入れ 現/預 キーを押します。
1 現/預 2 現/預

印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0001 ~ #0002	担当者レンジ
担当-A 0001-07	担当者 01
0001	担当者番号
67 0000000000	担当者プログラム
担当-B 0002-07	
0002	
67 0000000000	

全体設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 2 2 小計

印字例

P03	P03 内容点検のしるし	
0001-22	0000000000	
0002-22	0000000000	レジ番号の設定
0003-22	0010000233	一連番号の設定
0004-22	0000890000	
0005-22	0100051040	印字制御の設定
0006-22	0400001000	強制操作・演算の設定
0007-22	0001021000	奉仕料の設定
0008-22	0721004100	明細レポート印字制御1
0009-22	2736717700	明細レポート印字制御2
0010-22	2000000000	
0011-22	0000000000	
0012-22	0000000000	
0013-22	0000000000	
0014-22	0000000000	
0015-22	0000000000	
0016-22	0000000000	
0017-22	0000010402	レシートの印字制御
0018-22	0000000000	
0019-22	0000000000	
0020-22	0000000000	
0021-22	0000000000	
0022-22	0000010123	
0023-22	0000000000	
0024-22	0000000000	
0025-22	0040000000	強制解除機能の設定
0026-22	0000000000	
0027-22	0210030000	領収書関連の設定
0028-22	0000000000	
0029-22	0000000120	文字の濃さの設定
0030-22	0000000000	
0031-22	0000000120	
0032-22	0000000000	
0033-22	0000000000	
0034-22	0000000000	本体表示の設定
0035-22	0000000000	
0041-22	0000000000	
0042-22	0000000000	



ポイント 全体設定は取扱説明書 86 ~ 95、107 ページに記載されています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する (4 / 4)

現行税率の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 2 6 小計

印字例

P 03			P03 内容点検のしるし

現行			
消費税 1	5%	内税	税 1 内税 税率 / 課税方式 端数処理方法
		四捨五入	
消費税 1	5%	外税	税 1 外税
		四捨五入	
消費税 2	0%	内税	税 2 内税
		四捨五入	
消費税 2	0%	外税	税 2 外税
		四捨五入	

キーの種類とその位置の確認

(キーボードに設定されているキーの種類とその位置の設定点検)

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

4 小計 小計

印字例

P 04		P04 内容点検のしるし

1		
00	0015-02	キータカ/刊# / 7777#
	011-096	キー番号 / ファンクションコード
	0013-02	
	012-098	
現金	0001-02	
	015-003	
小計	0005-02	
	014-075	

予約税率の設定の確認

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 2 7 小計

印字例

P 03			P03 内容点検のしるし

税改正日			
	20YY 年 MM 月 DD 日	00:00	変更日の設定
消費税 1	A%	内税	税 1 内税 税率 / 課税方式 端数処理方法
		四捨五入	
消費税 1	A%	外税	税 1 外税
		四捨五入	
消費税 2	0%	内税	税 2 内税
		四捨五入	
消費税 2	0%	外税	税 2 外税
		四捨五入	

故障かなと思ったら (1 / 3)

エラー音 (ピー音) が鳴ったとき

レジ操作中にエラー音が“ピーツ”と鳴ってもエラーの自動解除機能によってそのまま操作を続けることができます。しかし、何度操作してもエラーを繰り返す場合や、登録操作が込み入り、どのように操作すればよいかわからなくなった場合、その取引を強制的に解除して、新たに登録をし直すことができます。

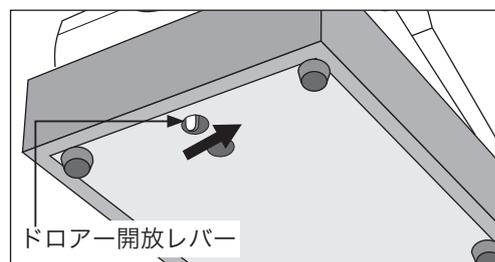
取引を強制的に解除するには、**強制解除** キーを続けて2回押します。

強制解除は通常は、取引中止として処理します。

ポイント ≪強制解除≫を「取引中止」ではなく「現金売り」にしたい場合は、92ページの強制解除機能の設定にて変更してください。この場合は、強制解除した取引が登録モードならば、同じ取引を戻モードに戻す必要があります。

ドロアーが開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面の金具 (ドロアー開放レバー) を矢印の方向に動かすと開きます。



ポイント ドロアーロック錠にて鍵 (ロック) がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行ってください。

操作ガイドで調べてみましょう

キーボード上の **操作ガイド** を押すことによって、レジスターでよく行なう操作の説明を受けることができます。

手順

- 1 操作ガイドキーを押します。
操作ガイド (情報センタからの操作ガイドを見る場合は、**9999** **操作ガイド** キーと操作します)
- 2 発行されたレシートから、説明を受けたい項目を見つけ、その項目番号を入力し、**操作ガイド** キーを押します。
7 **操作ガイド** (説明を受けたい項目のレシートが発行されます。)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

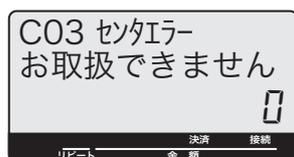
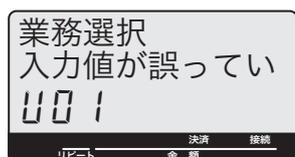
故障かなと思ったら (2/3)

こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください (次の対応をお願いします)	参照ページ
ドロアー (引き出し) が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか、ご確認ください。 「ドロアーが開かなくなったとき」をお読みください。	117
表示が見つからない	電源プラグがしっかりとコンセントに挿してありますか。 コンセントまで電気が来ていますか、別の電気器具でご確認ください。	---
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーにはまだ残りがありますか、ご確認ください。	124、125
	(レシートが発行されない場合に) レシート発行停止になっていませんか。	10
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	124
	ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか、ご確認ください。	122
	巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか、ご確認ください。	122
印字をしない 印字がうすい、ムラがある	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	124、125
	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか、ご確認ください。	122、123
	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください (普通紙は使えません)。	裏表紙

表示窓に E やメッセージが表示されたときには

表示窓の上側に E の文字とエラーコードや、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス (案内表示) が出ることがあります。



左のような、金額表示の部分に U と数字が表示された場合や、一番上の左側に "C"、"G"、"S" の文字が表示されるときは KT-10 の取扱説明書のエラーメッセージ欄をご覧ください。

上記以外のメッセージが出た場合は、下表をご参照の上、対応をお願いいたします。

こんなとき	ここをお確かめください (次の対応をお願いします)	参照ページ
E 誤操作です。	操作ミスです。取扱説明書をお読みいただき、正しい操作をお願いします。	--
新規商品です。 単価を入れて部門キーを押して下さい。	スキャンされた商品がまだレジスターに設定されていません。単価を入力して、商品を分類したい部門キーを押してください。	37
お知らせ着信 確認：〈現/預〉 保留：〈小計〉	情報センタからメッセージが届いています。ご覧になる場合 [現/預] キーを、今はご覧にならない場合 [小計] キーを押してください。(ご覧にならずに一旦保留しても次の機会に再度表示します)	--
ソフトウェア更新 実行：〈現/預〉 中止：〈小計〉	レジスターやマルチ決済端末のソフトを更新します。先に「お知らせ着信」が来ていればそれをお読みのうえ、実行してください。(更新せずに中止した場合は翌日のレジ開設時に再度表示しますので、実行してください)	--
開設・接続して下さい。	レジの開設や (情報センタへの) 接続が行なわれていません。または、データ更新のために再度開設が必要です。レジの開設処理を行なってください。	19
情報センタ接続 パスワードを入力して〈接続〉キーを押して下さい。	情報センタに接続します。(設定していれば接続パスワードを入力して) [接続] キーを押してください。	19
E001 モード 替えエラーです。モード スイッチの位置を登録または戻に合わせて下さい。	登録中にモードを変更しています。伝票番号をお使いの場合は、仮締めのとくとモードが違っています。それぞれ元のモードにしてください。	--
E003 担当者エラーです。正しい担当者で操作して下さい。	仮締めのとくとに指定した担当者と違います。元の担当者を使ってください。	50
E004 初期化エラー	代理店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E008 暗証 No を入力して下さい。	担当者を使う設定になっていますが、担当者を指定していません。担当者を指定してください。	40
E012 ジャーナル用紙がなくなりました。	ジャーナル用紙がなくなりましたので、新しいロール紙に交換してください。	122

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E014 レシート用紙がなくなりました。	レシート用紙がなくなりましたので、新しいロール紙に交換してください。	123
E016 モードスイッチを登録にしてください。	続けて、返品登録を行なうことはできません。一旦モードスイッチを登録にしてください。もう一度戻モードに合わせて、返品登録してください。	28
E017 伝票 No を入力して下さい。	伝票番号を入力してください。伝票番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	50
E018 テーブル No を入力して下さい。	テーブル番号を入力してください。テーブル番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	--
E019 客数を入力して下さい。	客数を入力してください。客数の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	48
E021 PLU にリンク部門が設定されていません。	今指定された PLU にリンク部門が設定されていません。別の PLU や部門で登録していただいた後で、PLU のリンク部門設定を修正してください。	97
E029 一部入金中です。締め操作を行って下さい。	一部入金中ですので、締め操作（支払い操作）以外は受け付けません。	47
E031 <小計> キーを押して下さい。	<small>小計</small> キーを押して、お買い上げ合計額を確認してください。	20
E033 お預かり額を入れて操作して下さい。	お客様からお預かりした金額を入力してから <small>現金</small> キーを押してください。（丁度の金額のお預かりでも、入力が必要です）	20
E035 釣銭制限額を越えています。	お預かり金額を間違えて入力していないか、ご確認ください。釣り銭をお店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	--
E036 ドロー内の現金を回収して下さい。	ドロー内の現金を回収して奥に持っていき、回収額を出金登録してください。	41
E037 桁又は金額制限額を越えています。	入力された金額が間違っていないか、ご確認ください。お店で決めた制限を越えた金額を登録しようとしています。	--
E038 在高申告が必要です。	在高申告してください。在高申告すると次の操作が可能になります。	49
E046 登録バックアップが一杯になりました。	<small>現金</small> キーなどを押して、取引を終わらせてください。たくさんの商品が登録されたので内部メモリが一杯になってしまいました。	--
E049 メモリーオーバーです。	仮締めしている取引を <small>現金</small> キーなどを使って終わらせてください。たくさんの伝票番号が使われていて、内部メモリが一杯になっています。	--
E050 伝票明細数が一杯になりました。	仮締めしている取引を <small>現金</small> キーなどを使って終わらせてください。たくさんの明細登録がおこなわれ、内部メモリが一杯になっています。	--
E051 その伝票は使用中です。	入力された伝票番号が間違っていないか、ご確認ください。すでに使用している伝票番号を新しく使おうとしています。	50
E053 その伝票 No は間違っています。	入力された伝票番号が間違っていないか、ご確認ください。すでに使用している伝票番号の中に、入力された番号はありませんでした。	50
E055 別々会計中です。	別々会計の処理に入っています。別々会計に当たる商品を指定するか、別々会計の支払いを行なってください。	51
E103 スキニングコードが存在しません。	入力されたスキニング PLU コードが間違っていないか、ご確認ください。入力されたコードの商品は設定されていません。	--
E104 設定済商品です。	入力されたスキニング PLU コードが間違っていないか、ご確認ください。入力されたコードの商品はすでに設定されていて、新しく受付できません。	--
E112 ジャーナル側の紙押えを戻して下さい。	ジャーナル紙押えが開いています。きちんと閉めなおしてください。	122
E114 レシート側の紙押えを戻して下さい。	レシート紙押えが開いています。きちんと閉めなおしてください。	123
E115 紙詰まりです。	紙が詰まりました。ロール紙交換の操作を参考にして詰まった紙を取り除き、再度ロール紙のセットをお願いいたします。	124 125
E127 バックアップデータ無し	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。レジスターのデータを復元しようとしたのですが、元のデータが見つかりませんでした。	--
E139 値引金額の誤り、または税種が異なります。	入力された値引き金額をご確認ください。値引きで小計金額が負にならないようにした場合、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	42
E146 アレンジファイルが一杯になりました。	アレンジメントファイルが一杯ですので設定できません。	--
E200 RAC-12/13 が接続されていません。	RAC-12 または RAC-13 が装着されていないので、データバックアップができません。装着されているか、確認してください。	--
E201 バックアップデータ異常	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。レジスターのデータを復元しようとしたのですが、元のデータに異常があります。	--
E202 電子店名スタンプがありません。	電子店名スタンプ（RAC-13）が装着されていないので、スタンプのデータの読み込みができません。装着されているか、確認してください。	126

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら (3 / 3)

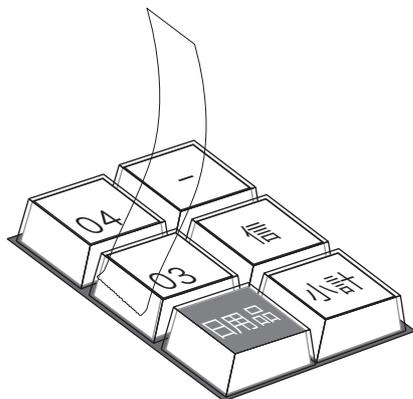
こんなとき	ここをお確かめください (次の対応をお願いします)	参照 ページ
E210 接続情報がありません。	RAC-12 がきちんと装着されているか、お確かめください。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	126
E211 接続できません。	レジスターと周辺機器との接続、電源の確認をして再度接続してください。それでもエラーが発生するときは販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E212 接続できません。電話回線を使いますか?実行:<現/預>中止:<小計>	インターネット接続用のメイン回線が使えません。バックアップ用のモデムに切り替える場合は [現/預] キーを押します。切り替えない場合は [小計] キーを押します。	--
E213 端末認証エラーが発生しました	販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E214 パスワード 不一致	パスワードをご確認の上、もう一度入力してください。開設パスワード入力間違っています。	19
E215 サービスがご利用になれません。	指定されたサービスは有効になっていませんでした。販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E216 通信エラーが発生しました。	センターとの通信でエラーが発生しました。少し時間を空けてから、もう一度お試しください。それでも直らなければ、販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	--
E217 更新は有りません。	リモート IPL の受信操作をしましたが、更新する情報は有りませんでした。そのまま、更新せずにお使いください。	--
E218 開設・接続するまでご利用になれません。	レジが開設されていません。開設操作を行なってください。	19
E219 受信データが削除されました。	センタから送信したい情報があると連絡を受け、受信しようとしたが、既にそのデータは削除されていました。そのままお使いください。	--
E230 決済端末通信エラーが発生しました。	決済端末との通信でエラーが発生しました。決済端末の電源やケーブルをチェックして、もう一度やり直してください。	--

部門キーなどに商品名を記入するには

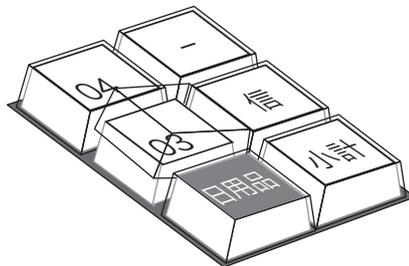
操作手順

◎ 10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意下さい。

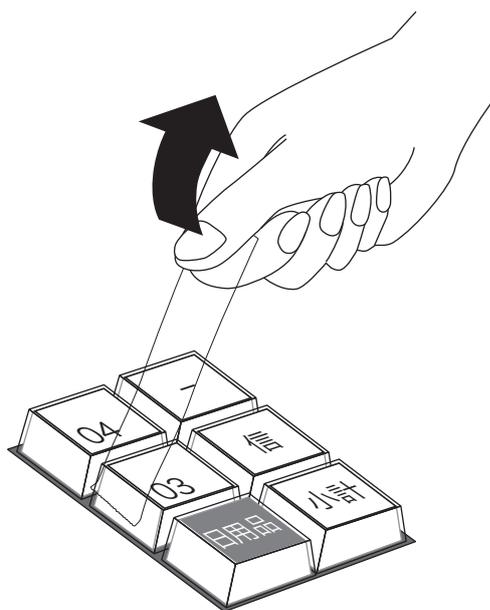
- 1** セロハンテープを5cm位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分にその一端を貼り付けます。



- 3** キーキャップの片側が外れますので、キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。



- 2** 貼り付けたセロハンテープの另一端を親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



- 4** 新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロールペーパーのセットと交換 (1/2)

ロールペーパーをセットする (ジャーナル)

ジャーナル (営業記録) 用紙のセット方法を以下に示します。

手順

- 1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



- 4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 5 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



- 6 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。



- 7 「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2～3回巻き付けます。



- 8 「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」にセットします。



- 9 用紙のたるみが無くなるまで  キーを押します。



- 10 プリンタカバー手前のツメを所定の穴に入れてから、後部を押してカバーを閉じて完了です。



 ロールペーパーをセットする際の注意事項は、123 ページを参照してください。

ロールペーパーをセットする (レシート)

レシート用紙のセット方法を以下に示します。

手順

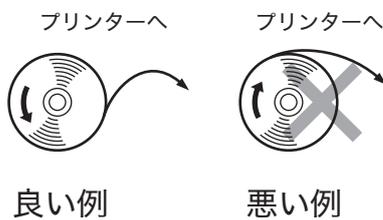
- 1** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 2** 紙押さえのレバーを手前に引き、写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



- 3** ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 4** ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



- 5** ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端が確実にロックされるまで押し込みます。



- 6** プリンタカバーを閉めて、余分な紙を切り取ります。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



注意

- 本機は、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは動作しません。
- ロールペーパーの規格は紙幅 58mm× 外径 80mm の感熱記録紙です。ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。
- ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1 m です。お早めに新しいロールペーパーに交換してください。

ロールペーパーのセットと交換 (2/2)

ロールペーパーを交換する (ジャーナル)

ロールペーパーが少なくなると (約 1 m)、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、ジャーナル (営業記録) のロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3**  キーを押して 20 cm 位、ロールペーパーを空送りします。



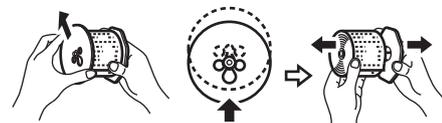
- 4** 印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



- 5** ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、取り外します。



- 6** 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。



ここを矢印の方向に押してホルダーの軸押さえを外します。

- 7** 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



- 8** 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



 上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。セットの手順については、122 ページの「手順 4」以降を参照してください。

ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーが少なくなると（約1m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、レシートのロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 2 紙押さえのレバーを手前に引き、写真で示すように指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



- 3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



参照 上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。
セットの手順については、123ページの「手順3」以降を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電子店名スタンプの読み込み



発注した電子店名スタンプ（RAC-13）が到着したら、それを取り付けてレジスターに読み込ませます。読み込み後は、レシートや領収書上に店名ロゴなどを印刷します。

操作手順

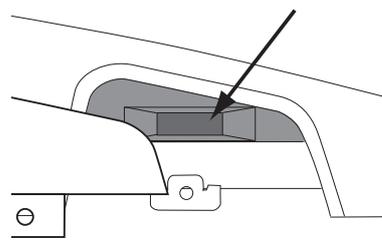
電子店名スタンプが到着しましたら、下記の手順で取り付けて、レジスターに読み込ませてください。

手順

- 1** モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。

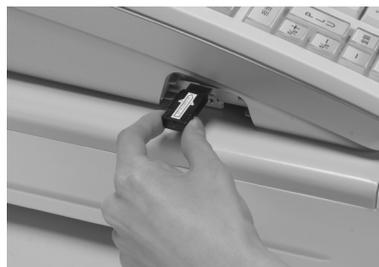


- 2** レジスターの向かって左側面の RAC スロットカバーを開けます。（ネジ留めされていることがあります。その場合はプラスドライバを使用します）

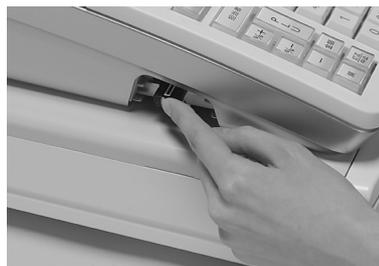


RAC スロットカバー内部
（矢印部に挿し込みます）

- 3** もし、すでにインターネット接続キー（RAC-12）が挿してあれば一旦それを抜きます。（この作業が終了したら、また挿しますので手元に置いてください）



- 4** 「電子店名スタンプ RAC-13」と書かれた面を下にして、スロットに電子店名スタンプを奥までしっかりと挿し込みます。



- 5** オーナーキー（）を使って、設定モードに合わせます。

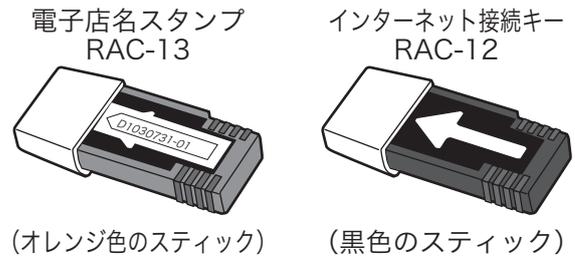
7 小計 **4 1 2 4** 小計 現/預 と操作します。



- 6 モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



● RAC-12 と 13 の見分け方



- 7 挿していた電子店名スタンプを抜きます。手順2で抜いたインターネット接続キーがあれば、電子店名スタンプの代わりに挿します。



- 8 スロットカバーを閉めます。(手順1でカバーがネジ留めされていた場合は、ネジで留めます)



注意 電子店名スタンプ (RAC-13) やインターネット接続キー (RAC-12) の端子部には手や金属で触れないでください。電子店名スタンプの取り付け前にロゴ/コマーシャルメッセージに設定された内容は、電子店名スタンプの内容が上書きされます。

- 参照** ●お買い上げの状態では、電子店名スタンプを挿すとその中のデータをレジスターに自動的に読み込みます。
●ロゴやサーマルポップが印字されないときは、設定内容 (63、91、93 ページ参照) をご確認ください。

ドローアを分離して設置するには

操作手順

お店のレイアウトに合わせて、ドローアとレジスター本体を分離して設置することができます。付属しているドローア延長ケーブルとレジスター固定ゴム足をご用意ください。

(作業用工具としてプラスドライバーが必要になりますので、併せてご用意のほど、お願いいたします)

手順

- 1** ドローアの引き出し部分を写真で示すように引き出しの先端を持ち上げるようにしながら、取り外します。



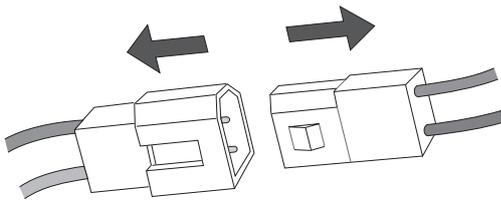
- 2** ドローアの内側上面にある蝶ねじを左に回して取り外します。



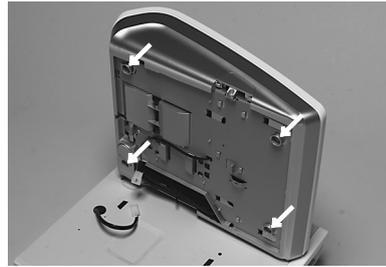
- 3** 本体を矢印の方向にずらし、持ち上げます。



- 4** レジスター本体とドローアをつなぐケーブルをコネクタ部分で抜いて、分離します。

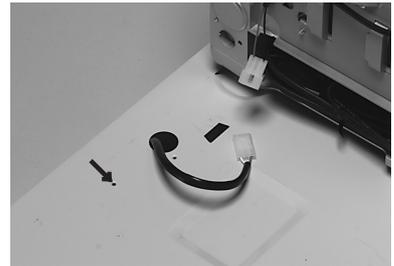
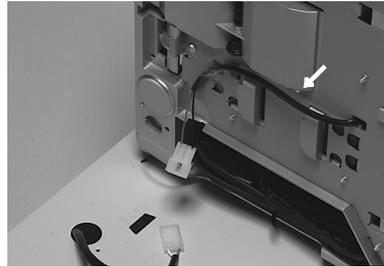


- 5** 矢印の部分に固定ゴム足をはめ込み、レジスター本体とドローアを別々に所定の位置に置きます。



- 6** ドローア延長ケーブルを本体側とドローア側のコネクタに接続します。

- 7** ドローア延長ケーブルから出ている緑のアース線を、矢印の部分のネジを使って、レジスター本体とドローアにしっかりと止めます。



- 8** 外したドローアの引き出し、硬貨入れを元に戻します。

- 必要に応じてドローア上面のレジスターを固定していた穴に、穴塞ぎ用シートを貼付けます。

⚠ 注意 ドローア内部に余った延長ケーブルを入れてはいけません。分離作業によって外した蝶ねじは、再びレジスターとドローアをつなげる場合に必要になりますので、保管をお願いします。

仕様

型式	TK-2600 / NK-2000 (4部門、72 タッチキー) ストロークキー/タッチキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示: キャラクター部 16 文字 × 2 行、数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示: 数値部 8 桁 LED 表示 (収納式回転機構付き)
印字部	2シートサーマルプリンタ方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 レシート・ジャーナル各 32 桁 (半角文字の場合) 記録紙 幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 店名ロゴ印字 縦 21mm × 横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字) 用紙カット レシートはオートカット ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁: 0 ~ 9,999,999,999) 登録 (7 桁: - 999,999 ~ 9,999,999) 合計 (10 桁: - 999,999,999 ~ 9,999,999,999) リピート (6 桁: - 999,999 ~ 999,999) ノンアド (16 桁: 0 ~ 9999999999999999) %レート (整数 2 桁 + 小数 2 桁: 0.01 ~ 99.99%) 税率 (整数 2 桁 + 小数 4 桁: 0.0001 ~ 99.9999%) 乗算数量 (整数 4 桁 + 小数 3 桁: 0.001 ~ 9999.999)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアーロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差 ±30 秒 (通電状態 25°C において) 2088 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	バナジウムリチウム充電式電池使用 記憶保持約 90 日 電池寿命約 5 年
電源・消費電力	AC100V±10V 50/60Hz 10W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 95% RH
外形寸法	幅 330mm 奥行 360mm 高さ 198mm (ドロアー含む) 客用表示を出した高さ 240mm
質量	約 5.5Kg (ドロアー含む)
オプション	電子店名スタンプ: RAC-13 (店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー: WT-90、タッチキーカバー: WT-91 ハンドスキャナ: HHS-18、HHS-19 マルチ決済端末: KT-10 モデム
消耗品	記録紙 TRP-5880-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙) TRP-5880H-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

●ウエルドラインについて

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

【ご注意】 この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な処置を講ずるよう要求されることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本マニュアルの著作権、およびマニュアル中に記載されているソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しております。カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには本マニュアルおよびソフトウェアの一部または全部を問わず、複製し頒布することを禁じます。

本マニュアルおよびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。



日計明細の設定内容の変更と操作

例題

日計明細レポートから PLU レポートが印字されないようにする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

3 小計

1 2 9 小計

4 0 0 0 現/預

1 1 現/預

1 2 現/預

1 5 現/預

1 6 現/預

1 9 現/預

現/預

小計

以上で設定は終了です。

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。必要に応じて参照してください。

●後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。

 11, 39

●ありだか在高

ドロアーの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

 30, 31, 49, 54

●一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット1種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

 47

●一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつ足されます。

 18, 86

●一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 27

●内税方式 (内税方式レジスター)

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

 非課税方式レジスター、外税方式レジスター

 16, 30, 65

●開設

レジスターやマルチ決済端末を情報センタに接続して使えるようにする操作です。一日一回の操作が必要です。

 19

●期間集計

長い期間 (例えば、一週間、旬日、一月など) の売上の合計を知ることができるレポートです。

 52, 53, 56

●客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 8, 12, 13

●キャラクタ

部門キーやPLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。

 12, 18, 69 ~ 85

●クレジットカード決済

クレジットカードなどで売り上げた場合、マルチ決済端末 (KT-10) を利用し、情報センタを通して決済を行なうことができます。

 マルチ決済端末

 46

●券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくことも可能です。

 46

●さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違えを訂正することです。

 44

●シート (メニューシート)

タッチキーの上に被せる、面状のシートです。シートを2枚作り、片方を昼、他方を夜メニューなどとして入れ替えて使うことができます。

 8, 13

●ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。

 レシート

 8, 18, 122, 124

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

● ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。

 18, 87

● 出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

 41

● 純売上

商品登録の合計で、値引きや割引をした後の金額です。外税も含まれます。

 総売上

 30, 31

● 乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の2種類の入力方法を選べます。

 11, 23, 33, 34, 35, 37

● 情報センタ

クレジット決済や売上集計管理サービスなどを行なうインターネット上の拠点です。

 6

● シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。レジスターとマルチ決済端末や情報センタとの接続状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 12, 18, 85

● スキャニング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナで取り込んで、商品登録します。スキャニング PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。（使用するためには、情報センタとの契約が必要です）

 31, 36, 37, 54, 61

● 精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

 点検、レポート

 30, 31, 52 ~ 57

● 設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせたりすることです。

 単価設定

 60 ~ 116

● 外税方式（外税方式レジスター）

外掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。

 非課税方式レジスター、内税方式レジスター

 16, 66

● 総売上

商品登録の合計で、値引きや割引をする前の金額です。外税も含まれません。

 純売上

 30, 31

● タッチキー

キーボードの向かって右にある、面状になったキーシートです。お買い上げの状態では、タッチキーにはフラット PLU キーが設定されています。

 シートホルダ

 10, 11, 13

● 単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

 32, 34, 37, 61

● 担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。

 11, 18, 40, 56, 78, 88, 106

用語集

●置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

●訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

 11, 27, 44

●点検

業務の途中で売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

 精算、レポート

 52 ~ 57

●電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、オリジナルの店名ロゴスタンプや領収書に印字する、社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなスティックです。別添の申込書でお申し込みください。

 2, 126, 127

●登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 20 ~ 29, 32 ~ 51

●日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

 30, 31, 52

●入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 41

●値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 42

●背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 63

●パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

 割引き

 43

●PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

 31, 34 ~ 37, 53, 55

●非課税方式（非課税方式レジスター）

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 内税方式レジスター、外税方式レジスター

 16, 64

●品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。

 PLU（ピーエルユー）

 35

●不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 38

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

●部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／青果、お食事／お飲み物などの分類があります。

 10, 11, 20 ~ 23, 30, 31, 32, 33

●フラット PLU

個々の商品を PLU のようにコード指定するのではなく、一つ一つのキーに割り振ったものです。入力方法は異なりますが、フラット PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。

 PLU (ピーエルユー)

 11, 21, 30, 31, 32

●返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 28, 29

●奉仕料

奉仕料の必要なお店では、奉仕料を自動計算することができます。

 48, 107

●マルチ決済端末 (KT-10)

クレジットカードや iD などの決済を行なうために磁気カードリーダーや非接触 IC カードリーダーを備えたこのレジスター専用の端末です。

 クレジットカード決済

 2

●丸め (5 円丸め / 10 円丸め)

合計金額の端数 (5 円未満または 10 円未満) が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 45, 62

●万円キー (万券キー)

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 39

●呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

 59

●リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押ししたりして、手軽に登録することです。

 12, 22, 34, 35, 37

●両替

本来の両替 (大きなお金を細かくする) ばかりでなく、商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに両替をします。

 23

●領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 10, 18, 24, 25

●レシート

お客様にお渡しする領収書代わりに紙券です。

 ジャーナル

 18

●レポート

お店の売上金額や客数などを集計してレジスターから出力される帳票です。点検と精算の区別がありません。

 レシート、点検、精算

 30, 31, 52 ~ 57

●割引き

全品一律 10% 引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

 42

さくいん

あ・ア

圧縮印字、圧縮文字	18, 63, 73, 75, 87
預かり金	(現金売り／預かり金)
後レシート発行	11, 39
在高 ^{ありだか} 申告	10, 49

い・イ

一連番号	18, 84, 86, 91, 93
一部入金	47
一括訂正	(取引中止)
印字制御	87 ~ 91, 93, 94

う・ウ

内税扱い、内税方式	16, 65
-----------	--------

お・オ

オールクリア	11, 26
お客様相談センタ	裏表紙
オプション	129
オペレータ用鍵	9

か・カ

買い上げ点数	18, 85, 87
開設	10, 19
回転表示窓	(客用表示窓)
貸し売り	109
課税方式	16, 64 ~ 66
紙押さえ	8
仮締め	11, 50, 51
感熱記録紙	14, 25

き・キ

キーボード	8, 10
期間集計 1, 2	52, 53
客用表示窓	8, 13
キャラクタの設定	(文字の設定)
強制解除	11, 117
強制操作	88
金額キー	35, 109

く・ク

クリア	(オールクリア)
グループ別集計	55, 96, 99
グループリンク	96, 99
クレジットカード	11, 46

け・ケ

桁解除	97, 109
券売り	11, 46, 47
現金在高	10, 30, 31, 49
現金売り・預かり金	11, 20

こ・コ

コールセンタ	(お客様相談センタ)
コイントレー	8
硬貨入れ	(コイントレー)
構成比	30, 31, 55, 87
5円／10円丸め	45, 62
固定キャラクタ	(取引シンボル)
ゴハサン	(オールクリア)
コマースシャルメッセージ	(レシートメッセージ)
混在	(税金の混在)

さ・サ

在高 ^{ざいだか}	(現金在高)
さかのぼり訂正	44
札押さえ	8
サーマルPOP	94
サーマル用紙	(感熱記録紙)

し・シ

時間帯別集計	31, 52
時刻	18, 40, 60
四則計算	11, 58
紙幣入れ	8
締め	20, 46, 47, 103
ジャーナルスキップ	18, 87
ジャーナル印字確認窓	8
ジャーナル送りキー	10, 122, 124
ジャーナル巻き取りホルダ	8, 122, 124
ジャーナル用紙	8, 122, 124
収入印紙	18, 24, 93

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

出金キー	10, 41, 106
純売上	30, 31
小計キー	11, 20, 27, 88
乗算登録	11, 23, 33, 34, 35, 37
乗算/日時キー	11, 23, 40, 60
消費税の計算	16
商品券	46, 47
情報センタ	2, 14, 15, 19
信用売りキー	(クレジット)

す・ス

数点売り	22, 23
スキャニングサービス	36
スキャニングPLU	36, 37

せ・セ

税関連の設定	64 ~ 68
税金の混在	16, 66
精算モード	9, 30, 52
精算・設定・オーナー用鍵	9
税率	67
税率変更日	67
設定モード	9, 60 ~ 116
設定単価	61
設定点検	111 ~ 116
全角文字	73

そ・ソ

総売上	30, 31
操作ガイド	10, 117
外税扱い、外税方式	16, 66

た・タ

但し書き	18, 24, 63
縦倍文字	63, 73
タッチキー	8, 10, 13
単価 × 数量	33, 105
単価設定	61
担当者	40, 56, 83, 88, 106
担当者キー	11
担当者番号	40, 106
担当者別集計	56

単品売り、単品登録	20
単品現金売り	96, 100

ち・チ

置数キー	11
置数訂正	26
直前訂正	27
中止	(訂正/中止)

つ・ツ

釣り銭計算	20, 21
-------	--------

て・テ

停止	(レシート発行停止)
訂正/中止	11, 27
点検モード	9, 52 ~ 57, 110
電源プラグ	8
電子店名スタンプ	2, 14, 126, 127
電卓機能	58, 59
電卓モード	9
伝票番号	11, 50, 51

と・ト

登録モード	9, 20 ~ 27, 29
登録確認	11, 51
取引中止	27
取引シンボル	85
トレーニング	110
ドロアー	8
ドロアーロック錠	117

に・ニ

日時	(乗算/日時キー)
日計明細	30, 31
入金	10, 41, 106

ね・ネ

値引き	42
-----	----

の・ノ

ノンアド	(不加算印字)
------	---------

さくいん

は・ハ

パーセント計算	43, 62
背景印字	63, 94
倍文字	73
端数処理	68, 105, 107
半角文字	73

ひ・ヒ

非課税キー	109
非課税扱い、非課税方式	16, 64
引き出し (ドロアー)	
日付	40, 60
表示窓 (本体表示窓)	
品番 PLU	35, 100

ふ・フ

不加算印字	11, 38
部門キー	11, 20 ~ 23, 32 ~ 33
部門リンク	99
プラテンアーム (紙押さえ)	
フラット PLU	11, 20 ~ 23, 32 ~ 33
プリンタカバー	8
分割処理	47

へ・ヘ

別々会計	51
変更日 (税率変更日)	
返品戻し	28, 29

ほ・ホ

防水カバー	5, 129
ボトムメッセージ (レシートメッセージ)	
ホルダ受け (巻き取りホルダ受け)	
本体表示窓	8, 12

ま・マ

マイナス (値引き)	
マイナス単価	97, 101
巻き取りホルダ (ジャーナル巻き取りホルダ)	
巻き取りホルダ受け	122
マシン No. (レジ番号)	

マルチ決済端末	2
丸め (5円丸め / 10円丸め)	
万円キー	39, 109

み・ミ

む・ム

め・メ

明細印字 (ジャーナルスキップ)	
メモ리카セット (電子店名スタンプ)	
面切替	11, 21

も・モ

モード鍵	8, 9
モードスイッチ	8, 9
戻しキー	11, 29
戻しモード	9, 28
文字の設定	69 ~ 85

よ・ヨ

四倍角文字	73
-------	----

り・リ

リピート (回数、登録)	12, 22, 34, 35, 37
両替	11, 23
領収書	18, 24, 25
領収書一連番号 (一連番号)	
領収書発行	10, 24, 25
リンク (部門リンク、グループリンク)	

れ・レ

レシート用紙	8, 123
レシート送りキー	10
レシート発行停止	10, 18, 39
レシート発行 / 停止スイッチ	10
レシート発行キー	11, 39
レシートメッセージ	18, 80 ~ 84, 91
レシート用紙受け	123
レジ番号 (レジスター番号)	18, 86
レビュー (登録確認)	

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レポート ----- 30, 31, 52 ~ 57

ろ・ロ

ロールペーパー ----- 122, 123, 裏表紙

ロゴメッセージ ----- (レシートメッセージ)

わ・ワ

割引 ----- 43, 109, 111

割引率の設定 ----- 62

割増 ----- 43, 109, 111

割増率の設定 ----- 62

アルファベット

iD ----- 11, 46

OFF モード ----- 9

OP ----- (オペレーター用鍵)

PGM ----- (精算・設定・オーナー用鍵)

PLU ----- 31, 34 ~ 37, 55, 61

RAC ----- 2, 7, 126, 127

TRP-5880TW ----- 129, 裏表紙

TRP-5880HTW ----- 129, 裏表紙

保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

保証書はよくお読みください

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

まず117ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定のとおり、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。

保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービスなどについて疑問なことは

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

TK-2600 の消耗品
NK-2000

ロールペーパー：

紙幅 58mm × 外径 80mm（感熱記録紙）

普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

携帯電話・PHS などの場合は

042-503-7215 をご利用ください。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30
（日曜・祝日・年末年始などを除く）

カシオサービスセンター

- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| ●北海道札幌 | ●関東多摩 | ●近畿神戸 |
| ●東北盛岡 | ●横浜 | ●中国岡山 |
| ●仙台 | ●信越新潟 | ●広島 |
| ●関東宇都宮 | ●長野 | ●四国高松 |
| ●水戸 | ●北陸金沢 | ●九州福岡 |
| ●高崎 | ●東海静岡 | ●熊本 |
| ●埼玉 | ●名古屋 | ●鹿児島 |
| ●千葉 | ●近畿京都 | ※その他、26箇所の出張所があります |
| ●東京 | ●大阪 | |

レジスターの回収再資源化について

- カシオ計算機では、2001年4月よりご使用済みとなりましたレジスターの回収・再資源化を有償で行なっております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html>

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎ () 担当者

